

会長のページ	年頭所感	河野 雅行	3
年 頭 所 感	日本医師会長	横倉 義武	4
年 頭 所 感	宮崎県医師会顧問	秦 喜八郎, 稲倉 正孝	6
年 頭 所 感	各都市医師会長		7
年 頭 所 感	各専門分科医会長		12
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河野 俊嗣	19
年頭のご挨拶	宮崎大学長	菅沼 龍夫	20
年頭のご挨拶	宮崎県選出国會議員		21
年頭のご挨拶	宮崎県議会議員	清山 知憲	23
新 春 随 想 (その 1)			24
	山見 信夫, 山村 善教, 藤本 孝一, 宝珠山 弘, 康田 明照		
	加藤 丈司, 後藤 有人, 清水 謙祐, 弓削 孝雄, 野田 俊一		
	水野 昭夫, 岸田 克明, 清田 正司, 田中 浩夫, 谷口 二郎		
	長沼弘三郎, 重永 哲洋, 獅子目 輯, 森藤 秀美, 立山 浩道		
	千代反田晋		
エコ・リレー (473)		ト部 浩俊, 弓削 昭彦	46
診療メモ	新しく見つかった宮崎に多い感染症 重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome SFTS)	岡山 昭彦	84

叙勲・祝賀		42
表彰・祝賀		43
平成 26 年 1 月 ~ 12 月までの叙勲及び表彰・祝賀受賞会員		44
あなたできますか? (平成 25 年度医師国家試験問題より)		47
宮崎県感染症発生動向		48
九州医師会連合会 第 34 回常任委員会		50
ベストセラー		51
日医インターネットニュースから		52
薬事情報センターだより (332) 新薬紹介 (その 74)		54
理 事 会 日 誌		55
県 医 の 動 き		60
会員の異動・変更報告		62
ドクターバンク情報		65
行 事 予 定		69
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		73
宮大医学部学生のページ (第 10 回清花祭)		86
あ と が き		90
~~~~~		
お知らせ	平成 26 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	51
	第 29 回日本医学会総会	61
	日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	71
	都市医師会への送付文書	88

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

### ダイヤモンド富士

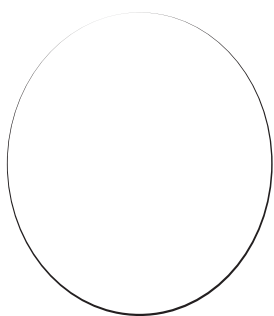
本栖湖湖畔から撮影した富士山頂からの初日の出です。湖は凍っていましたが、係の人が氷を割ってくれて、なんとか湖面に反射する姿を撮影することができました。山頂からの日光は、通常の日の出と比べて太陽の位置が高く、思った以上に日差しが強くてびっくりしました。 宮崎市 田 尻 明 彦

# 年 頭 所 感

## 「医師会とは」

宮 崎 県 医 師 会

会 長 河 野 雅 行



新年，おめでとうございます。

年頭に当たり，改めて「医師会とは」をテーマとして取り上げたい。医師会に対する世間の受取は如何でしょうか？過去のニュース等から，圧力団体，営利団体，抵抗勢力，よくばり村の村長さん等々，良い表現は少ない。

宮崎県医師会の目的は，「医道の昂揚，医学・医術の発達普及及び公衆衛生の向上を図り，社会福祉の増進に寄与する事を目的とする」と定款に掲げてあり，他の医師会組織も略同様である。日本医師会は全国会員 500名に一人宛選ばれた日医代議員によって選出された日医執行部により運営されている。宮崎県医師会は同様に県内会員 50名に一人宛選ばれた県医代議員により選出された県医執行部により運営されている。郡市医師会も其々の定款・規約に拠り役員選出・運営が為されている。

日医以下の医政に対する判断根拠は「公的国民皆保険の堅持」「安心安全な医療に資する政策か」と「定款」「日医綱領」に依る。これ等を基に県・郡市医師会の活動は多岐に渡る。地域医療，予防医療，学校保健，労災・産業医療，周産期医療，小児関連医療，警察関係・死体検案，介護関連，スポーツ関連，交通事故等々社会的・公共的活動を活発に行っている。この様に医師会は社会に貢献しているにも関わらず評判の良くないのは何故か？会員諸氏は医師会の実態と報道や国民意識との間に差があることは良くご存知である。国民にはどれ程理解されているであろうか？

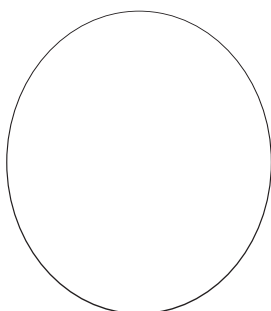
如何なる事態でも医師としての矜持は保ちたい。しかしプライドばかりでは，現代社会は生き抜けない。「衣食足りて云々」の格言を拡大解釈すれば，医師の生活・立場に余裕がないと，ゆとりのある医療は施せない。以前に比べると医療機関経営は苦しく，社会的地位も下落した。医療訴訟が増えたのもその表れとも言える。しかし，訴訟を恐れて萎縮医療になれば国民が困る。

正しく理解してもらう努力が必要である。医師会の業績・功罪を問えば，国民の健康増進に貢献したのは功(業績)であるが，罪は何であろうか？国の政策に唯々諾々として従わず，誤った施策に抵抗したことであろうか？しかし，これも国民のためを思っただけの結果であり功と言うべきで，その他罪に該当するものが思い浮かばない。

会員の中には現在の医師会活動に「異見」があり，圧力団体となるべき等の意見があることも承知している。日本人は不言実行とか，控え目が美德とされ，目立つ存在や行動は忌避され易い。しかし，頭を垂れて控えてばかりでは存在すらも無視される。今以上に控え目にはなれない。しかし，強引な手法は更に誤解を招き，混乱・反発を招く結果となろう。今後の医師会は，今まで同様地道に地域医療に専念し，国民のために声を挙げ続けるのが最善と思われる。そのために，必須なのは医師の結束・団結である。

会員諸氏のご多幸を祈念しまして，本年も宜しく申し上げます。

(平成 26年 12月 20日)



## 年 頭 所 感

日 本 医 師 会

会 長 横 倉 義 武

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は各地で天候不順が続き、土砂災害や洪水、更には火山噴火等、各地でさまざまな災害が発生致しました。地球の温暖化による天候不順や火山活動の活発化に対する今後の災害時における支援のあり方、被災された方々への医療提供体制のあり方について、更なる検討が必要であることを強く感じさせられた一年でありました。折しも、昨年8月1日、日本医師会は災害対策基本法上の「指定公共機関」の指定を受けました。今後、国・地方の防災行政における医療の位置づけの向上を図るとともに、災害医療コーディネート研修やJMAAT体制の整備など大災害への備えについて強力に推進して参りたいと思います。

世界に目を移しますと、エボラ出血熱の感染拡大をはじめ、混沌とするシリア情勢など悲惨な戦乱も続き、多くの尊い命が犠牲になっております。こうした報道に接するたびに、人の生命と健康を守るために日々の医療に向き合っている多くの医師は、胸を締め付けられるような思いをされているのではないかと思います。特に紛争や戦乱については、日進月歩の医療によって多くの命が救われている現実が、「生命の大切さ、尊さ」について改めて考える契機とはならないものかと願わずにはおられません。

明るい話題としては、昨年10月、ノーベル物理学賞に3名の日本人科学者が選ばれるというビッグニュースが飛び込んで参りました。今日、われわれが身近に接する電化製品を見るにつけ、青色LEDの発明とその実用化が、どれほど素晴らしい発明であったか、また、どれほど国民を勇気づけ、日本人としての自信と誇りをよみがえらせたか言葉では言い尽くせないほどの受賞であったと言えます。

そして同じ月に、東海道新幹線が開業50年を迎えました。これまでの乗客数は延べ56億人に上るとのことで、私も頻繁に利用する一人であります。開業以来、列車事故による死傷者はなく、また、車両の改善やスピードアップも続き、今や、全国の新幹線網は2,600kmを超えているそうです。社会構造に与えた影響は計り知れないものがあり、戦後、正にわが国の高度経済成長を牽引してきた代表の一つであると思います。

高度経済成長を牽引してきたものとして、われわれ医療関係者が真っ先に思い浮かべるのは、これより3年早く50年を迎えた国民皆保険(昭和36年制定)と呼ばれる公的医療保険制度です。国民皆保険は、戦後日本における、まだ発展途上であった昭和36年に、生活のインフラ整備のための相互扶助による保険制度として確立されました。決断された当時の政治家、経済界、労働界のリーダーの方々のご労苦と先見の明に対しましては、常々、深い尊敬の念を抱いております。その後、わが国は世界一の長寿国となり、また、2000年にWHOが発表した世界各国における医療制度の比較では、健康寿命においても世界一になりました。これは日本の公的医療保険制度が極めて優れている証と言えるでしょう。そのベースには、お互いを助け合うという日本国民の特有の考え方がしっかりと息づいているのではないかと思います。現在、アメリカで盲腸の手術(1泊2日)をする場合、費用は200万円以上かかると言われていますが、日本では30万円、実際は保険適用により3割負担の9万円で済む現実をもっと多くの方々に知って頂く必要があります。

昨年、私が参加しましたアジア大洋州医師会連合(CMAAO)の会議では、蔓延している多剤耐

性結核の対策が大きな問題となっておりました。これには、日本のように国民皆保険体制が確立されていない状況も、その背景にあるのではないかと考えております。また、医療関係者に対する暴力が増えており、これに対し医師側はストライキ等の措置で対抗しているとの報告もありました。今日、日本においては、昭和 36 年に誕生した国民皆保険によって、医師も患者もお互いに納得できる医療提供体制が確立されている現実を改めて実感した次第であります。

現在、わが国の医療界は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向け、病床の機能分化と連携、在宅医療・介護の充実、医療従事者の確保と勤務環境の改善等により、地域の特性に応じた地域包括ケアの推進が求められております。本年 4 月には改正医療法に基づき、地域ごとに地域医療構想が策定されることとなりますが、その前段階として地域医療構想策定のためのガイドラインづくりの協議が進んでいるところであります。地域医療構想はこのガイドラインが一つの指標となって策定されることとなりますが、国が作成した一律のガイドラインのみに頼って策定されるべきではありません。あくまでも、各地域の実情に基づいた地域医療構想であることが肝要であると思います。

その一方で、わが国の債務は 1,000 兆円を超え、経済成長は伸び悩み、将来的に労働力人口の減少が見込まれています。これに加え、社会保障費は高齢化の進展に伴い、医療、介護等を中心に更なる増加が予想され、国家財政上の大きな課題となっております。今後も財政を緊縮しようとする立場から、規制改革や成長戦略の名の下に、公的医療保険給付の範囲を狭める圧力が続いていくものと思われます。

われわれ医療提供者は、正直なところ、諸々の規制がない状況で自由に医療を提供したいという気持ちもありますが、年々、健康保険の財源が厳しくなる中で、超高齢社会の到来を迎え、限られた国の予算でいかに対応できるかという視点で考えると、ある程度の計画に基づいて医療を提供していかなければなりません。

しかし、いかなる改革が行われようとも、医療という人の生命に直接関わる行為において忘れてならないのは「健康と安全」であり、これを守るためには適切な規制が必要となります。実際、医療における規制のほとんどは、人の生命と健康を守るための規制なのです。規制改革の名の下に、この社会保障の大きな柱である医療を市場原理に基づく自由競争に委ねるべきではありません。ひとたび自由競争に委ねれば、その安全性と平等性が揺らぎ、わが国の国民皆保険は崩壊の一途をたどることになります。真の国づくりは、国民が健康で安心して暮らせる「まちづくり」であり、医療はその根幹にあります。国家戦略において、成長戦略が極めて重要な政策であることに異論はありませんが、生命を預かる医療本体の産業化はふさわしくありません。年頭に当たり、改めまして、国民の健康を守るための規制については、その評価のあり方を粘り強く主張していかなければならないと痛切に感じているところであります。

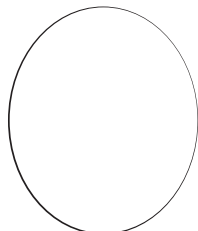
こうした厳しい社会経済情勢の中で、必要とする医療が過不足なく受けられる社会を構築していくためには、「かかりつけ医」を中心に地域の医師会と行政が主体となり、地域の実情を反映した、地域に即した形での「まちづくり」を進めていくことが何よりも重要です。その上で、生活習慣の改善対策や各種健診などの生涯保健事業を推進し、健康寿命を延伸させる等、時代に即した改革を進めながら、国民皆保険を堅持し、持続可能なものにしていかなければなりません。

国民皆保険は、わが国の歴史と国民の固有の価値観に基づき、先人の工夫と努力の積み重ねにより築き上げられてきたものです。われわれは、国民の生命と健康を守るために、世界的に見ても少ない負担で満足度の高い、非常に優れた「国民皆保険」という貴重な財産を、地域医療提供体制を維持する基本的な仕組みとして守り抜き、次の世代に引き継いでいく義務があります。

日本医師会は医師を代表する唯一の団体であり、決して医師の利益だけを追求する団体ではありません。「国民と共に歩む専門家集団」として、世界に冠たるわが国の国民皆保険を堅持し、国民の視点に立った多角的な活動によって、真に国民に求められる医療提供体制の実現に向けて、本年も執行部一丸となって対応して参ります。会員の皆様方の深いご理解と格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

## 年 頭 所 感



宮崎県医師会顧問

秦 喜八郎

あけましておめでとうございます。年末総選挙は、自公の圧勝に終わりました。選挙で

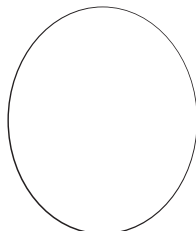
は、余り問題となりませんでしたが、急激な人口減少、目前の超高齢者増加への対応などの社会保障制度改革が喫緊の課題であろうと考えます。すでに年金では高収入者の年金カットや年金支給年齢の引上げ等が取沙汰され、介護では介護度の低い要介護者の収容除外、自己負担率引上げ、医療保険でも高齢者自己負担率の引上げ、ジェネリック薬品使用の奨励等さまざまな施策が取られています。消費税引上げ延期でさらに削減策がはかられるでしょう。

医療制度改革では、地域医療ビジョン、新専門医制度に注目しています。地域医療構想(ビジョン)策定のための病床機能報告制度(高度急性期、急性期、回復期、慢性期機能別)が始まっています。都道府県は、策定にあたって医療審議会へ諮問の手続きをとる事となっていますので、県医師会の役割が今まで以上に重要となります。

新専門医制度が後期研修医の都市への集中を招き、地方の医師不足、医療格差に拍車をかけるのではないかと、総合診療専門医の導入が、統制医療に発展する恐れはないかと、等懸念しています。

2月22日(日)プライマリ・ケア連合学会九州ブロック総会(早稲田芳男大会長、金丸吉昌実行委員長、牛谷義秀事務局長)を計画しています。高久史磨日本医学会長の基調講演、九州各県の先駆者によるシンポジウム、今村聡日医副会長と丸山泉連合学会理事長との総合診療専門医制度の解説対談、吉村学医療センター長によるワークショップと地域医療の実践と未来を共に学ぶ予定です。学会員以外の先生方や医療職の皆さん学生さんも大歓迎です。

年頭の夢は高木兼寛顕彰・ロコモ・未来塾です。人生やっただけ。



宮崎県医師会顧問

稲 倉 正 孝

新年明けましておめでとうございます。正月休みはゆっくりと静養されたでしょうか。

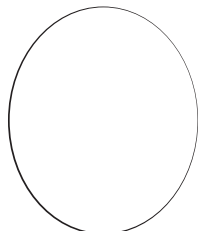
昨年11月21日に衆議院が抜き打ち的に解散されました。安倍首相は評価が分かれる経済政策「アベノミクス」を選挙の最大の争点に掲げられました。小泉元首相の「郵政民営化選挙」のように圧倒的に勝利することができるでしょうか。安倍首相は、「アベノミクス」の3本の矢で「デフレ」を脱却し、「景気」を回復し、「緩やかなインフレ」で財政健全化を目指すとしている。

「大胆な異次元金融緩和」で株価が上昇し、雇用増をもたらした。輸出関連の大企業は円安効果にて業績は回復しているが、産業構造の変化、海外への生産設備の移転等により、貿易収支は期待通りには改善していない。12月2日、3日に行われた宮崎日日新聞社の第4回衆院選に関する電話世論調査によると、「アベノミクス」の効果を実感できていないと答えた人が約8割であったとしている。

今回の第4回衆院選では、自民・公明の連立政権が1強で、準備不十分な、足並みの揃わない野党は太刀打ちできなくて「1強多弱」で、強権的な絶対多数の安倍政権が誕生するとの報道が多い。この所感が印刷される頃には結果が出ている。

わが国は、曾てないほどの困難な問題を多く抱えている。9月末時点で1,038兆円余りの国の借金(国民1人当たり81万円の借金)、財政のプライマリーバランスの問題、TPP、原発の再稼働、安全保障体制、消費税増税など世論を2分する大問題が山積している。この様な時に、衆議院議員として国民から負託された議員各位には熟慮の上、国民の生命、生活を守るために不退転の決意で任務を遂行されることを切望する。

## 年 頭 所 感



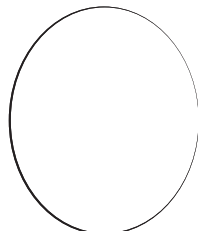
宮 崎 市 郡 医 師 会 長  
川 名 隆 司

明けましておめでとうございます。旧年中は一方ならぬご厚誼、ご厚情を賜り、誠にありがとうございました。関係各位の皆様には厚く御礼を申し上げます。

昨年 9 月の宮崎市議会におきまして、本会諸施設の新築移転候補地として、宮崎市都市計画マスタープランの防災支援拠点に位置付けられている宮崎西インターチェンジ近郊が承認されました。医師会病院・検査センター・検診センター・看護学校・事務局が一か所に集約され、大規模災害に強い、そして高度の救急医療機能を有する医療福祉ゾーンとしての役割が大いに期待されることです。更には、宮崎市郡歯科医師会、同薬剤師会、県看護協会とも連携し、それぞれが有する施設の同地区への移設や各会独自の支援体制の構築につきましても、“四師会”として宮崎市へ上申しているところです。

宮崎東諸県医療圏は今後、総人口は減少いたしますが高齢者数は増加し、それと共に医療需要指数も右肩上がりとして予測されています。将来にわたって適切な医療提供体制を維持していくためには、合理的な地域医療構想(ビジョン)を策定し、また多職種協働による地域包括ケアシステムを機能させることが肝要です。加えて、平成 29 年度から始まる新しい専門医制度を見越し、官(行政)・民(医師会)・学(宮崎大学医学部)が協調して、若手医師が本県に定着する研修プログラムの整備に取り組むことも極めて重要であり、今後とも会員の皆様方のご支援をいただきながら、その実現に向け、邁進して参りたいと考えています。

最後になりましたが、この新しい年が皆様にとりまして、より良き年になりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会 長  
飯 田 正 幸

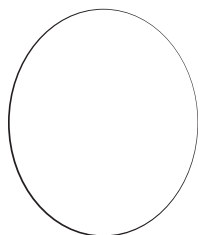
あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は当医師会へのご支援、ご協力大変ありがとうございました。

昨年 12 月には、消費税増税延期と 2 年間の安倍晋三政権の信を問う衆議院議員選挙と県知事選挙が行われました。3 区では古川禎久氏が当選され、今回大臣の候補資格である 5 期目となります。国のため、宮崎県のため、宮崎 3 区のためにも活躍していただきたいと思います。現宮崎県知事の河野俊嗣氏にも 2 期目のご活躍を期待しています。医療分野に対する県民税の使い方については県病院局に 40 億円を繰り入れながら、都城市には 1,200 万円程度と大きな差があることは不満です。2 期目では公平な県民税の支出を希望します。

いよいよ「都城地域健康医療ゾーン整備事業」としての医師会病院・健康サービスセンター・夜間急病センターの 3 施設が完成し、4 月に移転開業の予定です。夏田前会長の下、都城市・三股町との設計提案協議・ヒアリングを開始し設計会社選定、建設業者落札を経てたくさんの方々のご協力でここに至りました。移転準備・移転・新施設での運営とまだまだクリアしていかなければならないことがたくさんありますが、ここまでこられましたことを皆様に感謝申し上げます。

今年も当医師会に対するご協力、ご支援よろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことを祈念いたしまして新年の挨拶といたします。



延岡市医師会長  
吉 田 建 世

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当医師会へのご支援・ご協力を賜り

ありがとうございました。

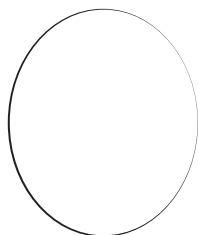
昨年6月に牧野前会長より引き継ぎまして会長職を務めさせていただいております。今期の目標に、「会員の連携・協力の推進」、「救急医療体制の充実」、「医師会病院運営の健全化の推進」を掲げ、努力しているところです。

現在救急医療体制には苦慮しています。特に小児科は、日向市東臼杵郡医師会と共に行う日曜祝日在宅当番医制度において、昨年に4名の先生が辞退され8名となり、同時に延岡市急病センターでの毎日の準夜帯診療もありますので、運営がたいへん厳しくなっています。しかし、宮崎大学小児科の布井教授のご配慮で、今年3月から急病センターへの支援増員を頂けることとなりました。感謝申し上げます。

延岡市医師会病院では、相変わらず医師不足、看護師不足が続いております。昨年4月より看護体制が7対1から10対1へと変わったことで、目標入院患者数を引き上げましたが、なかなか達成できておりません。ただ10月より開始した地域包括ケア病床がなんとか経営を助けている状況です。

消費税増税が延期され、医療に回される基金が減ることが予想され、これからの国の政策が気になるところです。

今年も地域医療においては多くの課題が挙がってくると思いますが、宮崎県医師会の先生方と解決に向け努力していきたいと存じますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会長  
渡 邊 康 久

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお

慶び申し上げます。

旧年中は当医師会に対しまして暖かいご支援、ご指導を賜りありがとうございました。

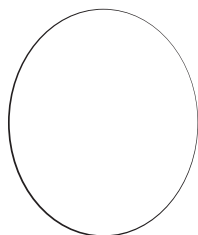
さて、昨年は「医療介護総合確保推進法」が成立し、医療提供体制が再編されることになりました。また、国の規制改革会議において「選択療養制度(仮称)の創設」が提言され閣議決定される等、医療事情はますます厳しさを増してまいりました。さらに、年末には政府の最終判断で消費税率10%への引き上げが先延ばしされ、社会保障制度の充実策の見直しが余儀なくされるとともに、来年4月の診療報酬改定に大きく影響を及ぼすことが懸念される事態も出てまいりました。

「選択療養制度(仮称)」については、日医も安全性・有効性等を客観的に判断するプロセスがないことや、副作用が発生した場合の問題の所在を見極めることが困難である等多数の問題点があり、今後の国民皆保険の堅持を揺るがすおそれもあるとの見解で対抗策を練っています。今後、行き過ぎた規制緩和につながらないように注視していくことが必要であると考えています。

「医療介護総合確保推進法」の制定は、2025年に向けた地域包括ケアシステム構築の流れをますます加速していくと思います。2025年には、団塊の世代のすべてが75歳以上となるため、これまで以上に医療機能の分化・連携が重要となります。地域の実情にあったバランスのとれた医療提供体制を構築すべきと考えます。

県では既に始まった病床機能報告等の情報を基に、本年4月から「地域医療のビジョン」策定に取りかかります。この策定に当たっては地域医師会も参画して、地域の実情を十分反映する形で作成することが重要となります。会員の先生方も積極的に関わっていただきたいと思います。

課題が山積していますが、本年も引き続き医師会員の皆様のお力添えをいただき全力で取り組む決意であります。本年もご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



児 湯 医 師 会 長  
永 友 和 之

明けましておめでとうございます。一昨年の「年末ジャンボ宝くじ」で当地のある売り場

から 6 億円の大型当せん金が出ました。同店では 6 年前にも 3 億円の当たりくじが出ていました。常日頃から行いが極めて善く、くじ運にもめっぽう強く(なにせ 7 回も会長に当せんしている)、しかも米倉涼子の熱烈なファンでもある私が、今年は 7 億円をゲットしそうな予感がしています。お年玉、期待しないで待っててください。

では児湯医師会の近況を報告いたします。本年もご協力よろしくお願い申し上げます。

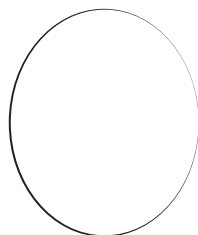
一昨年 4 月に一般社団法人に移行しましたが、活動内容に変化はありません。会員は 78 名で 3 桁までもう少しであります。

児湯内科医会や国立病院機構宮崎病院医療セミナーなどの講演会や勉強会は月 1 ~ 2 回のペースで開催され、出席率は良好であります。

日曜休日の在宅医療制度は、地域医療のモデルケースになる位にほぼ整っています。

救急医療は都農町立病院、川南病院、海老原総合病院、国立病院機構宮崎病院、坂田病院がフル稼働しています。宮崎市夜間急病センター、西都児湯医療センターや国立病院機構宮崎病院などにも会員の有志が当直に行って頑張っております。

児湯准看護学校は赤字ながらもなんとか運営しております。一学年約 20 名で生徒はみな優秀で資格試験の合格率は毎年 100% であります。以上です。



西都市西児湯医師会長  
岩 見 晶 臣

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

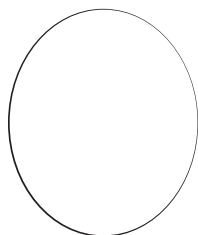
当医師会として早く解決したい問題に、地域の救急医療があります。一昨年の 4 月以降、中止している西都地区での内科の一次救急をどうするかに関しては行政との関係や医師会の先生方の微妙な意見の食い違いがあり方向が定まっていない状況です。すでに自主的に宮崎市郡医師会の急病センターの当直に参加されている先生もいるようですが、どのような方法が地域住民にとって一番良いのかを考える一年になると思います。宮崎市郡医師会の先生方には大変ご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。

在宅医療推進事業は、昨年同様、医師会主催で在宅医療推進のための研修会を行います。また、西都市地域包括支援センター主催のケアネットワーク会議にも参加する予定です。

一昨年、昨年と、医師会主催で歯科医師会との合同学術講演会を開催しました。昨年は、骨粗鬆症と顎骨壊死がテーマで薬剤師、看護師、行政など多くの職種の方々が出席し多職種との交流が深まり大変意義深いものでした。今年も続けていきたいと考えております。

宮崎市郡医師会との合併協議も 2 年目に入り今年中にはある程度の結論を出さなければいけないのではないかと考えております。

最後になりましたが、本年も当医師会に、一層のご指導ご鞭撻をお願いいたしますと同時に、会員の先生方のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶とします。

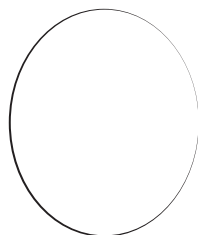


南那珂医師会長  
島田雅弘

あけましておめでとうございます。南那珂より新年のごあいさつを申し上げます。

昨年6月に山元会長が退任され、新執行部がスタートしました。地域医療の担い手となる開業医もこの南那珂地区では平均年齢60歳を超え、新規の開業も最近はなく、外来診療に加えて在宅医療まで行うのは、少々しんどい思いがいたします。只、幸いこの地区では、在宅ケア研究会を介して横の関係が出来上がっており、これにモデル事業でICT環境まで整い、そのうえで在宅医療に手を挙げてくれる医師が増えることを期待しています。病診連携では、現在、糖尿病、脳卒中、大腿骨頸部骨折のパスが、開業医、日南市立中部病院、県立日南病院の間で稼働しており、入院期間の短縮にも貢献しています。また、昨年度より宮崎大学医学部5年生の教育実習を県立日南病院で行っているのですが、そのうちの1日をおおよそ10か所の日南市の内科系診療所が担当しており、これが思いのほか学生に好評のようで、我々もモチベーションを上げて取り組んでいるところです。今年は学生が増えるので、更なる診療所の受け入れを大学より依頼されています。一方赤字経営が取りざたされている日南市立中部病院ですが、公約通り市長自ら会長となり、昨年より経営健全化委員会が定期的開催されており、ほぼ指針が決まり、12月にはパブリックコメントが出されます。経済が縮小していく中、医療界も知恵を出し合い、様々な問題に対応していかなければならない時代を迎えたようです。

今年も先生方のお力添えをいただき、会員一同頑張っていく所存です。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



西諸医師会長  
高崎直哉

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、

旧年中皆様方に賜りましたご交誼、ご鞭撻、ご指導に対しまして厚くお礼申し上げます。

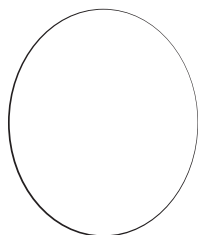
この3年間、当地域の看護師不足解消のため、二市一町の行政と連携し、学校法人宮崎総合学院を誘致し、高等看護学校設立の準備を進めてまいりましたが、本年4月に小林看護医療専門学校が開校予定となりました。当地域で養成し卒業した看護師が多数定着できることを期待しております。

また、昨年、西諸地域医療体制の強化を図るため二市一町の首長、小林保健所長、医師会の構成メンバーで西諸医療懇話会を設立しました。今後、当地域に共通する医療の課題改善に向けて、連携を図りながら、話し合いを進めてまいりたいと考えております。

病床機能報告制度と地域医療構想(地域医療ビジョン)にみられるように、目まぐるしく変わっていく医療状況の中、地域医療を守るため、会員の先生方と共に考え、ご指導、ご協力を仰ぎながら、また、二市一町の行政との連携を密にし、話し合いの場を持ちながら、執行部一同努力してまいりたいと考えております。

今年も、当医師会に対しまして、県医師会、各都市医師会の先生方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今年が皆様方にとって幸多い年でありますよう御祈念申し上げまして、新年の挨拶と致します。



西 白 杵 郡 医 師 会 長  
佐 藤 元 二 郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、印象

に残った出来事は消費税増税、STAP細胞、御嶽山噴火、エボラ出血熱流行などで、明るい話題としては青色LED 発明で赤崎・天野・中村氏のノーベル物理学賞が最大のニュースだったと思います。

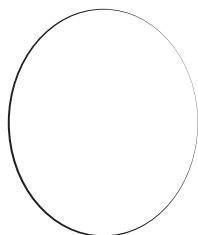
昨年 7 月から医師会と地域医療連携室が中心となって地域包括ケアの一部である在宅医療を推進するため 2 回のグループワーク、金丸吉昌氏講演会、町民公開講座(下村恵美子講演会)が開催されました。

地域包括ケアの実践には多職種と連携し協働するだけでなく一番大事な鍵は住民一人ひとりに立ち上がってもらい医療への理解と覚悟をもって応援の輪を広げ信頼関係を築くことだと学びました。行政には自助 心構え、セルフマネジメント 互助 自助支援、社会参加支援 を支援してもらい、それでまかなえない部分を公助で補うために早急に地域包括ケアのシステム作りの構築が求められています。

今年 1 月 24 日に大牟田市元保健福祉部の池田武俊氏をお招きし「認知症になっても地域で暮らし続けるために」町民公開講座が開催されます。大牟田市では約 10 年前から地域全体で認知症の方を見守り支える活動に取り組んでおり今後の認知症対策のモデルともなっている取組みを学び、一般住民が主体となって今後の私たちの町づくりについて考えるきっかけになることを願っています。

さてアベノミクスの是非を問う昨年末の衆院選は自公の圧勝でした。21日には知事選、高千穂町長選もあり若い世代が安心して働ける環境を整え高齢者にとって安心して暮らせる町づくりを進めてほしいと思います。

今年も皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。



宮崎大学医学部医師会長  
吉 原 博 幸

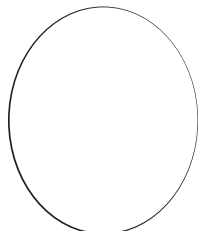
2015年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

早いもので、2014年 4 月の病院長就任以来、あっという間に 9 か月が過ぎました。託された課題が沢山あり、今後の運営に困難が予想されることから、着任早々思い切って病院執行部を強化しました。副病院長 7 名、病院長補佐 3 名の総勢 11 名とし、原則として毎週火曜日に執行部会議を開いています。おかげ様で、大変チームワークとフットワークの良い執行部として機能しており、積年のテーマに取り組んでいるところです。

まず行ったのが外科診療体制の再編成です。1974年の医科大学発足以来、外科はいわゆるナンバー外科制で、第 1 外科が肝胆膵・消化管外科、第 2 外科が心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科を担当し、消化器系が重複していました。それぞれ良い所も沢山あったのですが、開学当時に比べると飛躍的に増加した手術件数、卒前卒後研修のあり方の進化、来るべき新専門医制度などに対応する必要から、重複を解消して 4 つの診療分野に再編成し、形成外科を新設し、計 5 つの診療分野としました。また、2 つの外科講座を統合し外科学大講座としました。この大改革に建設的に対応し、ご理解をいただいた第 1 外科、第 2 外科とその同門会には深く感謝します。外科大講座新体制ではチェアマンの元、心臓血管外科、消化管・内分泌・小児外科、肝胆膵外科、呼吸器・乳腺外科、形成外科を各々の分野長が担当。研修医は同じ屋根の下で自由に研修を行うことができます。幾多の困難もあるかもしれませんが、本学外科の力を結集して明るい未来を開拓していただきたいと願っています。

その他、田野病院の委託管理者指定に伴い、外科、整形外科、総合診療科をコアとした新しい附属病院の立ち上げ、教育フィールドとしての活用など、本年 4 月は大事業が集中します。全力を挙げてこれに取り組んでいく所存です。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 年 頭 所 感



内科医会長  
小 牧 斎

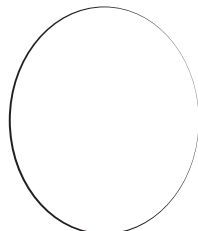
新年おめでとうございます。  
昨年4月に県内科医会の会長  
をお引き受けしてから初めて

の新年を迎えております。常任理事、副会長を経ての役職で仕事の内容は十分理解しておりましたので、事務局のお手伝いもあって今のところ大過なく勤めています。分科会としては、県医師会からの正確で新しい情報は貴重なものですが、期を同じくして県医師会の理事もお引き受けし、そのあたりの懸念は払拭できました。

現在、内科医として興味ある話題が大きく二つあります。一つは、2017年にはスタートする専門医制度の行方です。内科学会が認定医と専門医を2本立てで認めているところに大きな問題があります。総合内科専門医は内科学会員の8%くらいしか取得していないため、92%の認定医の方々の資格がどうなるか、消滅するとなれば大きな問題が生ずるかもしれません。また、「総合診療専門医」の創設が検討されています。複数の疾患を持つ高齢者の増加を踏まえ、日本医師会などは、地域の開業医のレベルをスキルアップすることで「総合診療専門医」との関係性をうまく作り上げてほしいものです。

もう一つは、2025年の医療介護提供体制の構築に向けた取り組みが本格化する中、地域包括ケアの一環として内科医のかかわり方についての問題です。医療と介護を一体的に提供する地域包括ケアシステムには、医療、介護のあらゆる職種・団体の参画が必要となります。医師会の中でも地域で頑張っている内科医はまとめ役として重要な担い手になるものだと考えています。

夢ですが、県内科医会が領域を超えチームとしてまとめられるよう切磋琢磨する所存ですので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



小児科医会長  
三 宅 和 昭

皆様 明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2014年は、前年の大流行の置き土産、先天性風疹症候群への懸念から始まりました。しかし新春早々には、フィリピンからの麻疹手投げ弾により全国各地での小流行が勃発。8月末に発覚した70年ぶりのデング熱国内感染。秋以降はエボラ出血熱騒動と、感染症の話題が相次ぎました。

年間3千万人が出入国する今日、地球は狭くなりました。いつ何時、新興・再興感染症が問題になるか分からない時代です。ワクチンで防げる病気は予防に徹する。この事に全ての医療関係者が思いをいたすことが必要です。

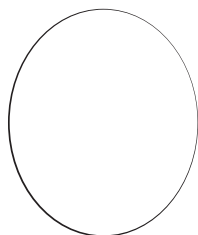
宮崎県の小児救急医療も変わりつつあります。昨年4月からは、宮崎市夜間急病センターの小児科部門が、県立宮崎病院の敷地内に移転しました。初めてここで迎えるインフルエンザ・シーズン。「熱だけで慌てるな！」コンビ受診を抑制するためには、日頃から、若い両親にしっかり指導していくことが必要です。

そこで力を発揮してくれるのが#800番です。小児救急医療電話相談事業の相談時間が23時～翌朝8時まで延長されることになりました。この間は外部委託となりますが、すでに1月5日からスタートしております。先生方からも、広く紹介していただければ幸いです。

小児科医会&学会では、産科の先生方と共に、成育基本法の制定に尽力してきました。しかし、突然の衆議院解散で、足踏み状態の憂き目に。

国がうちだした専門医制度の大幅な改革に伴い、小児科医の生き残りをかけて、地域総合小児医療認定医の、申請受け付けも始まりました。

問題は山積ですが、小児科医ならではの結束で、宮崎のこども達のために、今年も尽力し続けたいものです。本年もよろしくお願いいたします。



外科医会長  
八 尋 克 三

明けましておめでとうございます。

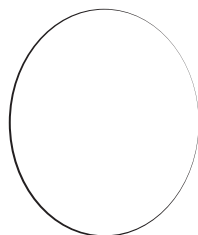
県医師会会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

年頭ですので、自画自賛をお許し願いたいと思います。外科医会会員は地域医療の根幹にかかわる大事な部分を背負っており、たいへん「役に立つ」有能な医師集団だと思っています。宮崎県の地域医療を推し進めるには、外科医がもっと元気に本来の力量を発揮できるようにすることが肝要であり、そのために県外科医会に何ができるのかを考えていく1年にしたいと考えています。

ここで、日本臨床外科学会の最近の動向についてお知らせします。同学会は歴史的には開業医の問題を取り扱うために日本外科学会から分派設立されましたが、いつの間にか大学のような大きな病院に勤務する医師のための学会になっていました。最近になって開業医や中小病院勤務医の意見を代弁する学会へと方向転換しているように思います。いくつかの例を挙げますと、同学会総会プログラムに対する感想や採用希望アンケート調査を通じての総会演題に対する意見聴取、さらには座長推薦依頼（5名）によって、推薦した当会会員が座長を務めるなどの動きが既に始まっています。今後は、当会などの地方外科医会推薦による評議員が出る可能性も出てきています。

また、医政や診療報酬に関する要望やその影響等のアンケート調査も次々に来ています。同学会は外保連と直接関係がありますので、診療報酬改定に対する我々会員の意見が反映しやすくなったと考えています。

このような全国的な動きも捉えながら、この1年で「何かが変わった」そう思うようになりたいと願っています。ひとまずこの正月は皆さまとともに「明るく元気に」新しい年を迎えたいと思っています。



整形外科医会長  
川 野 啓一郎

明けましておめでとうございます。

今年は7月4日(土)に宮崎大学医学部整形外科学教室の主催による「日本運動器科学会」が宮崎観光ホテルで開催される予定になっています。又、同日午後に、県医師会と合同で市民公開講座が開催される予定となっています。

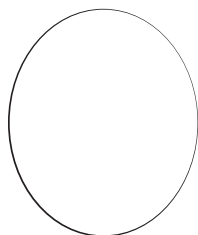
この日を中心に前後に渡って全県下に、ロコモ対策キャンペーンを展開する予定となっています。これは、県医師国民健康保険組合理事長の秦先生の御指示によるものですが、ロコモと言えば帖佐教授と言う程にNHKのテレビをはじめ新聞、雑誌で有名となった帖佐教授を中心とした大学と県医師会及び、場合によっては行政、マスコミも含めた幅広い取組みになると考えています。

県民の健康を予防医学の観点から考え、手軽にできて最大の効果を上げるトレーニングを行う事は、整形外科に限らず内科、外科、産婦人科、精神科その他の科においても治療上必要なことと考えます。又、健康寿命を延ばすことで、国民医療費削減に貢献をしていきたいと考えています。

パンフレットやポスターの作製及び大学整形外科医局の先生方による講演会等も予定されています。

先生方の御理解と御協力を頂き、宮崎県をロコモ認知度全国トップにするという、関係されていらっしゃる先生方の「夢」を実現できるようにアシストしていきたいと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様にとって今年もよい年となりますようにお祈り申し上げます。

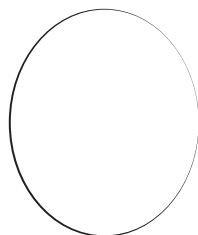


皮膚科医会長  
成 田 博 実

新年あけましておめでとうございます。

今年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオードの開発と製品化の功績により日本人の3名が受賞した。全世界の人々に役に立つ発明で、本当に賞に値するものだった。今年も日本人受賞に期待したい。錦織圭選手の活躍には元気をもらった。2014年国内では、年末の大義なき解散総選挙、消費増税の1年半先送り、地方創生、中国船による赤珊瑚の密漁等が話題であった。台風が密漁船を吹き飛ばしてくれないかと不遜にも期待してしまった。世界的には、エボラ出血熱の拡大、イスラム国の台頭、地球温暖化が気になった。世界は狭くなり、宮崎県にもエボラ患者発生の危惧がある。しかし、重症感染症患者の受け入れ先がなく、熊本県もしくは大分県への患者搬送という窮状の解決が喫緊の課題か？

昨年度は医会としてうれしいことが二つあった。一昨年制作のポスター「要注意！足の皮膚病」を昨年4月に横浜市で開催された日本臨床皮膚科医会学術大会のポスター部門に出題し、第3位を獲得した。また、2010年に宮崎県で発生した口蹄疫では、その防疫作業中に化学熱傷等種々の皮膚病変が発症した。医会会員から50症例を集め、集計結果を第63回日本皮膚科学会西部支部学術大会（沖縄県宜野湾市、2014年）において、「口蹄疫対策作業に伴う皮膚病変」のタイトルで発表した。この発表をもとに、15名の連名で雑誌「西日本皮膚科」へ投稿し、2015年に掲載された。そして昨年、第6回「西日本皮膚科」雑誌賞受賞論文6本の1本として選出された。想定外の受賞で、宮崎県皮膚科医会の活動が評価され喜ばしい限りだった。さらに、協力いただいた宮崎市職員に別刷を差し上げたら、宮崎市の口蹄疫の記録として残しますとの報告があり、喜びが重なった。今後も精進したい。



泌尿器科医会長  
中 山 健

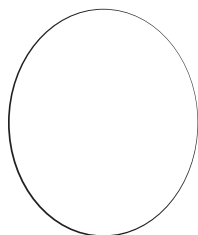
年頭にあたり、皆様に新春のお慶びを申し上げます。干支の羊さんにあやかって、本

年が穏やかな1年になることを願う次第です。とはいっても、昨今の世情は何かと不穏です。医政においても、「控除対象外消費税」は改正が必要な焦眉の問題の一つですし、また「患者申出療養（仮称）」の創設は限定的ながら混合診療の導入であり、全面解除を見据えた動きとも思われます。それから「医療事故調の指針」も要警戒で、私たちは日本医療法人協会の「現場からの医療事故調ガイドライン検討委員会」による最終のGLを推進するべきと考えます。いずれにしろ、私たちの更なる医政への取組みが望まれるところです。

ところで、県医におかれましては昨年新執行部が誕生し、以来諸事の進捗が順調のようで、ご同慶の至りです。

当医会に関しましては、これまで宮崎大学泌尿器科教室と協調して学術講演会の開催やM i u - Netの充実を計ってまいりました。とくに、後者（宮崎県泌尿器科医療連携；M i y a z a k i U r o l o g i c a l N e t w o r k）では、現在「宮崎県における前立腺肥大症治療のコホート研究」が進行中です。これは昨年4月1日に開始され、同9月の時点で早くも1,000例を超す新規症例が登録されました。このスタディは本年3月31日に終了しますので、その成果を一同今から楽しみにしているところです。

終わりに、本年も小生ならびに当医会に対する皆様のご指導、ご助力をよろしくお願い致します。

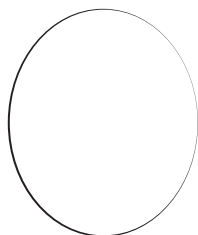


産婦人科医会長  
濱 田 政 雄

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年末の衆議院総選挙により消費税の 10% 増は 2 年後春まで延期されましたが、社会保障に向けられるはずであった増税分の施策はどうなるのであろうか。不安を取り残しての慌ただしい年末であったが、今年はどんな年になるのか。少子化対策は本当に待てないときに来たと政府もいよいよ実感したようで、5 か年ごとの医療計画は変更を余儀なくされ、新たな財政支援制度での改革が次々と打ち出されるようである。政府からのガイドラインがでると地域医療計画への要望は 1 か月以内に提出が求められる性急さである。産婦人科の喫緊の課題を整理して、将来の産科医療需給を十分に見越して、本県では産科難民が問題視されることがないようにしたい。子ども子育て新支援制度予算 7,000 億円は予定通り配布されるとのことであり、安心して妊娠・出産・子育てそして社会復帰が出来る滞りのない社会構築元年となることを期待したい。

さて、この 4 年間産婦人科で取り組んできた 0 歳児虐待対策は、県の協力もありどうにか連絡相談体制が出来ました。体制構築は社会においては謂わばハード部分であり、ソフトが出来なければ実効性はありません。また、相談窓口に来られない方を拾える方策が必要です。今年はソフト作成に力を入れます。次に少子化問題においては 1.42 の合計特殊出生率を 1.8 にするためには、20 代での出産を現在の 40% から 60% にすれば可能であるとしています。他方、20 代でのがん死の原因では子宮がんがトップです。若年者の子宮がん検診普及で子どもが作りたいときに子宮がないことを防ぐことが出来ます。この 3 つのことは互いに関係のないことようですがいずれも性に対する無知のもたらすものです。宮崎県では相変わらず中期人工妊娠中絶率（人工死産率）のワーストワンが続いていますが、10 年前と異なり若年者の占める割合が増加しており、その意味からも若年者への正しい性知識の普及が課題です。“おとことおんなの産み時・育て時・働き時”を合い言葉に、男女の真の共生社会そして子どもを産んで育てるのに適した生物学的年齢の時に無理なく産める社会にしたいものです。



眼 科 医 会 長  
柴 田 博

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

平成 25 年 3 月、日本眼科医会は有事に備え、どこでも眼科診療ができる検査機器をすべて載せたバス、ビジョンバン（以下 vv）を政府の協力で作りました。この経緯には平成 23 年 3 月の東日本大震災が大きく影響しています。vv があれば災害が起きた際、日本のどこでも眼科診療ができるし、世界の国々に派遣することもできると我々は思いました。

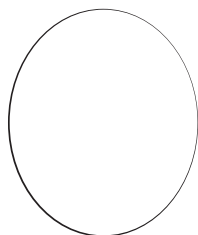
先の災害時、我々日本眼科医会は米国マイアミ大学の vv を借りました。この vv は米国で猛威をふるったハリケーン「カトリーナ」の際にルイジアナ州などの被災地を支援したバスです。お借りした米国版 vv が東北地方を巡回し、被災された方の目を守りました。その教訓を生かし日本版 vv を作りました。

その矢先、平成 25 年 11 月、超大型台風「ミランダ」による 6 m の高潮でフィリピン・レイテ島のタクロバン市が大災害を受けました。同市は人口 200 万人で眼科医が 12 名、その内 11 名が診療所を失い、想像もできない悲惨な状況でした。先の震災時に国際社会から受けた恩をお返しするためにも、同市の眼科診療の立て直しのためにも日本版 vv を役立ててもらおうと、平成 26 年 2 月に無償で貸し出しました。これにより、同市の眼科医が自らの手で、被災された方の眼科診療を行うことが出来ました。

微力ながら、タクロバン市の眼科診療復興の手助けになったのではないかと思います。また、日本とフィリピンの手助けにもなり、素晴らしい国際貢献をすることもできました。

タクロバン市の少しでも早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今後の我々の目標は、全科診療出来る病院船の建造をすることだと思っております。



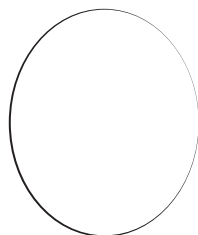
耳鼻咽喉科医会長

井 手 稔

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年( 2014 年 ) の 1 月に製造販売承認されました減感作療法薬であるスギ花粉舌下液が昨年の 10 月にやっと販売を開始されました。昨年の春頃はテレビで盛んに放映されていましたが、販売開始されてもあまり話題に上がりません。スギ花粉の季節になると話題になると思います。しかし、スギ花粉舌下液は 1 月 2 月 3 月は始めることはできません。スギ花粉飛散期には初回投与および増量はできないのです。投与期間は 3 年から 5 年となっています。つまり 3 年以上は毎日舌下しなければなりません。また、今年の 10 月までは新薬ですので 14 日分しか処方できず 2 週に 1 回の受診が必要です。その後も 1 か月に 1 回の受診が勧められています。なお、肝心の効果ですが、治験では、投与開始後の 2 シーズン目でのくしゃみ鼻水鼻閉などの鼻症状スコアは、プラセボ群に比べ 30% 低下することです。つまり、スギ花粉飛散期には症状は改善するものの内服薬や吸入薬等は少なくすることはできても全く不要とはいかないようです。スギ花粉舌下による減感作療法を希望した患者に副作用を含めこのような説明を行うと 7 % 位しか治療をできないとの報告もあります。今年の春にはスギ花粉舌下による減感作療法を希望してくる患者は多いと思いますが、夏頃になってもまだ加療の希望があれば再度説明して治療開始しようと考えています。

最後に、宮崎県医師会の先生方には、今年も宜しくご支援、ご指導お願い致します。



精神科医会長

吉 田 建 世

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶び

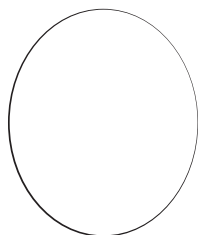
を申し上げます。

昨年 10 月より病床機能報告制度が始まり、平成 29 年度からの地域医療ビジョンに向けての策定がいよいよ始まります。2025 年を見据えた地域包括ケアの推進、地域の実情に応じた切れ目のない医療の提供が謳われております。入院医療から在宅医療への転換が推進され、介護との連携などの環境整備が必要となってきます。

一般医療が在宅医療へと移行する中、精神科においても入院患者様の退院を促進して、地域へ移行するように求められております。その中で昨年 4 月に精神保健福祉法の改正がはかられ、入院時の手続きの変更があり、入院予定治療期間や退院に向けた方針の設定が義務づけられました。それが遂行されるように自院の委員会で審査を行っている所です。

ただ精神科の場合、退院先の受け皿の問題は大きく、自宅以外の施設等の整備が、様々な規制もあり、遅れているのが現状です。また患者様の高齢化も進んでおり、地域で生活するには介護との連携も重要となってきます。現場の努力だけではなく、今後改善・充実に向けての国・行政の具体的な方針決定や経済援助に期待するところです。

宮崎県医師会の先生方には、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



放射線科医会長  
田 村 正 三

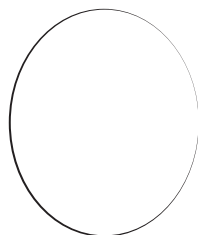
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

宮崎大学では 12月の教授会で放射線科の新教授が決まるようで、日州医事新年号がお手元に届くころには新体制が発足している予定です。放射線科医会では初代教授故渡邊克司先生の時代から放射線科教授が医会長を兼ねることになっています。新会長には課題山積ですが新しい未来のために努力してほしいと思っています。

医会長在任中を振り返ってみて宮崎県の放射線医療のもっとも大きな問題点は、宮崎大卒業生の宮崎県残留が少なすぎ、放射線科も入局者不足で、放射線科医会構成員の高齢化が進行していることと思います。あと約 5 年で宮医大一期生は 65歳の定年に達します。10年後には現在の主力になって働いている人たちのかなりの部分は今のようには働けないと予想できます。画像診断の進歩は今後も続くので専門医の必要性は今後もさらに増していくかと思われます。マンパワーの減少は早急に是正が必要です。

先般、世界で初めて iPS 細胞を用いた網膜移植を成功させた高橋医師は、専門を選ぶときに、家庭と両立できる科として眼科を選ばれたそうです。放射線科も幸い家庭と両立しやすい科とされていますので女性医師にももっと関心を持っていただき、子育て期間は遠隔画像診断を駆使して、余力のある放射線科専門医とともに宮崎県の放射線科診療を支えていただければと希望しています。

皆様に引き続きご理解と暖かいご支援をお願いして新年のご挨拶といたします。



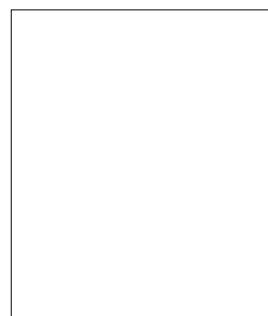
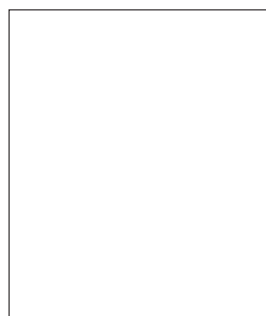
東 洋 医 会 長  
川 越 宏 文

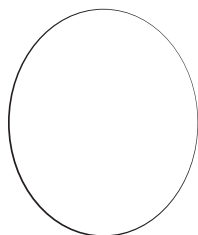
あけましておめでとうございます。

東洋医会の川越でございます。今年も宜しくご指導ご支援いただきますようお願い申し上げます。さて、今回は都城医師漢方研究会との共催で開催された市民講座のご報告をいたしました。今回は 11月 15日(土)に宮崎駅前の K IT EN 8 階で開催された漢方県民講座のご報告をいたします。

160名と予想以上の参加をいただき、会場はほぼ満員。次回開催時はさらに広いスペースが必要です。講師は松本内科呼吸器科の松本紫朗先生には「風邪と漢方」、そして中山産婦人科の中山郁男先生には「冷えと漢方」についてお話しいただきました。私は漢方の置かれている現状の説明に参加者にさせていただきました。3 月には総会及び学術講演会を予定しています。詳細が決まり次第お知らせします。

今年も本会のご支援いただきますようお願いいたします。





## 透 析 医 会 長

藤 元 昭 一

新年，明けましておめでと  
うございます。当会は県分科  
医会として仲間に入れていた  
だき，新年としての7年目を迎えました。

旧年中は会員の先生方には色々とお世話になり、厚く御礼申し上げます。特に、透析施設の閉院に当たり、宮崎県医師会の幹部の先生方・事務の方々、行政の方々、宮崎市郡医師会の幹部の先生方、当会副会長の中山健先生には大変なご指導を賜り、誠に有難うございました。また、宮崎市内の全透析施設の先生方には、患者受け入れに当たり、全会一致でご協力をいただきました。多くの患者さんが、無事に日々の透析医療を受けておられることは皆様のおかげであると、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、九州では、全体で約 500 の透析施設が加入した九州人工透析研究会が組織されており、医師ばかりでなく、各種医療スタッフのレベル向上と安全な医療を目指して、長年にわたって活動が継続されています。高い透析医療レベル

の均一化が図られていること、内科と泌尿器科、各県間の交流がスムーズで仲間意識が高いことなど、全国的にも高く評価されています。最近では、九州全体での医学的な研究ばかりでなく、大規模災害対策に関しても、話が進められようとしています。宮崎県では、災害対策のためのシステム構築が、県の危機管理室や健康増進課、宮崎大学医療情報部などのご協力のもと、着実に進んでいます。本透析医会ではホームページも立ち上げており、災害時対策、会員相互の情報共有、講演会などの情報発信、などなど、有効に活用されることが期待されています。これらも、宮崎県医師会の分科医会に入れていただくことで行えた事業であると感謝しております。今後も、他の医会の皆様とともに、共有できる問題は一緒に解決の方向を模索できればと願っています。

本年が皆様にとり良い年でありますことをお祈り致します。また、本年も当医会へのご指導とご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹んで年頭の

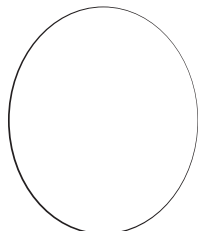
ご挨拶を申し上げます

河野雅行	富田雄二	濱田政雄	立元祐保	吉田建世	小牧斎	荒木早苗	池井義彦	牛谷義秀	金丸吉昌	佐々木幸二	高村一志	上田章	峰松俊夫	川野啓一郎	佐藤信博	佐々木究	岩村威志	米澤勤	鮫島浩
会長	副会長	常任理事										理事							

宮崎県医師会

理事	〃	〃	監事	〃	理事
事務	小	中	赤	内	糸
職員	牧	村	須	村	数
一	文	周		大	智
同	雄	治	巖	介	美

## 年 頭 の ご 挨拶



宮 崎 県 知 事  
河 野 俊 嗣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

宮崎県医師会の皆様には、日頃から県政の推進につきまして温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年 3 月、県民の長年の悲願であった宮崎から延岡までがついに一本の高速道路で結ばれ、「東九州の新時代」を迎えました。また、3 つ目の国際定期航空路線として香港線の新設が決定したほか、「長崎がんばらんば国体」では「チームみやざき」の奮闘により、昭和 54 年の宮崎国体以降で最高の天皇杯 19 位と大躍進を果たしました。

本年は、こうした成果を礎に、直面する課題へも果敢に挑戦しながら、県民の皆様とともに、誰もが安心して暮らすことができ、将来に夢や希望を持てる地域づくりを進めてまいります。

このため、県では、平成 27 年度の施策の展開に当たり、「人口減少問題の克服」「将来の発展と地域を支える人財づくり」「『宮崎のおもてな

し』の磨き上げと魅力の発信」「本県の更なる発展に向けた長期的・継続的取組」の 4 つの視点で取り組むこととしました。

特に、医療分野においては、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築とともに地域包括ケアシステムを構築することを通じ、医療及び介護の総合的な確保を推進するため、消費税増税財源を活用した宮崎県地域医療介護総合確保基金を昨年 12 月に設置し、各種事業を展開していくこととしました。県内各地域において、切れ目のない医療・介護サービスの提供を安心して受けられる体制の構築が図られるよう関係団体等と連携して取り組んでまいります。

今、本県は大きく羽ばたこうとしています。活力にあふれ、国内外に開かれた「みやざき新時代」を築いていくため、今後とも、皆様の声に真摯に耳を傾け、全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新しい年が、県民の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

謹んで年頭の

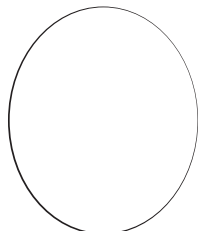
ご挨拶を申し上げます

宮 崎 県 医 師 協 同 組 合

事 務 職 員 一 同

監 事	理 事	専 務 理 事	副 理 事 長	理 事 長
桑 原 正 知	赤 須 巖	佐 々 木 幸 二	牛 谷 義 秀	吉 田 建 世
立 元 祐 保	西 村 篤 乃	富 田 雄 二		

## 年 頭 の ご 挨拶



宮崎大学長

菅 沼 龍 夫

平成 27 年乙未年、明けまし  
ておめでとうございます。

宮崎県医師会の皆様には日頃から宮崎大学医学部ならびに附属病院の教育、研究、診療活動に対し、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、宮崎大学創立 330 周年記念事業では多大なご厚志、ご支援を賜り、「宮崎大学創立 330 周年記念交流会館」の建設を始めとする諸事業を行うことができました。改めて深甚なる謝意を表する次第です。

国立大学改革という大きなうねりの中、向こう 10 年程度を視野に本学の活動指針ともなる「宮崎大学未来 Vision」を策定しました。異分野融合を軸に「地の利、人の利」を活かし、「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発信をめざし、地域活性

化の中核拠点として邁進する所存です。異分野融合を軸とした研究技術開発の推進、地(知)の拠点整備事業の深化と定着、グローバルキャンパスの構築とともに、地域への高度医療提供・健康促進として、「地域のニーズに沿った高度医療の提供を目指し、国立大学の附属病院として地域医療や健康促進等に貢献します」と謳っています。

お陰様で、平成 24 年に開設した救命救急センターならびにドクターヘリの運航、さらに平成 26 年導入のドクターカーも宮崎県医師会の皆様のご支援、ご協力により順調に任務を遂行しています。先般、宮崎市から宮崎市立田野病院の指定管理者に宮崎大学医学部附属病院が選定されました。宮崎県の中核医療機関としての責務を果たし、尚一層地域医療に貢献いたします。

宮崎県医師会の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

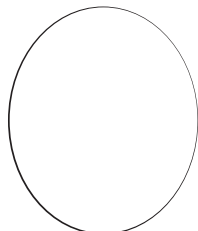
宮崎県医師会国民健康保険組合

事務職員一同

監事	理事	常務理事	副理事長	理事長
山 棚 糸 佐 川 高 矢 佐 高 濱 大 秦	路 田 数 藤 野 村 野 々 橋 田 坪 喜	健 文 美 博 啓 一 裕 政 政 睦 八	郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎	

謹んで年頭の  
ご挨拶を申し上げます

## 年 頭 の ご 挨拶



衆議院議員（1区）

武 井 俊 輔

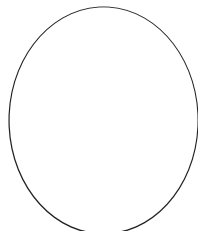
新年あけましておめでとうございます。謹んで、お慶び申し上げます。宮崎県医師会

の先生方におかれましては、常日頃より温かいご支援を賜り御礼を申し上げます。また、本県の皆様の健康増進並びに地域医療の確立にご尽力いただいておりますことに深く感謝と敬意を申し上げます。

昨年末に行われました衆議院選挙においては、多くの皆様から力強いご支援を頂き二期目を務めさせていただくこととなりました。この重みをしっかりと受け止め、精進していく所存でございます。

さて、先の選挙では地方創生を一つの焦点として戦って参りました。これまでの一括的な政策ではなく、それぞれの地方が主役となり、その地方に見合った政策を押し進め、活力のある地域を創って参ります。現在「2025年問題」が取り沙汰されています。2025年における75歳以上の人口が2,200万人を超え、医療や介護の負担が大きくなると指摘されるこの問題ですが、真っ先に負担をお願いすることになるのが、医療・介護の第一線で活躍されている先生方です。この負担を少しでも軽減する為に、そして県民の皆様が安心して医療を受け続けられるようにするためには、今回訴えてきた地方創生が必要不可欠であると考えており、また全力で取り組む覚悟でございます。

最後に、貴会の益々のご発展と会員の先生方の御健勝と御活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員（2区）

江 藤 拓

平成27年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。宮崎県医師会の先生

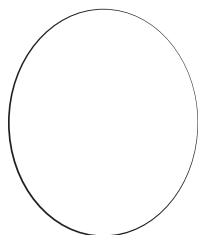
方におかれましては、医療提供体制の充実と県民の健康増進のため日夜ご尽力いただいておりますことに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、少子高齢化が急速に進展する中で、持続可能な社会保障制度の確立は急務となっております。その一環として医療介護総合確保推進法に基づく地域包括ケアシステムの構築や医療機能の分化・連携、医療従事者の確保などの取組みが本年から本格的に始動致します。医療と介護の一体的運用は、地域の医療現場を熟知しておられる医師会のお力なくしては成し遂げられません。医師会の先生方のご協力を切にお願い申し上げます。

また、現在、医療保険制度の財政基盤の安定化、保険料負担の公平性の確保などの議論も精力的に行われております。我が国の公的医療保険制度は、世界に誇るかけがえのない制度であります。国民皆保険を堅持することを前提に必要な改革を進めてまいります。

今後とも、医師会の先生方のご指導を仰ぎながら、県民の皆様が安心して質の高い医療を受けられるよう、地域医療を支える病院や診療所の経営基盤の安定を図るべく邁進してまいります。併せて、医師を始めとする医療従事者不足等の問題の解消や在宅医療の推進にも勇躍取り組んでいく所存であります。

新年が皆様にとりまして素晴らしい年となることを祈念し、年頭のご挨拶といたします。



衆議院議員（3区）

古 川 禎 久

新年明けましておめでとうございます。宮崎県医師会の先生方におかれましては、ご

健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。先生方には平素より暖かいご指導を賜り、心より感謝申し上げますと共に、県民の皆様の健康を守るため、献身的にご尽力されておりますことに深く敬意と謝意を表します。

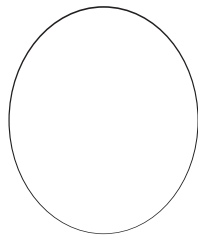
さて、2025年には「団塊の世代」が全て75歳以上となるなど、我が国では急速な高齢化が進行しています。高齢化の進展に伴い、更なる医療・介護サービスの需要の増加と多様化が見込まれることから、限られた医療・介護資源を有効に活用し、必要なサービスを提供するための体制の確立が喫緊の課題となっております。

昨年6月に医療介護総合確保推進法が成立しました。今後、県や市町村では、適切な医療提供体制を整備するための地域構想の策定や地域包括ケアシステム構築に資する在宅医療・介護の連携推進への取り組みを実施することとなりますので、県医師会のご協力を改めてお願い申し上げます。

消費税が引き上げ延期となりましたが、我が国の優れた公的医療保険を支えていくには必要な財源となります。医療機関に関わるいわゆる損税の問題については、解決に向けて引き続き努力してまいります。

今後共、県民の皆様が安心して医療を受けられるよう、先生方のご指導のもと、医療環境や地域医療の充実発展に力を尽くしてまいります。

最後に、宮崎県医師会の益々のご発展と先生方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

松 下 新 平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

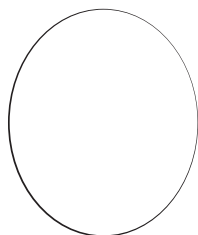
宮崎県医師会の先生方におかれましては、日頃から、県民の健康を支え、福祉の向上にご献身いただいておりますことに、深く敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、日本の医療・介護を「地域完結型」の方向に変えていくための重要な年になります。患者の方が急性期や回復期等のそれぞれの状態に相応しい良質かつ適切な医療・介護を効果的かつ効率的に受けることができるようにする取り組みが、本格的に始まります。

昨年6月に成立しました医療介護総合確保推進法などにより、地域における医療機能の過不足について語り合い、医療機関も介護施設も主体的に将来に向けて取り組んでいくための地域医療構想(ビジョン)の策定が、この4月以降に地域で始まります。これらのビジョンに基づく対応をすることが、各地域で地域包括ケアシステムの構築を推進するものと考えます。進行する高齢化を踏まえ、在宅医療を含めた地域医療の充実に向けて、誠心誠意、努力してまいります。

私も、参議院議員武見敬三先生が会長をお務めの医療政策研究会の一員として、又、自民党総務部会長である政権与党の政策責任者として汗を流して参る所存です。

最後に、宮崎県医師会員の先生方の本年の御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

長 峯 誠

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

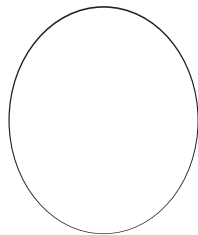
宮崎県医師会の先生方には、日頃から温かいご指導を賜り、心から感謝申し上げますとともに、県民の皆様の健康の増進と地域医療の確立のため、ご尽力いただいておりますことに深い敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、通常国会において、新たな基金の創設と医療・介護の連携強化、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保、地域包括ケアシステムの構築などの措置を講ずる「医療介護総合確保推進法」が成立いたしました。本年も、医療保険制度改革や医療法改正などが検討されております。

少子高齢社会の下、持続可能な社会保障制度の確立が喫緊の課題となっております。住み慣れた地域で「切れ目のない医療・介護」が受けられるよう、地域ごとに医療・介護の在り方を考えていくことが求められています。すべての人がかかりつけ医を持ち、一人ひとりが健康づくりを続けていけるような環境整備が必要となっております。地域医療の重要性は本当に大きなものだと実感しております。

一昨年の参院選で国会の場に送り出していたから一年半になろうとしております。国政の場で皆様の声を反映できるよう努力してまいりました。県民の皆様が身近な地域で安心して医療を受けられる体制を整え、信頼できる社会保障制度を構築すべく、引き続き全力で取り組んでまいります。今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後に、宮崎県医師会の益々のご発展と会員の先生方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



県議会議員

清 山 知 憲

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

宮崎県医師会の先生方には日頃より厚いご支援を賜り心より感謝申し上げます。

旧年は12月2日の定例県議会最終日にて、医師会病院への医師派遣を促す財政支援や修学資金貸与者の勤務する指定医療機関へ医師会病院を含めるよう求める「医師会病院の医師確保を求める請願」を全会一致で可決、採択致しました。議会の後押しを受けたこの内容を政策面で実行できるよう努めて参ります。

また、新たな財政支援制度により国からの約8億9千万円の交付を受けましたので在宅医療・介護推進協議会の設置や医療機器整備事業等を進めて参りますが、引き続き地域医療介護総合確保事業の財源を確保できるよう県において実効性ある計画を立て、国に働き掛けを続けていく必要があります。

中山間地の医師確保については厳しい状況が続いております。自治医大卒業医師に加え、宮崎大学寄附講座からの医師派遣や修学資金貸与を受けた医師の配置機能を県において強化するよう求めて参ります。宮崎大学医学部地域枠の出願要件については、県内出身で県外高校卒業生に対しても枠を広げられるよう検討すると県は11月定例県議会において答弁されました。

高齢化へ対応するための地域医療充実には確かな政策の実行が必要になって参ります。少しずつでも、前進できるよう努力して参ります。

結びに、県医師会の益々のご発展と先生方のご健勝を心より祈念申し上げ、念頭のご挨拶といたします。

## 新 春 随 想

( その 1 )

新春の随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2 月号にわけて掲載させていただきます。

## 新年まず気になること

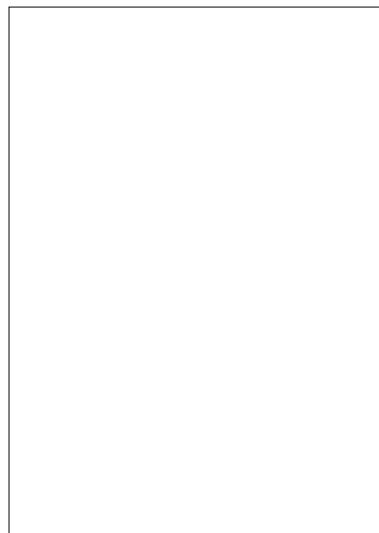
日南市 山見医院 やま み のぶ お 山 見 信 夫

新年気になるのが築地市場の初競り。毎年本鮪にはご祝儀相場の高値がつく。1 本数百万から数千万。一昨年は 1 億 5 千万円もの値がついた。私が気になるのは値段ではなく誰の上げた鮪が初値になったか。

私は根っからの釣り好きで、子どもの頃からあちこち出かけた。最終的に辿り着いたのが津軽海峡。鮪が釣れ出すと「医者やってる場合じゃないぞ、本業に戻れ！」と冷やかしの連絡が来る。世間的にはなかなか釣れないと思われている本鮪だが、実は釣れるタイミングを図ればそれほど釣果率が低いわけではない。久しぶりに行っていきなり上げると、漁師からは「遊びでやるやつは気軽だ。漁師は釣れないと思っている日でも海に出なきゃいけないが、釣り好きは釣れる時だけ来てすぐ上げるからありがたみがわからない」と言われたりする。医者も患者さんが少ないと思われる日でも外来を開けるのと同じこと。

大物が釣れたら築地に卸すわけだが、私のような素人の鮪でもちゃんと青森漁連が築地まで運んでくれる。競り落とされたら諸経費を引いた 90% が手取り。これだけ聞くと報酬付きのいい博打だが、雪の中、波しぶきを浴びながら作

業をするため相当好きでないと楽しめない。せっかく青森まで行っても荒れた海を眺めてとんぼ返りも数知れず。いつかは初値の鮪を揚げたいが、今は自分の釣った鮪を知り合いが競り落とし、お裾分けをいただき一杯やって至福の時間を過ごす。初値になる鮪は最低でも 200kg。精神力と体力が要。歳をとったらとてもやれない。残りの人生であと何回チャンスがあることか。年末宝くじより当たる確率が低そうだが、努力次第で確率を上げることはできる。仕事柄、丸々 1 日休める日が年間何回もないから、まずは休暇を確保することから克服しなければならない。



## 最後の大仕事 - 残された時間 -

宮崎市 山村内科 ^{やま}山 ^{むら}村 ^{よし}善 ^{のり}教

この文が掲載される頃には、私が開業する時に借りた残債の支払いが完了していると思う。本来なら、2年半前には完済していたはずだが、見通しの甘さと努力不足のために資金ショートが目前となり、5年前に銀行にモラトリアムをお願いして今月まで引き延ばしてもらった次第。もちろん、最近でも雨漏り防止対策のために数百万の追加融資を受けたり、CTの管球交換や10年間乗り回した車を新車に替えたりするたびに融資を受けているので、残債が消えることはない。しかし、初期投資を完済した喜びは大きい。

開業にあたって、莫大な借金の保証人になってくれたのは、以前、この誌面で『五つの約束』と題した駄文でも紹介した母方の叔父であるが、この叔父は、ある会社の社長をしていた時に、「自分の最後の仕事はゴルフ場を造ることだ」と言ったことがある。それから数年後にオープンしたUM KCCがそれである。既に他界して久しい叔父も、私が借金を完済したことを、父と共に黄泉の国から喜んでくれていると思う。

さて、私は昨年11月に65歳となり前期高齢者の仲間入りをして、人生の残り時間も少なくなっているが、その残された時間で関わる最後の大仕事は言うまでもなく、宮崎市郡医師会病院の移転新築である。築30年を経過して、増改築を繰り返してきた結果、ご多分に漏れず動線は複雑化しており、また老朽化により頻繁に生じる建物や機器の修理や入れ替えを余儀なくされ、そして、それ以上に問題なのは災害拠点病院の指定を受けながらも、海岸線から600メートルし

か離れておらず、標高も3.5メートルしかないの  
で、大津波の際には使い物にならない施設になっ  
てしまうと予想されているからである。

現在、2020年のオープンに向けて経営企画課  
が中心となって計画を進めているが、東北地方  
の震災・津波被災の復興事業による人材・資材  
不足による建築費の高騰に加え、オリンピック  
招致準備に向けてさらなる高騰が予想され、内  
心、戦々恐々である。

今、23年前(1992年)の開業準備や開業後のあ  
れこれを思い起こす時、あの忌まわしいバブル  
が弾けて間も無い時期で、土地取得費も建設費  
も高止まりしていて、借金は多額となり、返済  
不能になる恐怖から、開業後2年間くらいは首  
を絞められたり、胸を押さえつけられる夢に飛  
び起きたりしたものだった。が、遅ればせなが  
らも、なんとか初期投資は支払いが完了した。

故岩切章太郎氏が会社の経営で苦境に立たさ  
れて悩まれ、お寺にこもられた時に、僧侶から  
「心配するな。工夫せよ」と言われて工夫を重ね、  
経営を軌道に乗せたと聞いている。「山より大き  
な猪はいない」ともいう。私が子供の時には、亡  
父から「知恵と。。。は要るとき出せ」と言われ  
ていた。できるだけ守ってきたつもりである。

私の人生に残された時間での最後の大仕事と  
して、川名宮崎市郡医師会会長が唱えておられる  
『患者満足度日本一の医師会病院』の構築を目指  
して尽力したいと思っている。

例えば、宮崎市のドンキホーテと呼ばれよう  
と...

## 短歌

## 転倒肋骨骨折

延岡市 藤本内科小児科医院 藤本孝一

妻留守の夜半に転倒し肋骨を三本骨折身動き出来ず

萎えし身に肋骨折らんわが呼吸苦しく胸痛ことさら強し

肋骨を骨折したる医師われは土曜日休診朝より休む

寝返りの出来ず苦しく肋骨の骨折により寝れずにゐる

整形外科の長男は聞く病状を容易ならざり肋骨骨折

## 老年の美学

延岡市 ほうしやま子ども ほうしやま ひろし  
クリニック 宝珠山 弘

馬令を重ねるといろいろ思うことも多い。

老年に生きると云うことは、どんなことだろうか、思うに老人にもいろいろな姿がある。

「見るも涙のホームレスの方」「日々肉体的に働いている人」「病気で入院生活をしている方」又「老いてなお気骨な精神を輝かせている人」まさに人生いろいろである。

考えるにこうありたいと思うことがある。

- ・貧しくても心に和顔愛語をもっている方
- ・若い人に人格、風格を慕われる者
- ・人生経験を生かし上手に自由を楽しんでいる方
- ・強い生き方の知恵をもった姿に学びたいと思われる人

・喧嘩上手で美学をもった老人

・ボロは着てても心の錦をもっている方

いずれにしても美しいと云うことはいいことだと常に思っている。

有名な“松原泰道”さんのモットーたる「生涯修行」「臨終定年」とある如く、空しく老いないためには精進が大切である。はなやかな桜の時期が人生でなく、それぞれの時期に応じて最大の努力をして、“名もなく貧しく美しく”をモットーに己を貫き人生経験を生かし上手に美学をもった老人になりたいと思う。

ある書物に、老人になることは老人に育つことであり、そして心に若さを保つことである、又老いて回想のみでなく、青春がある如く、今をふるいたたせる老春があるとあった。

心すべきことと感じている。

## 阿蘇山の旅

日向市 康田産婦人科医院 やす だ あき てる  
康 田 明 照

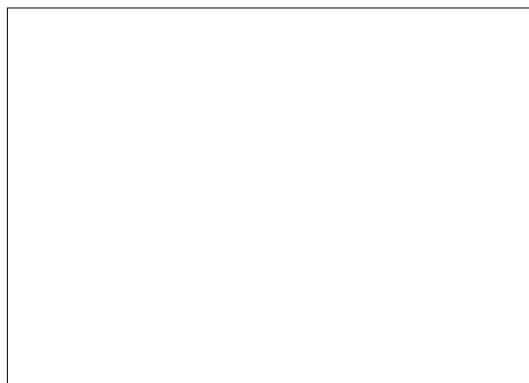
御嶽山は9月2日に噴火、死者57人、行方不明者6人を出して戦後最悪の火山災害となりました。犠牲者の大半は噴火の時に吹き飛んできた石の直撃を受けて亡くなりました。その翌日、阿蘇山を巡る旅に出掛けました。正直言って、心の中は少し不安でハラハラ複雑な心境でした。

外輪山の大観峰から見たカルデラと阿蘇五岳は熊本県のシンボリックな存在として親しまれています。阿蘇五岳を見た姿は釈迦が寝ている姿（涅槃像）に似ていると言われています。外輪山の内側を中心として阿蘇くじゅう国立公園に指定され、温泉や観光、レジャースポットが点在する有数の観光エリアです。

草千里ヶ浜にある阿蘇火山博物館では阿蘇に関する貴重な資料の展示や様々な体験コーナーを設けています。阿蘇の歴史や風土に触れることでその魅力を一層楽しむことが出来る施設です。草千里では乗馬も行われています。特に草千里ヶ浜は風致景観が良く近代詩にも詠われており、国の名勝及び天然記念物に指定されています。

草千里の世界最大級のカルデラを眺望し、阿蘇の雄大な大自然のパノラマを満喫し、自然の恵みから得られる癒やしを感じました。草千里ヶ浜から阿蘇火山を見ると本当に穏やかですがいつも噴煙を上げ続けています。記念に阿蘇火山の写真を撮りました。ニュー草千里、山の駅物産館にて昼食をし、熊本の名物馬刺のにぎり寿司、赤水の赤牛のしゃぶしゃぶをはじめ色々なバイキングの料理を堪能しました。

熊本ワイナリー見学ではフルーティーな甘口ワインやすっきりした味のワインなど数種類の試飲を楽しみました。おつまみに良さそうな馬刺の燻製などを試食し、お土産にしました。メロン農園にてメロン狩りをしました。勿論狩り放題、払い放題です(笑)。本当に楽しい旅でした。



## パソコンとの33年間の付き合い

宮崎大学 フロンティア科学実験 か どう しょう じ  
宮崎市 総合センター 加 藤 丈 司

子供の頃から「コンピュータ」という単語は耳にしていたが、身近な日常の道具になるとは想像しなかった。朝起床するとパソコンを開いてメールチェックをして、大学では、データ整理、学会準備、論文執筆など、全てパソコンを使用し、診療でもパソコンに向き合う。一日の仕事も、パソコンを閉じて終了する。最初に出会っ

たパソコンは、198年に購入したNECのPC-8001で、価格は15万円程度であり、大学生の私には高価な買い物であった。パソコン雑誌に掲載されているゲーム等のプログラムを、ベーシック言語やマシン語で入力して楽しむなど、当時、パソコンはおよそ趣味の世界であった。コンピュータ相手に麻雀をして、国士無双で勝利して有頂天になり、徹マンをしたこともあった。1980年代後半から仕事でパソコンを使うようになり、電子メール、ウインドウズの出現など、個人使用のレベルでも革命的な変化がもたらされた。

雑誌タイムに、ソフトウェアの脆弱性に関する記事が掲載され、最近設立された米国のE社が紹介されていた。E社の主な業務内容は、コンピュータソフトの脆弱性を発見し販売することである。ソフト販売会社は、ソフト発売後、発見された脆弱性を購入して修正し、よりセキュリティの高いソフトにすることが出来る。一方で、悪意をもった組織が、コンピュータに侵入するためにも使用されうる。脆弱性は、種々の市場で売買されているらしく、修正ソフトが作成される前の新鮮な脆弱性ほど高価であるという。さらに、古い脆弱性を、新鮮な脆弱性と偽って販売する詐欺もあるという。E社と同様の業務内容のN社のモットーは「We protect you from people like us」であり、自分たちが善人が悪人が判らないことを認めている。この記事を読んで、PC-8001で徹マンをした時代がなつかしく思えた。今後、より安全かつ便利なパソコンに進化することを念じつつ筆を置く(パソコンを閉じる)ことにする。

## 発想、着眼が大事

西都市 西都児湯医療センター 後藤 有 人

宮日新聞(10/11/2014)に証言「乗った汽車は地獄行き」が掲載された。シベリアでの抑留労働では珪肺症も発生した。終戦時、旧関東軍将兵は故郷に帰る筈の列車が、東とは反対の西に向かっているのを知って愕然とした。シベリア抑留での強制労働は森林伐採、運搬などの他、削岩などの鉱山労働もあった。石英の鉱山で文明社会では全く考えられない、無防備、短期間、大量粉塵吸引型珪肺症が発生した。正しく動物実験に類するものであった。元将兵は復員後、当然珪肺症の発生をみたが、当時殆どが肺結核と診断されていた。シベリア珪肺症は縄田千郎により指摘、発見され、国家補償の端緒となった。

縄田はシベリア珪肺症は、肺結核とは異なる疾患ではないかと云う点に着眼した。高濃度粉塵を短期間に大量吸入したことで発症する「シベリア珪肺症」は経時的に徐々に発症する通常型珪肺症とは異なり、従来の医学知識からは診断困難である。診断の入り口は生活歴、兵役歴を聴取することからスタートしなければならない。縄田は元兵士たちの悩みを共有し、丁寧に診察を行い、その疾患が肺結核ではなく珪肺症であるとの結論に達した。

90年代、国家補償と健康の相談が目的で、シベリア珪肺全国連絡協議会が開催されていた。懇親会では珪肺症に罹患した元兵士たちは60歳代で体力に余裕があり、戦友たちと年一度この会に出席し交流を深め、心が安まった一時を過ごした。しかし、我に帰り、孤独になると、加齢に加えて、忍び寄る珪肺の進展による息切れ

と呼吸機能不全に不安な毎日の連続であった。  
会に出席していた縄田も元将兵もすでに鬼籍に  
入っている。

文献：縄田千郎著：シベリア珪肺症，  
斯文堂( 鹿児島市 )，1994  
：縄田，後藤：シベリア珪肺症 130例の臨床  
的検討，日医放会誌 1995/55/121-128



## アルゼンチン・バラニー学会 ( 国際めまい平衡医学会 ) 報告

延岡市 吉田病院 きよ みず けん すけ  
清 水 謙 祐

私は耳鼻咽喉科専門医であり精神保健指定医  
であるが，めまい専門医として両科にまたがる  
患者の診療にあたっている。持病のクローン病  
もあり田舎に引きこもる予定がどういうわけか  
学会参加や発表など精力的に活動できている。  
その難病医師が地球の裏側アルゼンチンの学会  
に参加したのでご報告申し上げます。

2005年に延岡市吉田病院に勤務してから耳鼻  
科の学会に数多く参加したが，精神科の学会に  
参加するよう上司より言われていた。そこで精  
神科で一番大きな学会，日本精神神経学会の参  
加を 2013年 12月に決めた。めまいシンポの企画  
を思いつき主旨を提出した。そこにアルゼンチ  
ン・バラニー学会の報告も含めていたが，あま  
りに遠いため参加を見送っていた。めまいシン  
ポが精神神経学会で採択されることは奇跡でも

起こらない限り無理と思っていた。3月下旬奇  
跡は起きた。5月アルゼンチン学会の参加を決  
めた。

しかし調べれば調べるほど治安は悪く最悪だっ  
た。サイフを持つとサイフごと盗られる，夜道  
を狙われる，日曜の午前は警察もお休み，ケチャ  
ップ強盗：服を汚して介抱するふりして盗まれる，  
ホテルも治安が悪い，特に日本人とわかると数  
人で囲まれる，などキリがない。会場のヒルト  
ンは安全だが一泊朝食別インターネット別で 2.3  
万は高かった。しかも周囲にホテルがない！し  
かし Hotel 5 com や Google Map など会場周辺の  
地理に行く前から頭に叩き込み，Telink 国際電話  
を使って英語が通じる安ホステルなど事前情報  
を得た。さてアメリカ，ヒューストン経由で 33  
時間，体調管理のため抗めまい薬・睡眠薬は欠  
かせなかったが，無事に到着した。吐きそうであ  
ったが最前列で講演を聞いた。強盗からパー  
マ液をかけられた日本人もいたが，ひげを伸ば  
し高価でない身なりで現地人のふりをして無事  
だった。「めまいを伴う精神疾患併存と向精神薬  
治療」のポスター報告を行った。アルゼンチン  
タンゴは浮気をした夫と不倫のシーンがあまりに  
なまめかしくラテンの開放的にびっくりした。  
肉料理は量も味も満足で楽しんだ。氷河，イグ  
アスの滝など観光した参加者もいた。また 30時  
間かけて帰宅し翌日から 7 連続出勤であった。  
クレジットカードを使用したところ不正使用の  
恐れがあり日本で使用停止にした。実際の 6 月  
精神神経学会めまいシンポではせっかく用意  
したバラニースライドも時間の都合でカットさ  
れた。

今後，めまいを診察する一般医師同士の発展・  
連携を祈念する。

## 私の趣味

宮崎市 のぎきクリニック ゆ げ たか お  
弓 削 孝 雄

新春随想を医師会の広報委員の方から依頼され、随分迷いました。

自分は文章を書くのも、表現するのも、非常に苦手で、今まで投稿したことはありません。

只、今年の7月で7歳を迎え、記念に思い切って書いてみました。

今の自分の健康の源になっている運動について、簡単に紹介します。

### ランニング

2年前から走っています。きっかけは25年前にはじめたテニスのシングルの試合で相手に走らされ、息切れ、足の痙攣でデポ(途中棄権)が続いたため、悔しくて50歳からランニングを開始。月に150~200km走り、各地のレースにも年1回ぐらい出場。5km, 10km, ハーフ。約10年間続け、58歳頃、県体にも出場しました。60歳頃膝を痛め、レースにはほとんど出場せず、現在は週3~4回早朝ランで4~5kmで汗を流しています。

### 登山

ランニング開始の50歳頃に、体力の衰えの心配とその頃、第2の登山ブームがきっかけです。九重登山(昔の同級生仲間と)がはじめて、その頃の勤務先(県立延岡病院)の登山グループに入門し、年30回位屋久島、祖母山、傾山、大崩山、大山、四国の石槌山、白山、北アルプス、南アルプス、中央アルプス(御嶽山には登っていません)、八ヶ岳、鳥海山と色々な山に登山。

現在も月1回は近辺の低山、年1回は連泊

でアルプス等に遠征しています。山の楽しみは頂上での達成感と一杯のビール、帰りの温泉です。

### 硬式テニス

学生の頃は軟式テニスをしていましたが、45歳で、25年間喫煙していたタバコをきっぱりやめた時、肥満を恐れ(当時78kg)テニスを開始。

反対に体重は徐々に減少し、現在は65~67kgを維持しています。

始めたころは面白く、テニスに明け暮れ、試合に多く出場し、50歳前に県体(壮年の部)に2回出場。

現在は膝痛の為、1~2か月に1回テニス仲間と楽しんでいます。

### ウォーキングとサイクリング

ランニングとテニスの量が減った分、現在はウォーキングとサイクリングで補っています。ウォーキングは毎日の通勤で往復30分、各地のウォーキング大会に妻と年に5~6回は参加しています。とにかく、私は歩くのが基本です。

サイクリングは遠くは高鍋、西都原、綾、田野、青島に、愛車(ビアンキー)で駆けています。一番遠くは木城のえほんの郷まで往復で100km強でした。

### 自宅でのトレーニング

老後の筋力低下予防の為、週3回(早朝ランをしない、月、水、金)に腹筋、腕立て伏せ、ブルワーカー、鉄アレイ、エキスパンダー、エアロバイク、etc。

自宅のミニミニトレーニング室にトレッドミル(準業務用)を購入し、雨天時は室内で汗をかいています。

以上、文化的、芸術的趣味のない私は今後も体力維持に努め、地元(宮崎小、宮崎中、大宮高校の出身)の地域医療の為に、少しでも貢献できるように頑張る所存です。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 綾・照葉樹林マラソン

都城市 野田産婦人科医院 の だ しゅん いち  
野 田 俊 一

去年の10月19日に綾・照葉樹林マラソン(10km)に参加しました。3月30日に高城町でおこなわれた都城さくらマラソン(10km)に参加して、桜吹雪の中で、なんとか完走できたので、変な自信みたいなものが芽生え、また走りたくなりました。

当日は、凄く混みますよという参加経験のある先生の言葉を信じ、朝4時半に起床、5時に出発して午前6時には会場に到着しました。スタートは9時50分です。一人で来ていますので、とにかくやることはありません。普段見ないような、日曜のテレビ番組を見ながらひたすら時間を潰しました。あまりにも暇なので9時ぐらいいにスタート位置に行くと、昔、医局で一緒だった谷口先生(佐伯在住)に会いました。こんなに沢山の人の中で会うのは奇跡ですねと言いながらスタートを待ちました。本当に走れるのかな

と恐怖感の中で、いよいよスタートしました。普段は3kmしか走っていませんし、それもフィットネスクラブのランニングマシーンなので、自力で走ったことがほとんどありません。ハアハアと息が荒くなりはじめ、丁度半分くらい走ったかなと思ったら、掲示に3kmと書いてありました。「え、この3倍今から走るの?」と絶望感に襲われた時に、沿道から声援を受けると、不思議と足が止まりません。そうしているうちに、足がつりそうになってきました。つらないでくれと願いながらも、ちょっと元気が出てきます。これが噂に聞く「ランニングハイ」なのだと思手に判断し、走っているとゴールが見えてきました。ゴールに近づくと観客も、大変多くなり足も軽くなり、完走できました。参加賞をもらい、もちろん表彰式ありませんので、そのまま都城に帰りました。今回の記録は1時間5分4秒、さくらマラソンの時が1時間5分5秒でした。こんなにコースが違うのに1秒しか差がありません。素人ランナーが走っているのに、本当に不思議だと思いました。これで2回目の10km走を経験しました。普段は仕事では味わえない、変な緊張感と微妙な充実感を味わいたくて、また機会があったら走ろうと思います。1時間切れるのはいつのことでしょう?

カット

## 残り人生の中で目論むこと

宮崎市 若草クリニック 水^{みず}野^の昭^{あき}夫^お

医者になって4年目の年齢となりました。かなりの数の親族・親友・恩人が逝ってしまったのですが、「あと2巡りくらいは生息するのかな？」など気軽な夢想をしています。限りの日が訪れても周りがバタバタしないよう、気遣いの心もちょっとだけ持ちながら。

一つの夢は自立支援アパートの拡充。在宅医療の進行という国策には、＜医療費削減という意図が丸見え＞なのですが、結果としては良いこと。＜個人の人権を尊重し、管理し過ぎない＞ためには、病院や施設ではなく「在宅の自由な生活」がベストなのです。＜管理組織では個人の人権は軽視される＞ことになるのですから。

大淀川の岸边から県庁の裏まで13棟のアパートを作りました。近日中にクリニックビルを作る予定です。デイケア、訪問看護、往診などを積極的にする様々な診療所に入って頂いて、在宅医療の拠点としたいのです。デイケアの中には花壇や野菜畑などの他に、縄跳び広場、テニスコート、プールなど計画しています。倒産したホテルの多くはマンションになっているのですが、此处にも障害者や老人は居住できるわけで、この地域全体が、在宅医療の支援村として生かされる...という計画。気候温暖で雪も積もらない、風光明媚で農林漁業に恵まれた宮崎県は＜この支援村の条件を完璧に備えている＞と思うのです。観光県として栄えたこの地を、日本全国から集まってくる支援村として発展させていけそうな気がします。

あと一つの夢は「世界の刀狩り運動」。世界の

戦略兵器を全廃して戦争を無くさなければ人間の幸せは無いのです。戦争放棄を謳っている日本国憲法はそのための運動に邁進して来るべきだったのですが、逆方向に動いて、更に悪い方向に突っ走ろうとしているのです。

この運動の具体的な手法は国連の正常化の中にあると思います。つまり、「国連の五大国特権を廃止させること」が絶対的に必要なのです。＜五大国にだけ拒否権を与えて、核兵器を持っても良い＞などという規定を廃止させなければ国連が真面に機能できる筈はないのです。今のままではテロリストにエネルギーを送るだけ。

私はオリンピックの旗の下に「五大国特権を廃止させよう」という言葉を記させることから始める運動を起こしたいと思います。＜それが無い儘に、オリンピックを祝う＞ことは恥ずかしい。人間としての誇りは無きが如しと表現して良いでしょう。

東京オリンピックまでには無理でしょうが、これだけの目標を実現できれば、孫たちの笑顔を心から喜ぶことができるかな？

カット

## 八十路の想い

延岡市 延岡リハビリテーション病院 きし だ かつ あき  
岸 田 克 明

十年程前、或る地方の学会に出席した際の受付で、専門医番号を記入する欄に七十台後半の自分の番号を記入した所、受付嬢が「そこは年齢ではなくて専門医番号を記入して下さい」と言う。それ程の年寄に見えるのかと、がっかりすると共に「少なくともその番号の年齢までは生きてやろう」と思った記憶が残っている。その後、いつの間にか八十歳代前半に至り、幾つか不具合も抱え乍ら、現在の病院に何とか勤めている。

先日、以前勤めていた病院時代の看護師の方々が訪ねて来られ、彼女等の仲間の会合に招待された。

当日は、十人余りの懐かしい顔が揃い、お互い平等に年齢を重ねているが、彼女等は皆若々しく明るく、昔に戻って楽しく歓談することが出来た。

二十数年以上昔の事であるが、重症救急患者を常時受け入れる病院が少なく、県北全域各市町村からの救急車も受け入れ、特に車社会が急速に進行した頃で、交通事故の激増も加わり対応に忙殺された時代で、頻繁に呼び出され病院に駆けつけていたものである。従って看護師も、現在より少ない人数で仕事に追い回され、過重な勤務に耐えていた。

その厳しい状態は、スタッフの絶大な協力と使命感のお蔭で、切り抜ける事が出来た。一方で、連帯感も強くなり、時にはバーベキュー食事会や、川辺で星を眺めながらの宴会等、楽しい息抜きの思い出もあった。年齢と共に苦しい厭な記憶は薄れ、楽しい事にすり替わっていく

ものであるが、時を忘れて懐旧談に花が咲き、久々に命の洗濯をした様な楽しい時間を過ごせた事に心から感謝している。

新たな年は末年、人生最終の年男と思われる――今更と 思いながらも 年男――、少しでも有意義に過す事が出来れば、と念じている。

## 雑草花、静かなとき

宮崎市 野崎東病院 せい た まさ し  
清 田 正 司

子供の頃は動物園行きは楽しいものだった。年老いて今は寧ろ植物園の方へ関心が向く。花を見れば美しく思うとともに心和む。写真に収め一人で楽しむ。デジカメが普及してからこの度合いが増してきた。当然名前を確かめるが、花の本・インターネットで探しても判らない時があり、何時までも胸を痛めている。

十数年来朝夕の通勤で村角の野を往復する。ここには田圃あり畦道ありで自然が残っている。四季を通じて緑色の草の葉が見られ、白・黄・赤など野生の花(雑草花)が見られる。日々それらを愛でながら歩く。

草花は例年同じ時季、同じ場所に咲くのは当然であるが、経験して行くと多少それが変わることがある。或る年は花に恵まれて多数開花することがあるが逆に不作の年もある。早春の(と

いっても宮崎では年明けだが)ソクシはその例だ。  
例年芽を出す頃にその場所を探す、的中出来たことはない。

また、ある日突然に一斉に開花するのを見てびっくりすることがある。昨日までは全くその気配がなかったのに、今朝は一斉に咲いている！自然の摂理というか、神様のなせる技というかその正確さに驚く。

宮崎(市)は暖かい、真冬でも積雪を見たことがない。雑草花が年中見られることはそのためと感謝している。寒い1月でも多くの花が見られ幸せを感じる。

因みに名をあげれば、ナズナ、イヌナズナ、イヌガラシ、タネツケバナ、スカシタゴボウ；ノミノツヅリ、ツメクサ、シロツメクサ、マツバゼリ；ホトケノザ；カタバミ、ムラサキカタバミ、オオキバナカタバミ、ミヤマカタバミ；ツワブキ、フキノトウ、タンポポ、ノゲシ等々。この他スイセン、ナノハナ、雑草花以外ではウメ、ツバキ、サザンカ；キク、ナデシコ、ヤブラン(実)、ウキツリボク、ウナズキヒメフヨウ、フウセントウワタ、ビワ、クサギ(実)など多くの花を見る。朝夕のこの景色が私の健康の基となっている。(花の名は私の独断で誤りがあるかも知れません)



カット

## 私の野球歴

門川町 田中病院 ^{た な か ひろ お} 田 中 浩 夫

中学2年生の夏終戦、それまで私はお国の為に命を捧げんと決めた立派な軍国少年であった。日々配属将校の教練を受け、柔道剣道それにモース信号手旗信号など正課の授業として教えられ、夢は陸軍大将かと希望に燃えていた。然し沖縄が占領された頃から日々空襲を受け食糧不足となりみんな栄養失調となっていたが、大和魂だけはしっかり鍛えられて居た。が女、子供の守る吾が郷土は、もう反撃する力は無かった。終戦後すぐ吾が中学校でも丸腰のアメリカ兵がジープで乗りつけ校長室で会を持つ。4、5日して米兵が10人程ガムを噛み噛み校庭に現われキャッチボールを始めた。生徒もはじめてのボールとグローブを持って遊んだ。その頃私は薪割りの仕事だったから野球のボールに当てるのが得意だったのですぐ野球に馴じみ好打者になり野球狂へと育ってゆく、あっと言う間もなくあちこちに野球少年が生れチーム対抗学校対抗そして日本全土に野球ブームがやって来る。

熊本の旧五高周辺は下宿屋が多数散在する。日曜になると暇な学生が多い。各学部の学生に声をかけすぐ下宿対抗野球を小、中学校の校庭で終日行う。野球で多くの友人を作り今も交流している。卒業後研修医として延岡に赴任。此の地は早朝野球の盛んな地。私もすぐに仲間になる。勤務医になり大先輩の野球好きの吉田病院の吉田精孝先生に先生のチームの監督として声を掛けられて私の野球狂の心に火がついた。やがて昭和44年開業。すぐに門川の地域の青年を集めて友愛クラブを作る。又病院拡張後看護

職員も野球好きを集め病院単独チームを結成する。然し町，郡，県各大会に出場する道は険しかった。然しここに PL 学園のエース池内投手が入社して様子が一変，あっという間に県代表として全国大会に出場出来た。昭和 56 年天皇杯網走大会で準々決勝まで又昭和 58 年茨城大会では決勝戦まで勝ち進みギネス記録の 45 回を戦い準優勝した。今年の長崎国体でも準優勝するなど成績を残せるまで成長した。

若い職員の多い職場で仲よくたのしく事故なくするには皆の会話が必要であり，日頃の信頼関係を作ることが何より大切である。立派な人間を家庭を社会人を作るために野球を応援して下さる家族地域の方々，もちろん患者を大事に感謝の気持ちで日本一を夢みて進んで参ります。

## せめての家内孝行

宮崎市 たにぐちレディース たにぐち し ろう  
クリニック 谷 口 二 郎

産婦人科医のつらいとこ。それは行きたい時に予定通りに出かけることが出来ないことだ。予定していても半分はキャンセルすることになる。だから遊びに行ける時間があると出かけることにしている。だが行ける範囲はせいぜい車で 1 ～ 2 時間程度の所。というのもいつお産があるか分からないので，すぐ戻って来なくては

ならないからだ。

休日，お産の入院もなく天気が良いとウズウズする。出かける直前までどこに行くかは決めてない。車に乗ってから決めるのだ。南は日南，西は都城，北は延岡位までがせいぜい出かけられる範囲である。それでも最近は高速道路が大分まで出来つつあり，行動範囲は大幅に延びた。今までは県外まで足を延ばすというのは夢の又夢だったのだが，今ではそれも可能になった。県外に行き，県外の車のナンバープレートを見ただけで興奮するのは産婦人科医の私位のもんだろう。それ位県外に出られるというのは嬉しい事なのだ。

その為に最近車を買換えた。「レクサス IS 250 C」というオープンカーである。今までも，ホンダカプリオーレ，スズキジムニー，ホンダビートなどオープンカーを乗り継いできたのだが，電動の幌のついたオープンカーというのは初めてで，それも遠出をしたい理由なのである。還暦の際に，「これが最後のお願ひ」と家内に拝み倒して買ってもらったのだ。晴れた日にオープンカーにして走る楽しみは，オープンカー好きでなくては分からない醍醐味なのである。

さて，いつも出かける時は一人。そう「お一人様」なのである。それは何故か？理由は家族と一緒にだと自分が行きたい所へ行けないということと，自分のペースで動けないという勝手な理由からだ。月に 4 ～ 5 回はドライブに出かけている。

しかし最近はさすがに一人で出かけるのは申し訳ないと，家内にお土産を買って帰ることにしている。だがどんなモノをプレゼントしたら喜ぶのか分からない。その土地のお菓子など買ってもほとんど喜ばない。好みがズレているので

ある。毎回いろいろ考えるのであるが気に入ってもらえないのである。

ある日ふと考えた。「女性っておイモ好きだな。だからおイモはどうだろう」田野の道の駅に寄ったら、安納イモの冷凍を売っていた。そこで買い求めた。高いのだが家内が喜べしめたものだ。案の定買って帰ったら大喜び。あまりにも美味しいので私にはおすそ分けもない。

次に先日知人からもらった黒ニンニクを見つけた。それを見て高いなと思いつつ買い求めた。持って帰ると「これどこで見つけたの？私これ大好きなのよ」とのたまう。「良かった！」と胸をなでおろした。

その横に麹納豆というのを売っていた。私の家内は納豆に目がない。それを買って帰ったら「次出かけたら又買ってきてネ」というほどの喜びようである。

自分一人で気ままに出かけられる楽しみを自分一人のものだけにしてはいけない。そう思いながら今からもチョイ出するだろう。私の唯一の楽しみなのだから許して欲しい。

カット

## みなそこ 水底

延岡市 長沼医院 ^{なが} ^{ぬま} ^{こうざぶろう}  
長 沼 弘三郎

9月の連休に、唯一の未訪問県、富山から糸魚川経由で白馬廻りを予定したが、氷見のホテルの仲居さんから“それなら一度五箇山・白川郷を見てからにしたら”と勧められ、行先を変更した。

越中菅沼：高台から刈取り前の稲田の中に9棟の合掌造りを見下す。“箱庭”に土産店のにぎわい。かつて養蚕、手漉き和紙、塩硝の生産場所。畦に大の字に寝転び「魚眼レンズ」に化し見渡す。今やコスモスや菊花の盛り。鯖雲が紅葉の山肌をぬって流れゆく。土の温りと雑草が鼻をくすぐる。物見には雪持林を借景の喫茶店。窓越しに雪囲いでまとわれた茅葺き家に熟柿の古木。茶話で“冬を別にすればこんなにいい所はありません”

越中相倉：夜のしじまに紛れて杣道を辿って行くが良い。宵闇に三角形の雄魂な切妻の茅屋根がスポットライトを浴びて忽然と現れる。明障子窓のほのかな光の歓迎。夜の野営で、こきりこ節と麦屋節の唄。“ささら”と“こきりこ”の響が合わさっての古典舞。“窓のサンサもデデレコデン はれのサンサもデデレコデン”目を覚ませとばかりにジャンジャンと消防車が熊よけの鐘を鳴らして走り去る。既に寒空には満天の星。

飛騨白川郷：庄川の辺に位置。萩町城跡展望台から眼下に一筋道に沿って多くの合掌造りの連続。絵葉書のままの集景で何処から眺めても写真映え。まさしく高い所に上って見よである。下って見残したものを“さるいて”探す。通り

から外れた屋敷の佇まい、庭木、石、融雪池、水路と道路端に至るまで鄙^{ひな}そのもの。仏間、囲炉裏、黒光りの柱や梁、暮らしの道具や賄い膳にも逝きし時代の面影を偲ぶ。この地も平家の落人の郷。美しい日本の三大秘境( 祖谷 椎葉 ) の随一。むべなるかな。

とまれここまでは見ただけの素通りの旅。

途路 3 冊の本を手にした。「さよなら桂」寺崎満雄著：五箇山赤尾から遡ること 4 里の最僻地に戸数 6 戸の合掌造りの集落があった。昭和 41 年、桂分校に赴任。ダム建設で廃村になるまでの 4 年間の教え子達との交流と、なかんずく雪に埋れての越冬生活と別れの顛末談。“桂分校よさようなら、桂よ さよなら、あけび、ぶどう、くるみ、なめこ、さよなら桂”

「孤村の灯火」海野金一郎著：歴とした医者である。今次の大戦中越中桂、飛驒加須良での訪問診療記録。冬、童女が風邪をこじらせて亡くなった。手を尽くして医者の手当をはかるも死亡診断書が得られず、著者が検死するまでの 9 か月の間、野ざらしで放置されていた、とある。棺桶が開けられるまでの壮絶な一部始終は筆者の撮った写真を見よ、である。

「愛しの合掌集落」柴田英司著：五箇山・白川郷の昭和 45 年当時のモノクロ写真集。離村 3 か月前の桂集落の一枚。轍を残した真直な林道が山に向って延び、2 人の人物が点在。両脇の田は青々と繁り、並びの合掌造りは居住いを正している。この“桃源郷”も 3 年後の一枚では道は荒れ果て朦々たるススキに囲まれて、古の合掌造りのかんばせ今何処の態。

3 冊の本に触発され、矢も楯もたまらずに“桂”訪問を思い立った。今やそこは“皆”水の底。たった半世紀前の近い往時は、一切打ち捨て

られ記憶から消え去った。既に入日の時刻。紅葉が映えてゆらぐ水面の小波を透して水底^{みなそこ}に詠歌、念仏と灯明の点滅を感じた。願わくはその場所が“心”の納骨祭壇であり続けますように。

帰途、半日かけて五箇山から延岡迄車を走らせた。年寄りの冷水と云うまい。

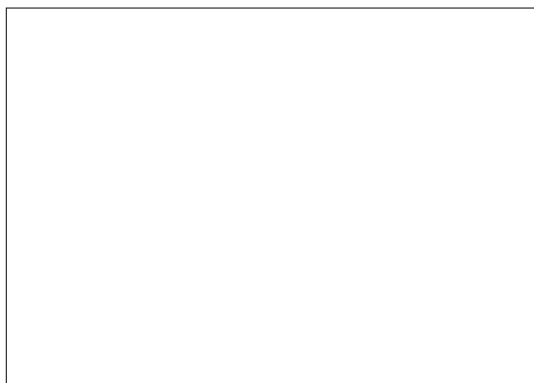
これからも“車持ち込み”で旅に出、“終”の人生を“当り年”にリセットしてしまおう。満 72 歳の年男よ頑張れ。

## アジア太平洋呼吸器学会報告 トラジャコーヒーの国へ

宮崎市 海老原総合病院 ^{しげ}重 ^{なが}永 ^{てつ}哲 ^{ひろ}洋

新年あけましておめでとうございます。毎年春に米国、秋に欧州の学会なのですが、昨年は、11 月にバリだよ行こうよと准教授に誘われ参加しました。気温 10 の羽田から直行便で 7 時間、30 常夏のインドネシアバリ島に到着です。国際会議場周辺は、数年前の爆弾テロ以降ゲートが設置されタクシーもトランクを開けての厳戒態勢です。日本語堪能な現地ガイドつきで医局の 4 人とずっと一緒でした。雨期入りで到着日に雷雨で数回停電もありましたが日中は晴れ間も多く快適でした。ウブドの棚田は雨上がりで絶景でしたが最近コブラがよくでるといので

散策はやめました。断崖絶壁にあるウルワツ寺院は壮観で、海に沈む夕日に映えるケチャファイヤードダンスは神々しくこれぞバリと実感でき幸せでした。食事はどこも辛いアジアごはんでは美味でしたが、水道水は飲用不適で現地人も飲まないとのことで通りで水タンクを宅配するバイクやトラックをよくみかけました。歯磨きの口すすぎで下痢した先生もあり、ホテルの洗面所のミネラルウォーターの意味がわかってからは息を吐いたり止めたりシャワーでした。ホテルのプールで泳いだ医局員2名は、泳いでいるうち水も飲んでしまいましたが、特に問題なし。ちょっと底は泥でぬるぬるでしたけどこのことで、皆におなか強いねーとほめられていました。滞在中昼食時に医局員の携帯が一斉に鳴り、なんと近海で地震あり津波の恐れがあると日本の家族から安否確認でした。東日本大震災を体験した医局員もあり海拔数メートルの海のそばであったことから一時騒然となりましたがなんと現地は一切報道なしで平静でした。実は数センチの津波は到達していたとその夜に知り怖くなりました。土産店のコーヒー豆は安いですが実はトウモロコシの粉が混ぜて増量していると聞き結局買わずじまいで帰国の途につきました。



## 閉店

宮崎市 富吉共立病院 し し め 獅子目 あつむ 輯

私は今年で72歳になります。小病院の経営者でした。開業してるといずれ後継問題にぶつかります。理想なのは、子供から孫へと代々引き継がれて行く事なのでしょう。その場合でも改築したり、新しい機械を購入したり、それなりに大変です。もし継続者が居ない時は、倒れるまで働き続けるかですが、何か寂しい老後になりそうです。他は貸すか、売るかですが、人口は減少し、経済も縮小している地方では、需要がなく相手を捜すのは難しい。私の場合は、数年前に台風による水害に合い、また税務調査でのゴタゴタもあり、少々イヤ気がさしました。事務長である妻とも、今後について話し合う様になっていました。そんな時、偶然大手の医療法人と、売買の話しが持ち上がりました。その後もスムーズに進みました。いわば、店主だったのが、番頭になり、店舗と一緒に丁稚たちもお世話になった具合です。早いもので5年がたちます。当初は惨めな思いもしましたが、今は慣れました。30年間、そこで生活し子育てした場所なので、当時の部屋を見たりすると、目に溢れるものを感じます。病院は人手に渡りましたが、親子4人は仲良しで、何処でも一緒に行きます。「かる鴨親子」とも言われます。今では先頭を歩くのは親ではなく、子供になりました。開業してる時は何が突発するか分らず、絶えず頭の隅は緊張していて、人一倍の気力と体力が必要でした。それに比べると、今は気楽なサラリーマン生活です。その後病院は改装し、老人施設も併設され、職員も増え、活気が戻ってま

す。この様な形で自分の後継問題が結着するとは考えもしませんでした。良くぞここまで辿り着けたものです。運も良かったのでしょう。これまで関ったすべての人達に感謝します。いつまでやれるか分かりませんが、今後は、恩返しの心を忘れず、お役に立ちたいと思います。

## 方言の乱( 12年目の続編 )

えびの市 えびの市立病院 もり ふじ ひで み  
森 藤 秀 美

「 12 年前に何を書いたものか」と日州医事に寄稿した年男の随想原稿を探した。自分の文を読んで蒼ざめた。次の通り。薩摩弁「ちんちんへがめもんで、うったちゃずっぱあのみゃんせ。」日本語訳「漸減しますので初期大量服薬を試みてください。」「鹿児島では「ぼつぼつ」のことを「ちんちん」という。福岡出身である私は、歴とした薩摩弁と信じ込んで来た。子供のころ見た森繁久弥の「社長紳士録」という映画にでてたからだ。ところが薩摩土着の家内はこれを薩摩弁と認めない。理由は「聞いたことない。確かに、家内のような淑女(?)に発すべき語ではない気はする。で、検討を重ねた。詳細は良く分からないが、近年「ぼつぼつ」→「ちんちん」と変化したと結論した。これを薩摩弁として紹介すれば薩摩弁圈の方は愉快でなかったろう。12年目に深謝する。

一方、薩摩弁(えびの弁かも)の中でも元来標準日本語の多い事が分かった。諸氏の雑学のため字数の許す限り紹介するので、新春早々の尾籠をご容赦願いたい。

方言	意味	漢字	本来の意味
へっ・けび	肩甲骨内側(痛)	癖・肩癖	病・肩病
あまじし	老人性疣贅	余肉	疣・瘤,
すばくれ	唇乾燥 白帯下	すばく 寸白	サナダ虫・ 婦人病
せんしゃく	旅行中の 便秘	疝癰	腹部疝痛
よこね	鼠径部リン パ節腫大	横根	梅毒などの
ぼんのくっ	項中央	盆の首	と同じ
しめし	おむつ	湿し	と同じ
きんめ	重量	斤目	と同じ
で	分量	出	と同じ
くさる	綴る	鎖る	と同じ
じんじもん	厄介者	塵事者	と同じ
あたらし	惜しい	可惜し	と同じ
なば	茸	菜葉	と同じ
むくれ	非常に	剥れ	剥がれ出て

## 健康診断で今年も元気

宮崎市 ^{たて}立 ^{やま}山 ^{ひろ}浩 ^{みち}道

昨年秋台風18号襲来で、我が家の車庫のプラスチック製屋根波板が1枚剥がれていました。残り数枚の波板も、固定用留め具の劣化のため、ゆるくなったり外れたりしていました。続いて、日頃重宝している井戸水用の自動ポンプもサビのため故障してしまいました。さらにその数日後、我が家のキッチンでは、IHコンロが耐用年数オーバーで不具合が発生し食生活に不便を来すようなことになりました。私たち老夫婦の家庭生活に直接影響するようなパプニングが続いて発生したことになります。この家を新築して3年、気をつけて手入れをしてきたつもりですが、次々に故障が出てくる我が家の老化現象を身近に感じることになりました。

新年を迎え3月生まれの私はすぐに79歳になります。傘寿が間近です。いたって元気になっているつもりですが、我が家と同じように、いろいろと気になる症状が出てくるようになりました。もの忘れ、視力低下、聴力低下、腰膝痛、肩こり、皮膚乾燥、夜間頻尿...等々、各臓器や器官が老化したために、このような症状が出るのだらうと思いつつも、年相応なものなのか、病的なものなのかが気になるところです。

このところ真面目に健康診断も受けています。気になるHbA1c、PSA、γGTP、などの検査値も一応正常範囲に落ち着いています。ただ高血圧については、現役在職中から指摘され、以前から降圧剤のお世話になっています。

今回健康診断で、血液検査でピロリ菌感染を疑われ、胃カメラ検査を受けるように指示され

ました。幸いカメラでも異常所見はなく、ピロリ菌除菌のみで一件落着となりました。

趣味の男声合唱仲間も高齢化傾向は否めませんが、皆さん元気で合唱を楽しんでいます。昨年末には宮崎市制90周年記念事業で「ベートーベン交響曲第九番、歓喜の歌」を久しぶりに歌いました。また新しい年には合唱の世界でも年中行事がぎっしりと計画されています。合唱仲間の皆さんに健康診断をきちんと受けるように勧めています。私も健康に留意して「医者の不養生」と言われぬように、今年も心身ともにハーモニーの世界を楽しみたいと考えています。

## とっておきの風景

日向市 千代田病院 ^{ちよたんだ}千代反田 ^{すすむ}晋

新年あけましておめでとうございます。皆様方には良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

このところ私の元旦は「日向のお伊勢様」として親しまれている大御神社をお参りした後で日向岬をドライブするのが恒例となっています。初詣は寒ければ寒い程リセット感が達成されたような気分になります。身も心も清めた後で頂くお屠蘇が冷えた五臓六腑にゆっくりとしみ渡る時こそは幸せの極みであります。

大御神社は天照大御神を御祭神とする古社で、ニニギノミコトが天降された時にこの土地を通過され、千畳敷の盤石にてこれより絶景の大海原を眺望され、天照大御神を奉祀して平安を祈念されたと伝えられています。後世、此の御殿の霊石のあった所に一字を建て、皇大御神を勧請し、村中の鎮守として崇敬し奉ったそうです。更に後世、神武天皇がお隣の美々津から東征された際に大鯨を退治され、日向市の伊勢ヶ浜に入られ、大御神社に武運長久と航海安全を御祈願されたと伝えられています(ホームページより)。最近では日本最大規模のさざれ石の他、ドラゴンボール、龍神などが発見され、スピリチュアルスポットとしての評判も高く参拝者が急増しています。

さて、神々も愛でる日豊海岸にあって日向、門川一帯の海岸は日本でも有数の柱状節理を見

ることができます。その規模は南北約 20kmに及び、皆様よく御存知の東尋坊をも凌ぐといわれています。この柱状節理は今からおよそ 1,500 万年前の海底火山から噴出したマグマが冷却固結する際にできたものです。宮崎県では同様に高千穂峡の柱状節理が国の天然記念物に指定されていますが、日向、門川の柱状節理についてはまだまだ認知度が低いようです。その理由として、リアス式海岸に広がる柱状節理の自然の造形美は海からでないと全貌できないことによると思われます。現在観光船として唯一「飛鳥丸」が細島港から出ていますので皆様も是非乗船して頂き、この素晴らしい景観を堪能して頂きたいと思います。

最後に今年一年皆々様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

宮崎県病院厚生年金基金

事務職員一同

常務理事

坂下進一

監事

赤須巖

〃

高宮眞樹

〃

相澤潔

〃

桑原大祐

〃

和田徹也

〃

藤元登四郎

理事

阿南育男

理事長

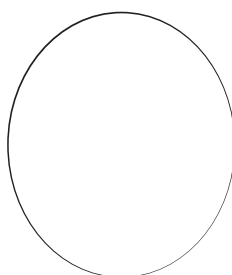
獅子目賢一郎

## 叙勲・祝賀

## 瑞宝小綬章

た なか ひろ お  
田 中 浩 夫 先生（日 向）

平成 26 年秋の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を  
祈念いたします。

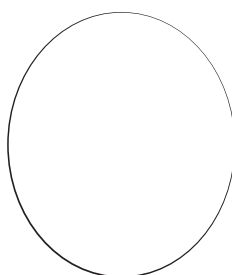


田中 先生

## 旭日双光章

あや べ たか お  
綾 部 隆 夫 先生（宮 崎）

平成 26 年秋の叙勲において旭日双光章を受章されました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を  
祈念いたします。



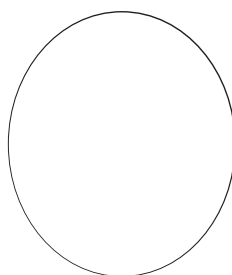
綾部 先生

## 表彰・祝賀

## 安全衛生に係る厚生労働大臣表彰

こ いわ や  
小岩屋 やすし  
靖 先生（延 岡）

7月1日，安全衛生に係る功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

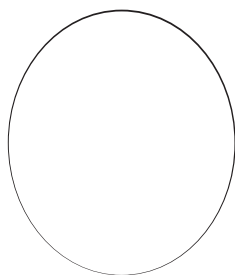


小岩屋 先生

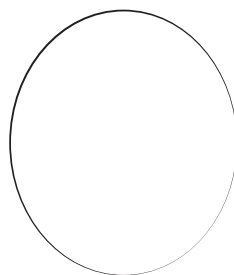
## 国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

はる た  
春 田 あつし  
厚 先生（宮 崎）  
さ とう のぶ ひろ  
佐 藤 信 博 先生（延 岡）

10月20日，国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



春田 先生



佐藤 先生

## 平成26年1月～12月までの 叙勲及び表彰・祝賀受賞会員

### 叙勲・祝賀

#### 【宮崎市郡医師会】

従六位・瑞宝双光章( H 26.7 .25)

故・高 木 秀 昭

保健衛生功労により旭日双光章( H 26.11.3 )

綾 部 隆 夫

#### 【日向市東臼杵郡医師会】

保健衛生功労により瑞宝小綬章( H 26.11.3 )

田 中 浩 夫

#### 【西都市西児湯医師会】

保健衛生功労により旭日双光章( H 26.4 .29)

大 塚 直 純

#### 【西諸医師会】

保健衛生功労により瑞宝小綬章( H 26.4 .29)

内 村 成 良

### 表彰・祝賀

#### 【宮崎市郡医師会】

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰( H 26.3 .20)

土 居 博

医療功労により県知事表彰( H 26.6 .21)

皆 内 康 廣

救急医療功労により県知事表彰( H 26.9 .4 )

中 村 典 生

救急医療功労により厚生労働大臣表彰( H 26.9 .9 )

金 丸 禮 三

産科医療功労により厚生労働大臣表彰( H 26.9 .30)

池ノ上 克

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰( H 26.10.20)

春 田 厚

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰( H 26.11.6 )

竹 尾 康 男

公衆衛生事業功労により県知事表彰( H 26.11.12)

阿 南 育 男

#### 【都城市北諸県郡医師会】

公衆衛生事業功労により県知事表彰( H 26.1 .10)

出 水 善 文

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰( H 26.3 .20)

武 田 信 豊

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰( H 26.3 .20)

吉 見 多喜雄

医療功労により県知事表彰( H 26.6 .21)

平 田 宗 勝

救急医療功労により県知事表彰( H 26.9 .4 )

飯 屋 敏 郎

公衆衛生事業功労により県知事表彰( H 26.11.12)

矢 野 良 英

#### 【延岡市医師会】

公衆衛生事業功労により県知事表彰( H 26.1 .10)

野 村 敏 彰

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰( H 26.3 .20)

泉 公 美

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰( H 26.3 .20)

黒 瀬 明 治

医療功労により県知事表彰( H 26.6 .21)

戸 島 信 夫

安全衛生に係る厚生労働大臣表彰( H 26.7 .1 )

小岩屋 靖

救急医療功労により県知事表彰( H 26.9 .4 )

長 沼 弘三郎

精神保健福祉事業功労により県知事表彰( H 26.10.17)

野 田 省 治

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰( H 26.10.20)

佐 藤 信 博

公衆衛生事業功労により県知事表彰( H 26.11.12)

赤 須 正 道

【日向市東臼杵群医師会】

海事功労により国土交通省九州運輸局長表彰( H 26.7 .21)

浦 上 裕

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰( H 26.10.31)

鮫 島 哲 郎

【児湯医師会】

医療功労により県知事表彰( H 26.6 .21)

高 橋 政 見

【西都市西児湯医師会】

医療功労により県知事表彰( H 26.6 .21)

佐 藤 幸 憲

【南那珂医師会】

第 42回医療功労賞( 読売新聞社主催 )( H 26.1 .24)

黒 木 和 男

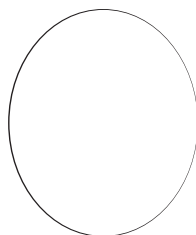


## エコー・リレー

( 473 回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 剣道と私

都城市 国立病院機構都城病院 うら べ ひろ とし  
ト 部 浩 俊

思えば公立中学校に入学時、兄の薦めで何も考えず剣道部に入部した。当時の剣道部は不良グループで、その集団の中に入った。個性豊かな先輩や同級生を見て剣道を学んだ、と同時に無意味な反発も学んだ。そこそこ試合には勝った

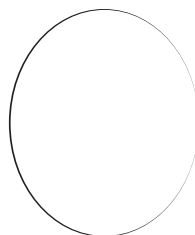
が剣道の真髄を理解するには程遠い状態であった。むしろ剣道は相手を威嚇する武力と相当勘違いしていた。高校、大学に入学しても、懲りずに剣道部に入部したがまじめに稽古せず剣道部の諸先輩方に相当迷惑をおかけした。

大学を卒業し、医局に属し厳しく社会人として育てていただく中で、ふと 10 年ぶりに剣道をやりたくなった。親子で都城市の誠之館道場という剣道道場の門をたたき、真面目に稽古をするようになった。そこで剣道七段の先生に師事した。先生の指導方針は試合での勝負にはこだわらず、正しい剣道を身につけることであった。剣道は剣先や息遣いで相手の心を読み合うが、常に攻めなければ、相手に隙を与え打たれてしまう。先生のご指導のお蔭で四段を取得出来、今尚五段を目指して稽古に励んでいる。

誠之館道場の師範の先生をはじめ、宮崎県剣道連盟の師範の先生方は皆すこぶる謙虚で、いつも襟を正される思いである。剣道の稽古の心得に「打って反省、打たれて感謝」の言葉がある。決して傲らず、常に謙虚な気持ちで相手と対峙することであるが、これは医療人の、あるいは社会人としてのあるべき姿勢に通じる。自分の子どもたちも剣道を通して社会性を学んでいる。さらに自分のような不良人間が更正できたことに対しても、心から剣道に感謝している。

〔 次回は 日向市の山内 正倫先生にお願いします 〕

## 開業 1 年での変化

宮崎市 ゆげ ゆ げ あき ひこ  
弓削整形外科 弓 削 昭 彦

開業してもうすぐ 1 年が経とうとしています。勤務医時代は毎日のように病院から夜中の電話が来ていましたが、現在は夜中に呼び出されることもなく診療時間が終わったときの解放感は大きなものがあります。

自宅と医院が同じ建物なので通勤時間は階段上り下りだけの約 30 秒ですっかり運動不足に拍車がかかり足腰がなえてきたところです。診療が終わって自宅にもどると家族にすぐ会えるのはとても幸せなことだと感じています。しかしながら勤務先から自宅へ帰る途中にちょっと一杯ひっかけるとささやかな楽しみもなくなりもっぱら家呑み生活で、いろいろお酒を購入して家で晩酌する日々です。趣味として充実してきたのは植物いじりです。医院まわりの植栽や自宅ベランダ・屋上の庭の管理を業者さんにまかせずに私一人で大部分行っています。ひとつひとつ買ってきたり道端からいわゆる雑草をとってきて植えてみたり結構独白色の高い庭ができつつあります。一度当院の患者さんが(好意で)、私があえて育てている植物達を雑草としてほとんど抜き去ったり植木の枝を大胆に切ってしまった無断剪定伐採事件ということもあつたりしましたが、また次第に楽しい庭が復活してきています。まわりに理解されない雑草育てという趣味をすこしずつ広げていきたいとたくらんでいるところです。1 年前と比較していろんなことが大変化で戸惑い感慨深くもあります。次の一年、今度は何しようかな。

〔 次回は 都城市の池ノ上 貴先生にお願いします 〕



## あなたできますか？

— 平成 25年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 89ページ )

- 1 . 5歳の男性。腰背部痛を主訴に来院した。1 か月前に重いものを持ってから腰背部痛が出現した。自宅近くの診療所を受診し、第7胸椎椎体骨折でコルセットを装着した。2 日前に腰痛が増悪し、第12胸椎、第1腰椎椎体骨折が認められたため、紹介されて受診した。最近、約3 kgの体重減少があるという。血液所見：赤血球 379万、Hb 12.1g /dl、Ht 35%、白血球 4,650、血小板 10万。血液生化学所見：総蛋白 11.7g /dl、アルブミン 3.3g /dl、ALP 261IU /l( 基準 115~359)、尿素窒素 12mg /dl、クレアチニン 0.8mg /dl、Ca 9.5mg /dl、P 4.2mg /dl。  
多発脊椎椎体骨折の原因の精査に最も必要なのはどれか。  
a 尿中Ca定量  
b 頸部超音波検査  
c 血清免疫電気泳動  
d 消化管内視鏡検査  
e 胸部エックス線撮影
- 2 . 62歳の男性。今年健康診断で高血糖を指摘され来院した。10年前から健康診断で毎年、高血糖と高血圧とを指摘されていたが受診しなかった。喫煙は15本/日を40年間。身長168cm、体重70kg、腹囲88cm。脈拍80/分、整。血圧188/96 mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。下腿に浮腫を認めない。アキレス腱反射は両側で消失している。尿所見：蛋白2+、糖4+、ケトン体(-)。血液生化学所見：アルブミン 3.8g /dl、AST 36IU /l、ALT 45IU /l、尿素窒素 10mg /dl、クレアチニン 0.8mg /dl、尿酸 8.3mg /dl、空腹時血糖 212mg /dl、HbA1c(NGSP) 9.8%( 基準 4.6~ 6.2)、トリグリセリド 170mg /dl、LDLコレステロール 139mg /dl、Na 139mEq /l、K 4.8 mEq /l、Cl 104mEq /l。眼底検査で単純網膜症を認める。摂取エネルギーと塩分とを制限する食事療法と運動療法とを開始した。  
治療薬として適切なものはどれか。  
a アンジオテンシン 受容体拮抗薬  
b サイアザイド系利尿薬  
c スピロノラクトン  
d ループ利尿薬  
e  $\beta$ 遮断薬
- 3 . 血漿レニン活性(PRA)と血漿アルドステロン濃度(PAC)が、反対方向に変化(一方が上昇し他方が低下)する病態はどれか。  
a 原発性アルドステロン症  
b 偽性アルドステロン症  
c 偽性Bartter症候群  
d 腎血管性高血圧症  
e 肝硬変
- 4 . 浸透圧利尿による多尿をきたすのはどれか。  
a 高血圧  
b 糖尿病  
c 尿崩症  
d 慢性腎盂腎炎  
e うっ血性心不全
- 5 . 採血時の溶血によって異常値を示すのはどれか。  
a Na  
b K  
c Cl  
d Ca  
e P
- 6 . 国民医療費(平成27年度)で正しいのはどれか。  
a 年間30兆円を超える。  
b 介護保険の費用が含まれる。  
c 国民所得比は15%を超える。  
d 財源別では患者負担が30%を超える。  
e 制度別では後期高齢者医療給付分が50%を超える。
- 7 . 成人の栄養状態の評価において有用性が低いのはどれか。  
a 腹 囲  
b 血小板数  
c 血清アルブミン値  
d BMI(Body Mass Index)  
e 血清総コレステロール値
- 8 . 狭心症の症候として考えにくいのはどれか。  
a 悪 心  
b 息切れ  
c 左肩痛  
d 前胸部絞扼感  
e 針で刺すような痛み
- 9 . 長期の安静臥床により増加するのはどれか。  
a 筋肉量  
b 肺活量  
c 心拍出量  
d 関節可動域  
e 血清Ca濃度
10. 禁煙外来における初診時の対応として適切でないのはどれか。  
a 禁煙の意思を確認する。  
b 身体症状の有無を聴取する。  
c 現在までの喫煙歴を聴取する。  
d 目標とする喫煙本数を話し合う。  
e 問診票によりニコチン依存の程度を診断する。

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 11月～

平成26年11月3日～平成26年11月30日(第45週～48週)

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○結核 2例 保健所別報告数を【図1】に示した。患者が18例、無症状病原体保有者が7例、疑似症患者が2例であった。患者は肺結核が14例、その他の結核(腸結核等)が4例であった【表1】。性別は男性15例・女性12例で、年齢別報告数を【表2】に示した。

3 類 ○腸管出血性大腸菌感染症 2例 宮崎市保健所及び高鍋保健所管内で各1例ずつ報告された。  
・生後9か月で、主な症状として水様性下痢、嘔吐、溶血性貧血、急性腎不全、HUSがみられた。  
・30歳代で無症状病原体保有者。原因菌の血清型はO115 VT 産生。

4 類 ○つつが虫病 4例 都城保健所管内及び日南保健所管内で各1例ずつ、小林保健所管内で2例報告された。20歳代、40歳代、70歳代及び80歳代各1例ずつで、主な症状として頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。

○レジオネラ症 1例 宮崎市保健所管内で報告された。60歳代男性で、病型は肺炎型。主な症状として発熱、咳嗽、肺炎がみられた。

5 類 ○アメーバ赤痢 1例 小林保健所管内から報告された。40歳代で病型は腸管アメーバ症。主な症状として粘血便、大腸粘膜異常所見がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例 宮崎市保健所管内で報告された。生後1か月で、主な症状として尿路感染症がみられた。菌種名はRaoultella ornithinolyticaであった。

○後天性免疫不全症候群 2例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・30歳代男性でAIDS。指標疾患は原発性脳リンパ腫であった。

・40歳代男性で無症候性キャリア。

○ジアルジア症 1例 宮崎市保健所管内で報告された。70歳代で、症状はみられなかった。

○侵襲性肺炎球菌感染症 1例 宮崎市保健所管内で報告された。60歳代で、主な症状として頭痛、発熱、嘔吐、意識障害、項部硬直、菌血症がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,108人(定点あたり63.4)で、前月比83%と減少した。また、例年の52%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった

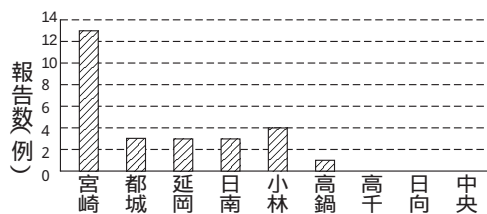


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	14
その他の結核(腸結核等)	4
無症状病原体保有者	7
疑似症患者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

10歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
4	1	2	1	2	6	9	2

前月との比較

	2014年11月		2014年10月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	5	0.1	4	0.1	
RSウイルス感染症	183	5.1	494	13.7	
咽頭結膜熱	122	3.4	84	2.3	
溶レン菌咽頭炎	243	6.8	226	6.3	
感染性胃腸炎	965	26.8	890	24.7	
水痘	238	6.6	221	6.1	
手足口病	77	2.1	164	4.6	
伝染性紅斑	1	0.0	7	0.2	
突発性発疹	144	4.0	189	5.3	
百日咳	0	0.0	0	0.0	
ヘルパンギーナ	67	1.9	123	3.4	
流行性耳下腺炎	28	0.8	42	1.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	35	5.8	51	8.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	2	0.3	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	1	0.1	

例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は183人(5.1)で、前月の約0.4倍、例年の約1.7倍であった。日南(11.7)、延岡(8.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は122人(3.4)で前月の約1.5倍、例年の約0.7倍であった。延岡(12.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は965人(26.8)で前月の約1.1倍、例年の約0.4倍であった。日南(51.7)、小林(50.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 11月

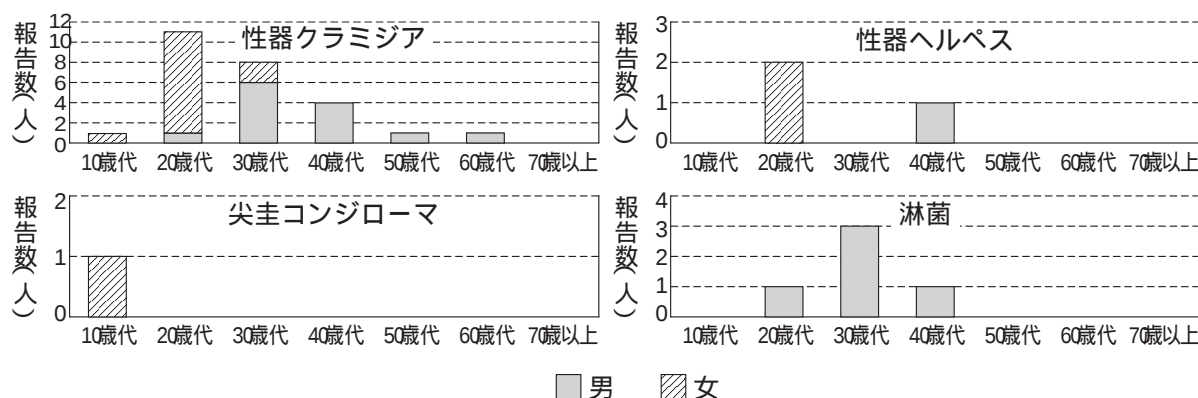
### □ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比88%と減少した。また、昨年11月(3.8)の約0.7倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数26人(2.0)で、前月と同程度、昨年11月の約0.7倍であった。年齢別では20歳代が全体の約4割を占めた(男性13人・女性13人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年11月と同じであった(男性1人・女性2人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数1人(0.08)で、前月と同じ、昨年11月の0.5倍であった(女性1人)。
- 淋菌感染症 報告数5人(0.38)で、前月の0.5倍、昨年11月の約0.7倍であった。30歳代が全体の6割を占めた(男性5人)。



### □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比140%と増加した。また昨年11月(2.6)の約1.2倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数20人(2.9)で、前月の約1.3倍、昨年11月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数1人(0.14)であった(前月及び昨年11月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。(宮崎県衛生環境研究所)

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	コクサッキーウイルスA4型	3
	コクサッキーウイルスB5型	1
	ライノウイルス	5
	RSウイルス	4
細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC O157 H7 VT12)	1
	Bordetella pertussis(百日咳菌)	4
	Mycoplasma pneumoniae	1
	Salmonella b群	1
菌	Salmonella Mbandaka(O7:z10:e:n,z15)	1
	Salmonella Miyazaki(O9:1,z13:1,7)	1
	Salmonella Oranienburg(O7:m,t,-)	1

## 九州医師会連合会 第 344 回常任委員会

と き 平成 26 年 11 月 21 日(金)

ところ 大分オアシスタワーホテル

## 1 開 会

## 2 挨 拶

九州医師会連合会長

近藤 稔大分県医師会長

## 3 報 告

1) 第 108 回臨時委員総会について(大分)

第 114 回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)が報告された。

2) 第 114 回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について(大分)

平成 26 年 11 月 21 日(金)～ 23 日(日)の予定等が報告された。

3) 第 6 回日本医学会設立記念医学大会における各種表彰者に対する慶祝について  
(大分)4) 秋の叙勲等受章者に対する慶祝について  
(大分)5) 平成 27 年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について  
(大分)

平成 27 年 6 月 26 日(金)

大分市で開催(大分県行政担当)することが報告された。

## 4 協 議

1) 第 2 回各種協議会の開催種目について

(大分)

15 00～ 16 30

救急・災害対策協議会

診療報酬対策協議会

在宅医療対策協議会

16 30～ 18 00

地域医療対策協議会

医療保険対策協議会

介護保険対策協議会

18 00～ 18 30 報告会

の日程で開催が承認された。

2) 第 10 回事務局長連絡協議会について(大分)

平成 27 年 2 月に大分県医師会で開催が承認された。

3) 第 346 回常任委員会及び九州ブロック日医  
代議員連絡会議について(大分)平成 27 年 5 月 30 日(土)大分オアシスタワー  
ホテルで開催が承認された。

## 5 その他

## 6 閉 会

出席者 - 河野会長, 大重事務局長

## お 知 ら せ

平成 26年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 14名 (女 14名)	就職希望者 11名 (男 1 名, 女 10名)	就職希望者 8 名 (女 8 名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙 1415 担当: 佐土原 敦 倉永 愛子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 平島しおり 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 吉原真由美 中山さおり

## 12月のベストセラー(宮崎県)

集計 2014年 12月 1日 ~ 12月 20日

1 失意の方	佐 伯 泰 英	双 葉 社
2 新・戦争論	池 上 彰	文 藝 春 秋
3 ナミヤ雑貨店の奇蹟	東 野 圭 吾	角 川 書 店
4 フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L・スコット	大 和 書 房
5 反日中韓を操るのは、じつは同盟国・アメリカだった	馬 淵 睦 夫	ワ ッ ク
6 トゥルークの海賊	茅 田 砂 胡	中央公論新社
7 満願	米 澤 穂 信	新 潮 社
8 殉愛	百 田 尚 樹	幻 冬 舎
9 悩まない	矢 作 直 樹	ダイヤモンド社
10 人生はズーッと楽しい	水 野 敬 也	文 響 社

明林堂書店調べ 提供 本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985) 56-0868

## 日医インターネットニュースから

### ■ 研修修了後の勤務先，54.4%が大学病院 — 研修医アンケート —

厚生労働省は11月28日の医道審議会・医師分科会医師臨床研修部会に，2014年の「臨床研修修了者アンケート調査結果概要(速報)」を報告した。医学部卒後2年間の臨床研修修了後に勤務する病院では，「大学病院(卒業した大学とそれ以外を含む)」が54.4%で昨年調査より4.5ポイント増えた。「大学病院以外の病院」は43.0%(同2.1ポイント減)，診療所の開設や臨床以外の進路を希望する回答をまとめた「その他」は2.0%(同2.5ポイント減)だった。調査は，14年3月末までに研修修了の予定だった研修医7,534人が対象で，回収率は78.4%。病院別(大学病院，臨床研修病院)などで集計・分析した。

#### ● 入局予定，「卒業大学」は43.4%

研修修了後に大学の講座や教室などに所属する「入局」予定を聞いたところ，全体では「卒業大学の医局」(43.4%)と「卒業した大学以外の医局」(30.4%)の合計が前年調査比1.5ポイント増の73.8%。大学病院では89.8%が入局予定であったのに対し，臨床研修病院では61.1%だった。

#### ● 医師不足地域への従事，約6割が「条件」

医学部卒後，地域医療への従事を一定期間義務付ける地域枠や奨学金受給者を除く研修医3,986人に医師不足地域へ従事する意識を聞いたところ，63.5%は「条件が合えば従事したい」と回答。条件については今回の調査で質問項目を定めなかったため，厚労省は前年調査の結果を紹介。複数回答で「一定の期間に限定されている」「自分と交代できる医師がいる」「相談できる上級医師がいる」ことなどが多かったという。

(平成26年12月2日)

### ■ 女性医師活躍へ環境整備が重要 — 厚労省・懇談会が報告書案了承 —

厚生労働省の「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」(座長＝山本續子・日本女医会会長，日本医師会理事)は12月5日，報告書案を大筋で了承した。報告書は完成後，事例集と併せて医療機関，都道府県，関係団体に広く周知し，医療現場で活用してもらう。

現在，医学部生の約3分の1を女性が占めているほか，これまで女性医師が少なかった診療

科や職場，また管理者にもその割合が増加すると予想されている。一方，女性は妊娠・出産などのライフイベントを抱える場合が多く，キャリアを中断しなければならない状況もあることから，同懇談会はライフステージに応じて女性医師が活躍できる環境整備の在り方について検討した。

検討を進める視点として，医療の質を確保して患者に必要な医療を継続的に提供するためにも環境整備が重要であることが指摘された。また，医療機関における医師全体の業務負担はすでに過大になっており，ライフイベントを抱える女性医師の業務を周囲の医師が代替することも難しい状況があることも指摘。性別や職種を問わず，医療従事者全体の勤務環境の整備と調和させる必要性を示した。

環境整備については，医療機関とそれ以外の進め方を示した。医療機関に対しては「職場の理解 相談窓口 勤務体制 診療体制 保育環境 復職支援」の項目ごとに課題や取り組みの方向性をまとめた。職場の理解では，職場全体の理解を促進するため，管理者や上司自らが医師のニーズを理解し，利用可能な制度や社会資源を周知することの重要性を指摘した。

医療機関以外の環境整備として，都道府県が地域医療介護総合確保基金を活用して女性医師の復職相談窓口の設置や院内保育所の運営の補助を行うなど，女性医師や医療機関のニーズに対応した支援を進めることが重要とした。臨床研修制度に関連し，研修医が男女問わずキャリアを継続できるよう，研修医の段階からキャリアパスを主体的に考える機会が得られるように努める必要性も指摘した。(平成26年12月9日)

### ■ 「遺族説明」「再発防止」などで応酬 — 医療事故調検討会 —

厚生労働省の「医療事故調査制度の施行に係る検討会」(座長＝山本和彦・一橋大学大学院教授)は12月11日，医療事故調査制度に関する省令・通知の内容のうち構成員の意見が分かれている論点について議論した。医療機関が死亡事例を医療事故として医療事故調査・支援センターに報告すべきかどうかの相談先 センターへ報告する際の遺族への説明内容 院内事故調査で「再発防止策」を必須項目とすべきかどうか センターが行う調査で再発防止策を記載することの是非—などが主な話題となった。

死亡事例をセンターに報告すべきかどうかの相談先について、日医の松原謙二副会長は「まずは(医師会や学会などの)支援団体によく相談するべき」と主張した。一方、宮澤潤構成員(弁護士)は「センターに統一するべき」と述べた。

松原副会長はまた、センターへ報告する際の遺族への説明内容のうち「医療事故の内容に関する情報(報告時点で可能なもの)」について「省令に盛り込むべきではない。通知で対応すべきだ」と主張した。

このほかの論点では、死亡事例の発生からセンターへの報告までの期間について、厚労省は通知に「具体的な期限は設けず『遅滞なく』報告する」ことを盛り込むことを提案。賛意が大勢を占めたが、「合理的な理由がなく報告が遅れることのないように明記すべき」などの意見もあった。

意見が分かれた点については、今後あらためて検討する。

●「医療事故の定義」は次回に集中議論

また、山本座長は、意見が大きく分かれている「医療事故の定義」について、次回の検討会で集中的に議論する考えを示した。次回は来年 1 月 14 日の予定。(平成 26 年 12 月 16 日)

■ 常勤医 3 人以上、在宅 24 時間がネック  
— 日医が診療所調査 —

日本医師会は 12 月 1 日の会見で、診療所を対象に実施した 2014 年度診療報酬改定に関する調査結果を公表し、松本純一常任理事が内容を説明した。

かかりつけ医にとって「実施が負担・困難」とされた項目では、1 年度改定で創設された「地域包括診療料」「地域包括診療加算」の要件に盛り込まれた「常勤医師 3 人以上」「在宅患者への 24 時間の対応」などを挙げる割合が高かった。

調査は 10~ 11 月に会員の診療所開設者・管理

者 3,413 人を対象に実施し、1,519 人から回答を得た。

かかりつけ医として「実施が負担・困難」と答えた項目(複数回答)の割合は、「常勤医師 3 人以上」77.9%、「在宅患者への 24 時間の対応」69.4%、「在宅療養支援診療所」54.4%の順で高かった。かかりつけ医にとって「重要」と思われる項目(同)では、「受診勧奨や健康状態の管理」59.6%、「主治医意見書の作成」56.1%、「健康相談」53.3%などが多かった。

● 内科、外科は半数以上が在宅実施

在宅医療関連では、内科と外科は 5 割以上が訪問診療を実施しており、外来のみは両診療科とも約 3 割だった。在宅医療に取り組む診療所の割合は全体の約 4 割で、今後の方針については在宅医療を「さらに増やしたい」が 4.5%、「これまでどおり続けたい」が 23.8%だった。「新規に在宅医療に取り組みたい」は 5.6%だった。一方で、「減らしたい」は 6.1%、「やめたい」は 3.0%、「現在も今後も取り組まない」は 55.1%だった。

在宅医療を行う上で「大変なこと」と答えた項目(複数回答)では、「緊急時の対応」75.4%、「自身の体力」52.9%、「在宅での看取り」40.4%、「緊急時に入院できる病床の確保」35.7%などが多かった。

● 医薬分業「必要に応じて見直しを」

中川俊男副会長は同日の会見で、医薬分業について「地域包括診療料・加算がどのように機能するか検証をした上で、必要であれば院内処方に戻すことも必要だと考えている」と述べた。同診療料・加算の要件については「検証して非常にいいということが分かれば要件の緩和を求めたいが、現段階では言えない」と述べ、引き続き検証が必要との見解を示した。(平成 26 年 12 月 19 日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10 桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例) 1964 年 5 月 1 日生まれの場合、610501

## 薬事情報センターだより (332)

## 新薬紹介(その74)

今回は11月に薬価収載された不眠症治療薬ベルソムラ錠 15mg・20mg(一般名 スボレキサント)と緑内障・高眼圧症治療剤グラナテック点眼液 0.4%(一般名 リバスジル塩酸塩水和物)について紹介いたします。

ベルソムラ錠 15mg・20mg(一般名 スボレキサント)

スボレキサントは Merck & Co., Inc., Whitehouse Station N.J. USA が開発した、世界初のオレキシン受容体拮抗薬です。視床下部に局在するニューロンに発現している覚醒を維持する神経伝達物質であるオレキシンの2種のオレキシン受容体(OX1R及びOX2R)の選択的拮抗薬として可逆的に作用し、オレキシンニューロンの神経支配を受けている覚醒に関与する神経核を抑制することにより睡眠を誘発します。

現在臨床で不眠治療に用いられているベンゾジアゼピン系あるいは非ベンゾジアゼピン系の睡眠薬やメラトニン受容体作動薬とは異なる作用機序を有する薬剤であり、不眠症治療の新たな選択肢となることが期待されます。

国際共同プラセボ対照試験(日本人155例)において、原発性不眠症患者638例(成人(20~64歳)370例,高齢者(65歳以上)268例)に本剤(成人20mg,高齢者15mg)又はプラセボを3か月間投与したとき、患者日誌を用いた主観的評価及びポリソムノグラフィを用いた客観的評価により、投与1週時,1か月時,3か月時の時点において、入眠障害,中途覚醒に対して効果が認められました。

本剤は、「不眠症」を効能・効果として、2014年9月に承認され、11月にMSD株式会社から発売されました。

不眠症患者を対象とした第Ⅲ相国際共同試験では、本剤(成人20mg,高齢者15mg)が254例(日本人61例)に投与され、この試験の6か月間の副作用は53例(20.9%)に認められました。主な副作用は、傾眠12例(4.7%),頭痛10例(3.9%),疲労6例(2.4%)等でした。

グラナテック点眼液 0.4%(一般名 リバスジル塩酸塩水和物)

グラナテック点眼液 0.4%(一般名 リバスジル塩酸塩水和物)は、興和株式会社で開発されたRhoキナーゼに対して選択的な阻害作用を有する緑内障・高眼圧症治療剤です。Rhoキナーゼは、低分子Gタンパク質であるRhoと結合するセリン・スレオニン蛋白リン酸化酵素であり、平滑筋細胞の収縮,各種細胞の形態制御など様々な生理機能における情報伝達系として機能し、多くの組織に発現しています。グラナテック点眼液 0.4%は眼局所で主流路にある線維柱帯細胞,細胞外マトリクス(ECM),シュレム管内皮細胞に作用することによって、線維柱帯-シュレム管を介する主流路の流出抵抗を減少させ、房水流出量を増加させることにより眼圧を低下させると考えられています。

本剤は、「次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合(緑内障,高眼圧症)」を効能・効果として、2014年9月に承認され、12月に興和株式会社から発売されました。緑内障治療薬としては、プロスタグランジン関連薬や交感神経β遮断薬を初め、炭酸脱水酵素阻害薬,交感神経α₁遮断薬,非選択性交感神経刺激薬,副交感神経刺激薬等の点眼薬及びそれらの配合点眼薬などが使用されていますが、グラナテック点眼液 0.4%は新たな作用機序を有する薬剤として、新しい選択肢となることが期待されます。

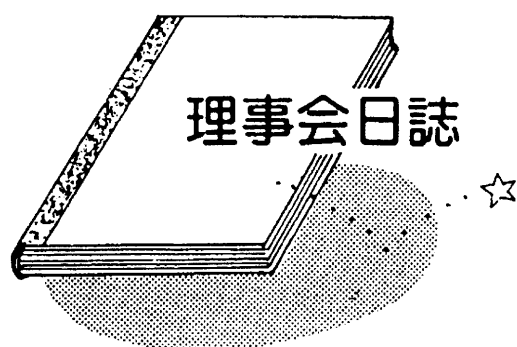
承認時まで実施された臨床試験において、662例中500例(75.5%)に副作用が認められました。主な副作用は結膜充血457例(69.0%),結膜炎(アレルギー性結膜炎を含む)71例(10.7%),眼瞼炎(アレルギー性眼瞼炎を含む)68例(10.3%)等でした(承認時)。

## 参考資料

ベルソムラ錠 15mg・20mg,グラナテック点眼液 0.4%各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)



平成 26年 11月 11日(火)第 21回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### ( 議決事項 )

##### 1 . 本会外の役員等の推薦について

日本医師会の委員会委員の委嘱について  
→生命倫理懇談会に河野会長，公衆衛生委員会に吉田常任理事が委員として委嘱されることが承認された。

##### 2 . 会費減免申請について

20年以上在籍かつ満年齢 83歳に達するとして，高齢による会費減免(日医)1件並びに 20年以上在籍かつ満年齢 80歳に達しているとして，高齢による会費減免(県医)2件が承認された。

##### 3 . 国民医療を守るための国民運動の展開について

持続可能な社会保障制度の確立を願う国民の声を政府に届けることを目的に行われる運動で，12/4(木)東京)の総決起大会へは，会長，立元・池井常任理事が参加すること並びに宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会を 12/13土( 県医 )14 00から開催することが承認された。

##### 4 . 12/10(火)日医)日医・日本医学会合同シンポジウム「子宮頸がんワクチンについて考える」の開催について

実情では接種が見送られている子宮頸がんワクチンに関するシンポジウムの開催であり，峰松理事が出席することが承認された。

##### ( 報告事項 )

- 1 . 11/6(木)宮観ホテル)宮崎銀行との懇談会について
- 2 . 11/5(火)福岡)九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップについて
- 3 . 11/5(火)日医)都道府県医師会税制担当理事連絡協議会について
- 4 . 11/8(土)宮大)宮大創立 330 記念事業記念交流会館落成式・記念式典・記念祝賀会について
- 5 . 11/10(月)県医)各専門分科医会長会について
- 6 . 11/10(月)県医)高次脳機能障がい講演会(TV会議)について
- 7 . 11/5(火)県医)女性医師委員会について
- 8 . 11/10(月)県医)広報委員会について
- 9 . 11/6(木)KIENビル)県高齢者サービス総合調整推進会議について
10. 11/8(土)石川)全国学校保健・学校医大会について
11. 定期健康診断における脊柱側弯検査の継続について

#### 医師連盟関係

##### ( 議決事項 )

- 1 . 参議院議員選挙比例代表選挙の公募について  
第 2 回参議院議員比例代表選挙の日医連推薦候補者として，東京都医師連盟並びに九州各県医師連盟が推薦予定の東京都医師会所属の自見英子氏(東大虎の門病院小児科)を推薦することが承認された。
- 2 . 11/17(火)ひまわり荘)自民党県連選挙対策委員会の開催について  
事務局対応が承認された。

### 3. 1 /9 (金) 宮崎ホテル)公明党県本部新春の集いの開催について

政権与党でもあることから参加する方向で、出席可能な理事者は事務局に届け出ることが承認された。

#### 平成 26 年 11 月 18 日(火)第 2 回常任理事協議会

#### 医師会関係

#### (議決事項)

### 1. 12/11(木) 宮崎)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会について

1 病院を対象に行われる個別指導で、佐々木(幸)常任理事を立会人として派遣することが承認された。

### 2. 次期(平成 28 年度)診療報酬改定の要望事項について

2 年毎に開催される九医連医療保険対策協議会が、1 /24(土) 大分)第 2 回各種協議会に先立ち開催され、本県の要望に関しては、専門分科医会・各都市医師会・理事の意見等を 12/8 (月)まで募集し、広く意見を確認し提出することとなった。

### 3. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県個人情報保護審議会委員の推薦について

→任期満了による推薦依頼であり、濱田副会長を推薦する事が承認された。

### 4. 学校保健に係る平成 27 年秋の叙勲候補者の推薦について

郡市医師会に照会の結果 1 名の推薦があり、県医師会として推薦することが承認された。

### 5. 12/28(火・祝)(日医)平成 26 年度 A 学術シンポジウム開催について

立元常任理事の出席と、A を実施している県内 10 数医療機関にも案内することが承認された。

### 6. 宮崎県交通安全対策推進本部への加入について

交通安全活動を総合的、かつ積極的に推進することにより県民総ぐるみにより交通事故を防止する目的で設置されており、本会も加入することが承認された。

### 7. 県への要望事項について

各都市医師会から出された要望を含め、県医師会から「医師確保について」をはじめとする 8 つの要望を提出することが提案され、一部担当者を中心に文言等の見直しを行い、次回全理事協議会で、再度、協議することが承認された。

### 8. 3 /5 (木) 県立看護大学)平成 26 年度県内医療機関合同就職説明会について

県立看護大学が就職支援の一環として、県内の医療機関情報をより多く得ることができるよう一昨年から開催しているもので、医療機関への周知等について、協力を行うことが承認された。

### 9. 12/15(月) 県医)平成 26 年度感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会について

ワクチンに関する最近の話題を中心に、県内の医師及び看護職員、保健所の感染症担当者や学校関係者等を対象に行なわれる研修会で、会場及びテレビ会議システムの利用や広報等について協力することが承認された。

#### (報告事項)

### 1. 11/16(日) 日医)日医医療事故防止研修会について

### 2. 11/13(木) 県医)宮崎の医療を考える会について

### 3. 11/18(火) 県医)治験審査委員会について

### 4. 11/12(木) 県医)県認知症疾患医療センターと県医役員との意見交換会について

### 5. 11/13(木) 宮崎)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

### 6. 11/17(月) 県医)介護保険委員会について

7. 11/15(土) (県医)産業医部会総会・研修会(TV会議)について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 1/10(土) (宮観ホテル)平成 27年三師会合同新春懇談会の開催について

歯科医師会が担当であり、県医顧問、医師連盟役員、県医役員に案内することが承認された。

(報告事項)

1. 11/25(火) (県医)県医連執行委員会について  
急遽、衆議院議員選挙が開催されることとなり、各都市医師会長協議会を変更して、執行委員会が開催されることが報告された。

平成 26年 11月 25日(火)第 7 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 次期国保審査委員会委員の推薦について  
委員の選任基準(内規)に則り、本会・都市医師会・専門分科医会が推薦する案(委員任期：平成 27年 1 月 1 日～28年 12月 31日)が示され、原案どおり承認された。

2. 1/20(火) (日医)平成 26年度第 3 回都道府県医師会長協議会の開催について

河野会長の出席と提出議題については会長に一任し、役員で質問事項がある場合は、後日申し出ることとなった。また、この第 3 回都道府県医師会長協議会の報告を兼ねて、1/27(火)に第 2 回各都市医師会長協議会を開催することが承認された。

3. 白菊会への運営資金援助についてのお願いについて

白菊会は、医学・医療の発展を願い、解剖体を提供する篤志検体登録者の会で、会員に対する援助依頼があり、例年同様、協力する

ことが承認された。

4. 5/23(土) (宮観ホテル)講師派遣依頼について  
会員の資質向上を目的に、県柔道整復師会が毎年開催している学会の特別講演の講師派遣依頼で、人選を県整形外科医会に依頼することが承認された。

5. 県への要望事項について

各都市医師会から出された要望を含め、県医師会から「医師確保について」をはじめとする 8 つの要望を提出することが提案され、県に提出することが承認された。

6. 県医役員等報酬支給について

県医役員等報酬規程に基づき支給することが承認された。

7. 県医職員の冬季手当支給について

県医職員給与規程に基づき、県人事委員会の勧告を参考に期末・勤勉手当を支給することが承認された。

8. 1/30(金) (日医)平成 26年度第 2 回「2020.3Q推進懇話会」の開催について

過去に「2020.3Q推進懇話会」に参加した方が対象者であり、対象者に案内し取りまとめることが承認された。

9. 国民医療を守るための国民運動の期間延長と国民医療を守るための総決起大会開催延期のお知らせについて

衆議員解散・総選挙により、運動は 1 月下旬まで延期となり、総決起大会は 1 月 15日(木)(東京)で開催されることとなり、会長、立元・池井常任理事が参加すること並びに宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会については、12/13(土) (県医)開催予定を延期することが承認された。

10. 12・1 月の行事予定について

12月の追加行事と 1 月の行事について確認が行われた。

## ( 報告事項 )

- 1 . 週間報告について
- 2 . 11/12(火) 支払基金 ) 支払基金幹事会について
- 3 . 11/16(木) ハイビスカス G . C . ) 宮崎銀行ゴルフコンペについて
- 4 . 11/18(火) 日医 ) 都道府県医師会長協議会について
- 5 . 11/21(金) 大分 ) 九医連常任委員会について
- 6 . 11/25(火) 宮大医学部 ) 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会について
- 7 . 11/20(木) 日医 ) 日医医療秘書認定試験委員会について
- 8 . 11/21(金) ~ 23(日) 大分 ) 九州医師会総会・医学会関連行事について
- 9 . 11/18(火) 県医 ) 県プライマリ・ケア研究会と第 10 回九州ブロック総会・講習会実行委員との合同会議について
10. 11/20(木) 県医 ) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
11. 世界糖尿病デー in 宮崎 2014 第 50 回全国糖尿病週間イベントについて
12. 11/1 (土) 県医 ) 日医社会保険指導者講習会復議 (TV 会議) について
13. 10/29(火) 宮崎労働局 ) 労災診療指導委員会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

## ( 報告事項 )

- 1 . 医協理事・運営委員合同協議会について  
医師連盟関係

## ( 議決事項 )

- 1 . 11/25(火) 県医 ) 県医師連盟臨時執行委員会について  
県医連常任執行委員会に切り替えられ、本県小選挙区推薦候補者と政策協定を締結することと、宮崎 1 区は武井俊輔候補、2 区は江藤拓候補、3 区は古川禎久候補を推薦することが承認された。

- 2 . 12/4 (木) 宮崎神宮 ) 必勝祈願祭・出陣式のご案内について  
事務局対応が承認された。

平成 26 年 12 月 2 日 (火) 第 8 回全理事協議会

医師会関係

## ( 議決事項 )

- 1 . 12/25(木) JA かんづめ ) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者 (医科) の個別指導の実施に係る立会について  
1 診療所を対象に行われる個別指導で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。
- 2 . 九州ブロック日医代議員連絡会議 (5 月 30 日) における日医各種委員会の報告希望委員会について  
日本医師会の各種委員会の活動報告について、特に報告を希望する委員会があれば事務局まで申し出ることとなった。
- 3 . 1 /24(土) 大分 ) 九医連第 34 回常任委員会、第 2 回各種協議会の開催について  
河野会長が出席する常任委員会への提出議題は会長一任となり、各種協議会への出席者については、提案事項等の内容を踏まえ、後日、事務局から担当理事を中心に確認することとなった。
- 4 . 1 /24(土) 大分 ) 九医連第 2 回各種協議会の提案事項について

開催種目が決定し、前半 (15: 00~ 16: 30) の救急・災害対策は小牧常任理事、診療報酬対策は濱田副会長、在宅医療対策は牛谷常任理事、後半 (16: 30~ 18: 00) の地域医療対策は池井常任理事、医療保険対策は濱田副会長、介護保険対策は金丸常任理事が取りまとめ責任者となり、回答することが承認された。

- 5 . 1 /10~~日~~( 日医 )都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会( 仮称 )」連絡協議会・学術大会の参加申し込みについて

担当の立元常任理事の出席が承認された。

- 6 . 1 /2~~秋~~( 県医 )第 2 回各都市医師会長協議会の開催について

1 /20~~秋~~に開催される都道府県医師会長協議会の報告を主な議題として予定している協議会で、スケジュールの確認が行われ、都市医師会に提出議題等を照会することが承認された。

- 7 . 後援・共催名義等使用許可について

宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義後援について

→介護保険制度の改正における介護支援専門員の在り方をテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。

- 8 . 労働安全衛生法に基づく健康診断を実施する医療機関名簿の作成について

労働局に事業者から労働安全衛生法に基づく各種健康診断の実施医療機関の問い合わせが多く寄せられており、労働局が医療機関に対して健康診断実施可能情報のアンケート調査を行い、その情報をホームページに公開することとなり、協力することが承認された。

- 9 . 宮崎県の結核の予防のための施策の実施に関する計画( 宮崎県結核予防計画 )改正案について

平成 17年に旧結核予防法に基づき策定した

予防計画の見直し案であり、担当の高村常任理事を中心に、実態に見合った改正案なのかを検討することが承認された。

( 報告事項 )

- 1 . 11月末日現在の会員数について
- 2 . 11/2~~秋~~( 県医 )県医監事監査について
- 3 . 12/1 ( 県医 )健康教育委員会について
- 4 . 11/20~~秋~~( 県医 )広報委員会について
- 5 . 11/2~~秋~~( JALシティ )メディカルトライアングルプロジェクト学生向けセミナーについて
- 6 . 12/1 ( 県医 )広報委員会について
- 7 . 12/1 ( 県医 )生活習慣病検診従事者研修会 ( TV会議 )について
- 8 . 11/2~~秋~~( 県医 )病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 ( TV会議 )について
- 9 . 11/20~~秋~~( 宮崎労働局 )労災診療指導委員会について
10. 11/2~~秋~~( JA - A Z M )社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導について
11. 11/2~~秋~~( 県医 )健康スポーツ医学委員会について

医師連盟関係

( 議決事項 )

- 1 . 1 /20~~秋~~( 日医 )日医連執行委員会の開催について

河野委員長の出席が承認された。

( 報告事項 )

- 1 . 11/2~~秋~~( 県医 )県医連臨時執行委員会について

# 県 医 の 動 き

( 12月 )

1	生活習慣病検診従事者研修会( TV 会議 )( 会長他 ) 健康教育委員会( 会長他 ) 広報委員会( 富田副会長他 )	12	県外臨床研修病院視察( 東京 )( 金丸常任理事 )
2	母体保護法指定医師審査委員会( 富田副会長他 ) 武井候補陣中見舞い( 会長 ) ( 衆議院議員選挙告示日 ) 第8回全理事協議会( 会長他 ) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見 交換会( 会長他 )	13	産業医研修会 日医生涯教育協力講座セミナー( TV 会議 ) ( 会長他 ) 県産婦人科医会全理事会( 濱田副会長他 ) 宮崎市郡医師会年末懇親会
3	都城市北諸県郡医師会忘年会( ホテル中山荘 ) ( 会長他 )	14	( 衆議院議員選挙投票日 )
4	( 県知事選挙告示日 ) 損保ジャパン日本興亜との懇親会( 会長他 )	15	西都市西児湯医師会忘年会( 会長他 )
5	日医地域医療対策委員会( 日医 )( 富田副会長 ) 勤務医委員会( 会長他 ) 河野候補陣中見舞い( 会長 )	16	医協理事・運営委員合同協議会( 会長他 ) 県ドクターヘリ運航調整委員会( 小牧常任理事 ) 医協理事会( 富田理事長他 ) 第9回全理事協議会( 会長他 ) 役職員懇談会( 会長他 )
6	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会( 鮫島理事 ) 日医家族計画・母体保護法指導者講習会( 日医 ) ( 濱田副会長 ) 九州学校検診協議会専門委員会( 福岡 ) ( 高村常任理事 ) 九州各県学校保健担当事務者会( 福岡 ) ( 高村常任理事 )	17	県DV被害者保護支援ネットワーク会議 ( 荒木常任理事 ) 日医公衆衛生委員会( 日医 )( 吉田常任理事 ) 南那珂医師会忘年会( ホテルシーズン日南 ) ( 会長他 )
7	職員採用試験( 二次 ) 女性医師支援センター事業九州ブロック別会議 ( 佐賀 )( 荒木常任理事他 )	18	日医医療秘書試験委員会( 日医 )( 富田副会長 ) 広報委員会( 荒木常任理事他 )
8	広域医療搬送訓練研究会( 立元常任理事他 ) 県難病医療連絡協議会( 池井常任理事 ) 医師会立看護学校担当事務連絡協議会( 会長他 ) 医師会国保組合理事会( 秦理事長他 )	20	指導医のための教育ワークショップ( 会長他 ) がん登録推進法に関するシンポジウム( 日医 ) ( 池井常任理事 ) 生活習慣病検診従事者研修会( TV 会議 ) ( 立元常任理事 )
9	治験審査委員会( 富田副会長他 ) 医協打合せ会( 立元副理事長 ) 第23回常任理事協議会( 会長他 )	21	( 県知事選挙投票日 ) 指導医のための教育ワークショップ ( 金丸常任理事 )
10	南海トラフ大震災を想定した衛星利用実証実験 ( 防災訓練 )( TV 会議 )( 事務局 ) 子宮頸がんワクチンシンポジウム( 日医 ) ( 峰松理事 ) 都道府県医師会医事紛争担当事務連絡協議会 ( 日医 )( 小牧常任理事 ) 支払基金幹事会( 会長 ) 古川候補陣中見舞い( 古川事務所 )( 会長 )	23	日医A 学術シンポジウム( 日医 )( 立元常任理事 )
11	県外臨床研修病院視察( 沖縄 )( 金丸常任理事 ) 社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導 ( 佐々木常任理事 ) 産業医研修会 江藤候補陣中見舞い( 江藤事務所 )( 会長 ) 生活習慣病検診従事者研修会( TV 会議 ) ( 池井常任理事 ) 延岡市医師会忘年会( ホテルメリージュ延岡 ) ( 会長他 )	24	労災診療指導委員会( 川野理事 ) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		25	社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導( 川野理事 ) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会( 日医 ) ( 峰松理事 ) 日医医療IT委員会( 日医 )( 荒木常任理事 ) 医学賞選考委員会( 濱田副会長他 )
		26	仕事納め式( 会長 )
		29	( 年末休業 )
		30	( 年末休業 )
		31	( 年末休業 )

## お知らせ

平成 27年 4 月 11日(土) ~ 13日(月)の 3 日間, 第 29回日本医学会総会 2015関西が京都を中心として開催されます。

事前登録期間は 1 月 31日までとなっています。事前登録は 5,000円引きされますので, この機会にぜひ, ご登録ください。

参加登録料( 医師・歯科医師・研究者 )

事前登録( 1 月 31日まで )	30,000円
当日登録	35,000円

詳しくは, ホームページをご覧ください。 <http://isoukai2015.jp/>

団体所得補償保険

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 26 年 12 月 12 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5 人

#### 1) 男性医師求職登録数 5 人 ( 人 )

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	4	2	2
外 科	1	1	0

#### 2) 女性医師求職登録数 0 人

### 2. 斡旋成立件数 49 人

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 26 年 度	1	1	2
平成 16 年度から累計	35	14	49

### 3. 求人登録 87 件 341 人 ( 人 )

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	107	78	29
外 科	35	28	7
整 形 外 科	26	21	5
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	14	11	3
麻 酔 科	12	8	4
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	12	10	2
小 児 科	2	1	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	3	3	—
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	8	8	—
健 診	5	2	3
産 婦 人 科	1	1	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	34	28	6
合 計	341	267	74

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外 整 放 麻 内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳外 内 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 神内 眼 総診 呼外 , 臨病 乳外 整外 麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内 内分泌糖内 呼 小児科 , 神経内 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 放 在宅医療	3	常勤
170052	医)春光会	宮 崎 市	外 内	6	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 神内 整 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内 呼内 総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内 外 整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化 麻 循 小児科	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 外 救急 呼外 婦人	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 外 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 外 整	12	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内 外	2	常勤
230143	医)社団孝寿会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内 呼吸内 消化器内 , 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内 神内 外 整外 脳外 , リハ 麻酔 救急 緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外 形成外 外 麻酔	8	常勤・非常勤
230159	医)常聖会 巴外科内科	宮 崎 市	内	1	非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医)敏和会 戸嶋病院	都 城 市	内 消内 整 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内 救急 放射 脳外 外 , 眼 透内 皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内 外 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 内 呼内 総合内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 呼	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外 内 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医 魁成会 宮永病院	都 城 市	内 ,リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放 ,消内 ,消外 ,健診	8	常勤・非常勤
230157	医 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精 ,内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内 ,透 ,循内 ,救急 ,放射 , 病理 ,呼吸内 ,精	16	常勤
160012	医 伸和会 共立病院	延 岡 市	外 ,整 ,放 ,内	6	常勤
160021	医 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 ,内 ,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医 久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 ,外 ,麻 ,精 ,神内 , 脳神経 ,老施 ,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 ,内 ,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内 ,消外 ,内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 ,小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医 中心会 野村病院	延 岡 市	内 ,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医 誠和会 和田病院	日 向 市	外 ,内 ,整 ,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内 ,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 ,放 ,外	3	常勤
160023	医 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 ,内 ,総合診療 ,麻 ,眼 , 健診 ,循 ,脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 ,外	2	常勤
150002	医 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医 十善会 県南病院	串 間 市	精 ,内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 ,外 ,整 ,リハビリ ,在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内 ,外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医 秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内 ,皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急 ,総合診療 ,放	5	常勤
180076	医 友愛会 園田病院	小 林 市	外 ,循内 ,整 ,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医 浩然会 内村病院	小 林 市	精 ,内	3	常勤
190091	医 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 ,内	4	常勤・非常勤
230155	医 三和会 池田病院	小 林 市	脳外 ,整 ,麻 ,内 ,放射 ,外	7	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医 連理会 せの内科クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内 ,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 ,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 ,整	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26 年 12 月 12 日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番，263 番 土地のみ：593.57 坪( 2022.17m ² )	<所有者 児湯医師会員 ( 医 ) 崧雲会 林クリニック>
2. 譲渡又は 賃貸物件	宮崎市大字本郷南方 407 番 建物 鉄筋コンクリート 2 階建( 905m ² ) 駐車場 14 台分 別途職員専用駐車場有り	<黒岩医院跡>

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時～ 12 時及び 13 時～ 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100( 代 )・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 12月 24日現在

1			月			
1	木	( 年始休業 )	17	土	14 30 産業医研修会 16 00 医療メディーター研修会視察	↑
2	金	( 年始休業 )				
3	土	( 年始休業 )	18	日		
4	日		19	月	19 00 医師国保組合定例事務監査 19 00 県内科医会会誌編集委員会	国
5	月	13 00 新年賀詞交歓会 13 30 仕事始め式				
6	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 24回常任理事協議会	20	火	14 20 ( 日医 )都道府県医師会長協議会 16 30 ( 日医 )日医連執行委員会 17 30 ( 日医 )都道府県医師会長協議会・ 日医連執行委員会合同新年会 18 15 医協理事会 19 00 第 24回常任理事協議会 終了後 医師国保組合口コモ啓発推進 委員会	保 審 査
7	水	14 00 ( 日医 )日医生命倫理懇談会 18 30 病院部会・医療法人部会合同理事会 並びに新年会				
8	木	18 30 社会保険医療担当者( 医科 )の新規 集団指導	21	水		↓
9	金	13 30 県後期高齢者医療広域連合運営 懇話会 15 00 ( 日医 )日医勤務医委員会	22	木	19 00 県内科医会学術委員会	
10	土	10 30 ( 日医 )都道府県医師会「警察活動に協 力する医師の部会( 仮称 )」連絡協議会・ 学術大会 15 00 日医生涯教育協力講座セミナー( TV 会議 ) 19 00 三師会合同新春懇談会	23	金	19 00 医師国保組合理事会	↑
11	日	8 30 緩和ケアチーム研修会	24	土	15 00 九医連各種協議会( 第一部 ) 16 00 九医連常任委員会 16 30 九医連各種協議会( 第二部 ) 18 00 九医連各種協議会報告会	社
12	月	( 成人の日 )	25	日		
13	火	15 00 九州地区健康教育研究大会実行 委員会 18 20 医協打合せ会 19 00 第 25回常任理事協議会	26	月	19 00 広報委員会	保
14	水		27	火	17 30 県地域医療・福祉推進協議会 代表者会 18 00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 18 30 第 10回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19 20 各都市医師会長協議会	審 査
15	木	13 30 社会保険医療担当者( 医科 )の新規 個別指導 13 30 県高齢者サービス総合調整推進会議 14 00 国民医療を守るための総決起大会 19 00 特定健康診査等従事者研修会( TV 会議 ) 19 30 県産婦人科医会常任理事会 19 30 広報委員会	28	水	15 00 労災診療指導委員会	↓
			29	木		
			30	金	14 00 ( 日医 )日医「 2020.30」推進懇話会 19 00 相続税対策セミナー( TV 会議 )	
16	金	13 00 ( 日医 )日医財務委員会	31	土	14 30 自賠責保険研修会 15 00 県産婦人科医会冬期総会	

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成26年12月24日現在

2			月		
1	日		15	日	9 00 認知症サポート医養成研修 9 30 (日医)日医医療情報システム協議会
2	月				
3	火	16 00 県立病院事業評価委員会 18 00 治験審査委員会 19 00 第2回常任理事協議会	16	月	19 00 介護保険に関する主治医研修会(TV会議) 19 30 広報委員会
4	水		17	火	18 20 医協打合せ会 19 00 第29回常任理事協議会
5	木	14 00 産業医研修会 18 00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会	18	水	19 00 自殺対策うつ病研修会
6	金	14 30 (日医)日医地域医療対策委員会	19	木	19 00 県内科医会理事会
7	土	15 00 母体保護法指定医師研修会 15 45 健康スポーツ医学セミナー	20	金	15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19 00 産業医研修会
8	日		21	土	14 00 かかりつけ医認知症対応力向上研修(TV会議) 18 00 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロックプレ講習会
9	月				
10	火	19 00 第28回常任理事協議会			
11	水	(建国記念の日)	22	日	9 00 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック総会・講演会 10 00 (日医)日医母子保健講習会
12	木	13 00 (日医)日医総研シンポジウム 15 00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 16 00 支払基金幹事会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	23	月	19 00 広報委員会
13	金	14 00 県献血推進協議会 19 00 県外科医会冬期講演会	24	火	18 15 医協理事会 19 00 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
14	土	13 00 認知症サポート医養成研修 14 30 日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議) 15 00 九州地区医師国保組合連合会理事会 15 00 (日医)日医医療情報システム協議会 15 30 九州地区医師国保組合連合会全体協議会 15 40 県内医師会病院連絡協議会	25	水	15 00 労災診療指導委員会 19 00 創立126周年記念医学会
			26	木	19 00 医師国保組合理事会
			27	金	14 00 (日医)日医女性医師支援事業連絡協議会 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
			28	土	10 00 (日医)日医学校保健講習会 16 00 勤務医部会後期講演会

都合により、変更になることがあります。

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E -Mail genko @ m iyazakim ed.or.jp

FAX 0 9 8 5 -2 7 -6 5 5 0

TEL 0 9 8 5 -2 2 -5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
日医生涯教育協力 講座セミナー「新しい ステージを迎え た糖尿病医療」 1月10日(土) 15 00～ 18 00 県医師会館(TV会 議：都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸)	テーマ：新しい糖尿病治療戦略 最新の糖尿病薬物治療 - SGLT 阻害剤を含む - 佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 教授 安西 慶三 パネルディスカッション： Patient-Centered Approach	共催 日本医師会 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 田辺三菱製薬㈱	3	2 10 19 73 76 82
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 1月13日(火) 19 30～ 21 00 ホテルベルフォー ト日向	beyond LDL - なぜ今，脂肪酸 - 岡山大学医歯薬学総合研究科循環器内科学 教授 伊藤 浩	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市・東臼杵郡薬剤師会 武田薬品工業㈱	1	75 82
特定健康診査等従 事者研修会 1月15日(木) 19 00～ 20 30 県医師会館(TV会 議：都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸・西 臼杵)	生活習慣病とタバコ - 禁煙支援はたのしく - のだ小児科医院長 野田 隆	共催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	1.5	11 12 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎市郡医師会新年例会・しのめ 医学会特別講演会 1月16日(金) 19 00~ 19 45 宮崎観光ホテル	電子カルテ情報の多角的利用 - 連携医療, 2次利用 - 宮崎大学医学部附属病院長 吉原 博幸	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	0.5	9
美波セミナーin宮崎 1月16日(金) 19 00~ 21 00 ホテルJA Lシティ 宮崎	メトホルミンの適正使用を考える 宮永病院内科医長 西 勇一 古賀総合病院におけるチーム医療について 古賀総合病院代謝内科部長 井出野 順一 血管を護るための波動制御 - Beyond the BG control - 福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科 准教授 野見山 崇	共催 宮崎県内科医会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855	2	10 76
西臼杵地区学術 講演会 1月16日(金) 19 15~ 20 30 ホテル高千穂	糖尿病の最新の話 2015 福岡大学筑紫病院内分泌糖尿病内科 助教 工藤 忠睦	主催 西臼杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 後援 田辺三菱製薬(株) 第一三共(株)	1	76 82
日本泌尿器科学会 第86回宮崎地方会 1月17日(土) 13 30~ 18 00 ホテルJA Lシティ 宮崎	宮崎大学医学部泌尿器科教室における2014年の臨床 統計 宮崎大学医学部泌尿器科 中原 梢 他 他一般演題 27	主催 宮崎大学医学部泌尿器科学教室 ☎ 0985-85-2968 共催 武田薬品工業(株) 後援 宮崎県泌尿器科医会	4.5	2 4 5 8 9 10 13 15 65

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 1 月 1日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV 会 議 延岡・日向・ 児湯・西都・南那 珂・西諸)	(8)有害業務管理 産業医現場における正しい放射線の知識 産業医科大学放射線健康医学 教授 岡崎 龍史 (3)健康管理 産業保健領域における睡眠問題 大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授 兼板 佳孝 基礎研修の後期研修会，生涯研修の専門研修会 4 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	1 3 9 11 12 13 20 84
延岡心臓病カンファ レンス 1 月 20日(火) 19 00~ 20 30 県立延岡病院	抗生剤によりQT延長心室頻拍を来した症例 県立延岡病院循環器内科医長 山下 享芳 腎血管性高血圧 同部長 山本 展誉 他 2 題	共催 延岡心臓病カンファレンス フクダ電子西部販売㈱ グッドウィル㈱ ☎ 0982-21-8105 後援 延岡市医師会	1.5	28 32 79
第 8 回児湯内科医 会学術講演会 1 月 20日(火) 19 15~ 20 15 ホテル四季亭	糖尿病における腎臓の関わり - 腎臓を想って糖尿病を診る - 仁医会病院長 阿部 克成	共催 児湯内科医会 児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 日本イーライリリー㈱	1	13 73
第 45回ひむか運動 器セミナー 1 月 20日(火) 19 30~ 20 30 宮崎観光ホテル	膝スポーツ外傷最近の治療 船橋整形外科病院スポーツ医学 センター長 土屋 明弘	共催 ひむか運動器セミナー 科研製薬㈱ ☎ 0985-51-7504	1	57 61

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 50 回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会 1 月 22 日(木) 18 30~ 21 00 ガーデンテラス 宮崎	遺伝性難聴と遺伝カウンセリング 宮崎大学医学部附属病院遺伝カウンセリング 部長 山口 昌俊 原発性線毛運動不全症とその周辺疾患 三重大学医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 竹内 万彦 参加費 500円	共催 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301 後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会	2	1 2 8 38
第 94 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 1 月 22 日(木) 18 45~ 20 30 宮崎観光ホテル	機能性 M R の外科治療をめぐって 高の原中央病院かんさいハートセンター 特任院長 米田 正始	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 アステラス製薬(株)	1.5	2 9 15
第 19 回宮崎県泌尿 器科医会 1 月 22 日(木) 18 50~ 20 20 宮崎観光ホテル	前立腺癌における骨マネージメント Bone Health を考慮したデノスマブ療法の意義 群馬大学医学系研究科泌尿器科学 教授 鈴木 和浩	共催 宮崎県泌尿器科医会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	1.5	11 65 77
宮崎木曜会学術 講演会 1 月 22 日(木) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	日常診療における直腸・肛門病変診察のコツ 清水中央クリニック院長 篠原 立大	共催 宮崎木曜会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855	1	55

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 75回 宮 崎 大 学 眼科研究会 1 月 24日(土) 15 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	最近の網膜の話題から 宮崎大学医学部眼科学分野 教授 直井 信久 他一般講演等 参加費 2,000円	主催 宮崎大学医学部眼科学教室 ☎ 0985-85-2806	4	36
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 1 月 26日(月) 19 00~ 21 00 ガーデンベルズ 小林	発熱性疾患の見かた 膠原病と重症熱性血小板減少症候群( SFTS ) 宮崎大学医学部内科学免疫感染病態学分野 教授 岡山 昭彦	主催 西諸内科医会 ☎ 0984-23-2113 共催 武田薬品工業(株)	2	18 25 26 28
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 1 月 27日(火) 18 45~ 20 15 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	心房細動 最近の話題 鹿児島医療センター第二循環器内科 医長 塗木 徳人 静脈血栓塞栓症の新たな治療戦略 同医長 下川原 裕人	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 第一三共(株)	1.5	1 11 73
第 18回 宮 崎 市 郡 医師会病院循環器 セミナー 1 月 28日(水) 18 50~ 20 00 宮 崎 市 郡 医 師 会 病院	肺炎と心不全の鑑別診断 飯塚病院呼吸器内科部長 飛野 和則	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 塩野義製薬(株)	1	2 9

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26 年度自賠責 保険研修会 1 月 31 日(土) 14 30~ 17 30 県医師会館	自賠責保険(共済)損害調査のしくみ 自賠責保険の現状と問題点 損害保険料率算出機構 宮崎自賠責損害調査事務所長 山村 茂男 交通外傷診療にまつわる諸問題について 宮崎大学医学部救急・災害医学分野 救命救急センター教授 落合 秀信	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県損害保険医療協議会 宮崎県医師会労災部会	2.5	1 7 8 16 57
平成 26 年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会冬期定期総会 1 月 31 日(土) 15 00~ 17 10 ホテルJA L シティ 宮崎	子宮内膜症の病態を探る - 私たちの研究から見える新たな展望 - 大分大学医学部産婦人科教授 檜原 久司	主催 宮崎県産婦人科医会 ☎ 0985-22-5118	1	2 15
第 34 回宮崎感染症 研究会 2 月 3 日(火) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	肺炎診断の最新知見とガイドラインに基づく治療 戦略 産業医科大学呼吸器内科学教授 迎 寛	共催 宮崎感染症研究会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	1	45 47
宮崎県医師会産業 医研修会 2 月 5 日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 アサーション - はじめの一步は聞くことから - 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 6 8 13

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26 年度宮崎県 医師会健康スポー ツ医学セミナー 2 月 7 日(土) 15 45~ 18 00 県医師会館	スポーツドクター連盟総会( 15 45~ 16 00) ドクターとしての国体帯同経験とその問題点 藤元総合病院整形外科部長 園田 典生 心臓リハビリテーションについて( 仮 ) 宮崎江南病院内科医長 渡邊 玲子	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	1 2 10 11
宮崎県内科医会学 術講演会 - CKD に おける脂質代謝異 常と動脈硬化 - 2 月 12 日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	当院での病診連携システムを用いた CKD 診療に ついて 県立宮崎病院臨床工学科部長 上園 繁弘 CKD における脂質異常の特徴と管理のコツ( 仮 ) 福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座 渡辺 毅	共催 宮崎県内科医会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763	1.5	2 75 82
日医生涯教育協力 講座セミナー「かか りつけ医における COPD の診断と治 療について」 2 月 14 日(土) 14 30~ 17 30 県医師会館( TV 会 議 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸 )	テーマ 実践 COPD 診療 パネルディスカッション 明日からできる COPD 診 療のコツ 忍び寄る COPD の影, 世界死亡原因 4 位の疾患とは / 薬物療法を中心に 鹿児島大学医学部医歯学総合研究科 呼吸器内科学教授 井上 博雅	共催 日本医師会 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 グラクソ・スミスクライン(株)	3	5 13 19 45 73 82

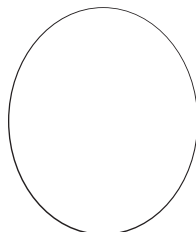
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第1回宮崎 心エコー研究会 2月19日(木) 19 00~ 20 10 宮崎観光ホテル	心臓弁膜症 「まわり」の重要性 産業医科大学第2内科学教授 尾辻 豊	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 第一三共(株)	1	9 15
第24回宮崎臨床 免疫研究会 2月20日(金) 18 50~ 20 30 ホテルJA Lシティ 宮崎	SLE難治性病態の診断と治療 京都大学医学研究科臨床免疫学 教授 三森 経世	共催 宮崎県内科医会 宮崎臨床免疫研究会 旭化成ファーマ(株) ☎ 0985-28-2736	1	26 28
第95回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 2月20日(金) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	日本におけるスタチン療法のエビデンス(仮) 熊本大学生命科学研究部循環器内科 教授 小川 久雄	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 アストラゼネカ(株) 塩野義製薬(株)	1.5	2 9 15
宮崎県医師会産業 医研修会 2月20日(金) 19 00~ 21 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 事業所におけるメンタルヘルス事例( ) 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 6 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
かかりつけ医認知 症対応力向上研修 2 月 21 日(土) 14 00~ 18 10 県医師会館	基本知識 認知症疾患医療センター 三山 吉夫 診断 同センター 加藤 和男 他	主催 宮崎県 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	5 6 11 12 14 19 29 69
日本プライマリ・ ケア連合学会 第 10 回九州ブロッ ク総会・講習会 ( 2 日間 ) 2 月 21 日(土) 18 00~ 19 00 2 月 22 日(日) 9 00~ 16 20 県医師会館	テーマ「地域医療の未来・展望 - 地域包括ケアの 推進 - 」 2 月 21 日(土) プライマリ・ケアに必要な皮膚の見方 宮崎大学医学部附属病院皮膚科 古結 英樹 2 月 22 日(日) シンポジウム 在宅医療と多職種連携 ~ 地域包括ケ アの実践 ~ 特別講演 日本の医療のあるべき姿( 仮 ) 日本医学会会長 高久 史麿 対談 見えてきた総合診療医専門医制度 日本医師会副会長 今村 聡 日本プライマリ・ケア連合会 理事長 丸山 泉 ワークショップ みんなでごちゃまぜ P E を体験し てみよう! ~ 多職種連携教育を広げよう ~ 揖斐郡北西部地域医療センター長 吉村 学 参加費 3,000 円( 医師, 歯科医師, 薬剤師 ) 2,000 円( コメディカル ) 無料( 学生・研修医 )	主催 日本プライマリ・ケ ア連合学会九州支部 ☎ 0985-22-5118	6	5 7 10 13 14 26 58 80 81 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC・ がん 検診
第19回宮崎市郡 医師会病院循環器 セミナー 2月23日(月) 19 00～20 10 宮崎市郡医師会 病院	心筋血流SPECTの実際 - 検査，読影から最近の話題まで - 東海大学医学部専門診療学系画像診断学 教授 橋本 順	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 日本メジフィジックス(株)	1	2 9
第2回「宮崎脊椎 外科を語る会」 2月27日(金) 19 15～20 30 県医師会館	腰痛疾患治療の現状と課題 長崎労災病院副院長 小西 宏昭	共催 宮崎脊椎外科を語る会 日本臓器製薬(株) ☎ 090-5480-0179 後援 宮崎県整形外科医会 宮崎県臨床整形外科医会	1	60 61
第16回宮崎県眼科 医会講習会 2月28日(土) 16 00～18 30 宮崎観光ホテル	女性患者に対する眼科診療(メイクと眼障害，遠近 両用CL etc) 山本病院眼科医長 月山 純子 眼科手術のリスクマネジメント 久留米大学医学部眼科学講座 教授 山川 良治  参加費 3,000円(開業医・勤務医) 2,000円(公的医療機関勤務医)	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 (株)シード	2	36
第9回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 3月16日(月) 18 50～20 20 宮崎観光ホテル	心不全治療における地域連携の取組み 北里大学病院循環器内科講師 猪俣 孝元	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 日本メドトロニック(株)	1.5	2 9 15

今日の治療指針，治療薬マニュアル 2015

## 診療メモ



## 新しく見つかった宮崎に多い感染症： 重症熱性血小板減少症候群

( Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS )

宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野 おか やま あき ひこ  
岡 山 昭 彦

### 1. はじめに

2013 年 1 月に本邦ではじめて重症熱性血小板減少症候群 ( SFTS ) の症例報告がなされました。国立感染症研究所によると、2014 年 11 月現在、国内で 105 例の発生が報告されています。宮崎は愛媛について患者数の多い県であり 18 例が報告されています。このため本感染症は宮崎県においては既に稀な感染症とは言えないように思います。

全国的には近畿地方よりも西側の県で報告されています。本疾患の原因微生物はブニヤウイルス科フレボウイルス属の SFTS ウイルスであり、臨床的にはクリミアコンゴ出血熱に一番類似しているとされています。ゲノム系統樹解析では中国のウイルスとはずいぶん前にわかれており、最近外国から来たものではなく以前から日本にあった感染症と考えられています。

このウイルス感染症については 2011 年の NEJM に中国から報告されていました。しかし不勉強な私は 2013 年の国内例の報告まで、このウイルスに関する知識をまったく持ち合わせておりませんでした。宮崎にそのようなウイルス感染症が以前からあったということには本当に驚かされました。これまでの診療を振り返り、急性熱性疾患のうち結局診断のつかなかった患者が、あるいはこの疾患だったのではないかと考えさせられました。

### 2. どんな病気か？

SFTS の典型例は高齢者 ( 年齢中央値 73 歳、9 割の患者が 60 歳以上 ) で発熱、消化器症状 ( 食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛、下血 )、そのほか、頭痛、筋肉痛、意識障害のような神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血がみられます。患者発生は主に春から秋にみられますが、宮崎県では真冬にも報告されており注意が必要です。マダニ媒介感染とされており、患者は街中に住んでおられる方はまれで、野山がそばにある様な環境に住んでおられることが多いです。しかし必ずしも野山の散策歴があるわけではなく、そのあたりがやはり宮崎に多く、同じようにダニ媒介のリケッチア感染症 ( ツツガムシ病や日本紅斑熱 ) などと少し異なるように思います。ツツガムシ病のような刺し口が見られる頻度は高くありませんが、ダニが皮膚に食いついている状態で発症した患者もみられています。潜伏期は 2 週間以内とされています。

検査所見としては、白血球減少、血小板減少が特徴的であり、AST、ALT や LD の様な逸脱酵素の上昇も高頻度に見られます。CRP は陰性のことが多く、一般細菌などの感染症との鑑別には役立つと思います。また血球貪食症候群を合併することがまれならずあります。確定診断は PCR や抗体等の特殊検査となるので、一般の外注検査ではできません。保健所に連絡

して、衛生環境研究所への検査を依頼してください。確定診断がついた場合は、感染症法 4 類で届け出が必要です。

SFTS に特異的な治療法はまだわかっていません。私たちは重症例、血球貪食症候群合併例では支持療法に加えてステロイドを用いていますが、その効果には否定的な意見もあります。症状や検査値の異常は 7 - 10 日がピークとなることが多く、生存例では以後徐々に回復します。致死率はおおむね 30% とされており、80 歳以上の高齢者では特に予後が悪いことがわかっています。

診療時の注意点として、海外では血液体液暴露による 2 次的なヒトヒト感染が報告されています。このため、(下血等の出血症状のある患者の診療に際しては特に)感染防御の注意が必要です。国立国際医療センターよりマニュアル(SFTS 診療の手引：<http://www.dcc-nicm.info/topic-sfts/>)が提示されているのでご参照をお願いします。

一般向けの予防としては屋外外出時にダニに刺されないように気を配ることが必要です。国立感染症研究所より「マダニ対策・今できること」というパンフレットが発行されています(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287ent/3964madanitaisaku.html>)。野山に近い環境の病院やクリニックにご勤務の先生方は、外来待合室などに患者向けとして、掲示しておかれるとよいかもしれません。

### 3. 終わりに

山口県で国内 1 例目の症例が報告されたわけですが、新規のウイルス感染症の疑いを持って検査依頼をされた、この 1 例目の主治医の先生の慧眼には心からの敬意を感じています。このウイルスの研究を進めている国立感染症研究所の西條先生も、この医師がおられなければ国内に SFTS が存在することはいまだにわかっていなかっただろうと話されていました。今回の発見は、患者を 1 例 1 例きちんと診察し、疑問な点を納得のいくまで調べることがいかに重要かということをあらためて教えてくれたように思います。

今後少しでも早く本疾患の治療や予防法が確立されることを願っており、現在国立感染症研究所との共同研究を準備中です。今後県内の先生方には、その研究へのご協力をお願いすることがあるかも知れません。その節にはぜひよろしくお願い申し上げます。

### 4. 診断のポイント

野山のそばに住んでいる高齢者の発熱、消化器症状、神経症状では SFTS の可能性を考えて、血小板数を測ってみよう。

白血球数、血小板数が低く、AST, ALT, LD が高く、CRP 陰性であれば、SFTS の可能性が大きくなる。

保健所に連絡して、衛生環境研究所に検査依頼する。

## 宮大医学部学生のページ

## 〔宮崎大学学園祭〕第 10 回清花祭～祭飾絢美～

平成 27 年 11 月 14～ 16 日に開催されました第 10 回清花祭の模様を、清武キャンパス実行委員会と各企画長より、ご報告させていただきます。

## ●実行委員長 朝長 星哉

宮崎医科大学と宮崎大学の統合に伴い、平成 17 年に「清花祭」として生まれ変わった学園祭も、今年度で第 10 回を迎えました。今年度も無事に学園祭を開催できたのも、厚いご支援とご協力をくださった皆様のお陰です。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

今年度の清花祭では、「祭飾絢美」をテーマといたしました。このテーマには、学園祭を美しく装飾するとともにその内容も素晴らしいものにしたいという、才色兼備という四字熟語のもともとの意味も含めて宮大生の豊かな創造力と表現力を表しております。このテーマを元に、宮崎大学から宮崎全体を盛り上げていこうという思いで、実行委員一同、準備を進めて参りました。

学園祭では 11 月 14 日の神輿パレードを皮切りに、種々のイベントや、各サークルによる模擬店、地域の方々に医学を身近に感じていただくための医学展などを催しました。

当日は、心配されていた天気も崩れることなく、たくさんの方々にご来場いただきました。このように大学祭が大成功に終わったのも、多くの方々のご協力と幹部学年の実行委員一人ひとりの頑張りがあったからこそだと思います。準備期間や学園祭当日は、実行委員長として、人と人とのつながりや、熱意や努力、協調といった日ごろなかなか見ることが出来ない場面を本当にたくさん目の当たりにすることが出来ました。とても有意義で幸せな時間だったと感じています。

末筆となりましたが第 10 回清花祭にご来場くださった皆様、そして様々な形でご支援、ご協力を下さった皆様、本当にありがとうございました。また来年度以降も後輩たちが作り出す清花祭を温かく見守っていただきたいと願っています。ありがとうございました。

## ●医学展実行委員長 入佐 浩史

医学展では今年度も多くの企画が発足し、医学に関する展示物や体験コーナー、スタンプラリーなどお子様からご年配の方まで皆様楽しんでいただけるような医学展を開催することが出来ました。今年度は、2 日間で来場者数がのべ 1,000 人を超え、多くの方から医学展を楽しむことが出来たと聞き、企画員一同心より嬉しく思っております。一般の方々が普段なかなか接する機会の少ない医学を、医学展と医学生を通じて少しでも身近に感じていただけたのではないかと考えております。

また、私達医学生も、日頃からお世話になっている清武町をはじめとする地域の方々と、より一層の交流を深めることができたとともに、皆様のおかげで学生生活を営むことが出来ているのだと改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。来年は新しい学生が医学展の運営に携わりますが、皆様には来年もぜひ会場に足を運んでいただければと思います。

最後に、今年度の医学展を開催するにあたり、非常に多くの方々にご協力していただきましたことを、紙面上ではございますがこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。今後とも医学展をどうぞよろしく願いいたします。

●医学部特別講演会 企画長 原澤 朋宏

11月3日に、清武町文化会館にて第10回医学部特別講演会を開催させていただきました。本年度は学部生をはじめとして多くの方々が将来を見据えることができる講演会となることを目的として、医師・作家として活躍される海堂尊氏に、自分の職に関する考え方や、若者にとっての将来の考え方を、わかりやすく、また興味深い視点でお話いただきました。

現代の医療問題を図示しながら一般の方にも分かりやすくご説明いただくとともに、私達では想定し得ない視点から医療問題を批評していただきました。また、作家として本に何を折り込み伝えようとしているのか、現代における本とのつきあい方など、どれも興味深い内容でした。さらに、学部生に対しても、世間一般の医療問題の考え方だけでなく、現場での可否をしっかりと考え、世論と内部のギャップを考慮してバランスを取っていける医師になってほしいというメッセージもいただきました。

講演終了後の質疑応答では設定した時間では消化できないほど、ご来場の方々から質問が行われ、講師と観客が一体となったとても良い講演会になったのではないかと思います。来年度は観客数をさらに増員し、より満足度の高い講演会を目指していきたいと考えております。

●年齢企画 企画長 吉野 主理

年齢企画は、例年同様の大盛況となり、今年度は2日間で述べ1,000人を超える来場がありました。来場者の皆様には、様々な機械を用いた血管・脳・体力・肌年齢の測定や、パネル展示を楽しんでいただきました。普段大学に立ち入ることのない小さなお子様から、毎年この企画を楽しみに来られているというご年配の方まで、健康について楽しみながら考えていただく良い機会になったのではないかと思います。企画員の学生たちにとっても、来ていただいた方々に健康や機器についてわかりやすく説明をすることを通して、良い学習の場になったと思います。

来年度も年齢企画が医学展の目玉企画として地域の皆様に愛され、沢山の方々に清武キャンパスへと足を運んでいただけるよう、より一層魅力あるものにして参りたいと思います。今年度の年齢企画の成功を修めるにあたり、ご来場の皆様をはじめ数多くの方々にご支援、ご協力を賜りました。本当にありがとうございました。

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
11月 7 日	・情報通信技術( ICT )を活用する際の標準的な規格等について( 通知 )     ・「病原微生物検出情報」の送付について     ・デング熱の国内感染症例について( 第三十八報 )     ・廃棄物処理におけるエボラ出血熱対策について     ・国民健康保険被保険証の無効について     ・「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について( 通知 )     ・コンタクトレンズの適正使用に関する情報提供等の徹底について( 再周知 )     ・「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」の一部改正について( 通知 )
11月 8 日	・エボラ出血熱疑い症例の発生について     ・エボラ出血熱疑い症例の発生について( 続報 )
11月 10 日	・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に係る追跡調査の実施等について
11月 11 日	・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に係る追跡調査の実施について( 協力依頼 )     ・「都道府県・二次医療圏入院外来将来需要予測」の日本医師会ホームページメンバーズルームへの公開について( 報告 )     ・全国介護保険担当課長会議についての Q &amp; A の送付について     ・長期入院精神障害者の地域生活への移行を促進するための介護保険担当部局等との連携について
11月 13 日	・2015年度日本対がん協会「奨学医」推薦のお願い     ・医療機関におけるコンタクトレンズ等の医療機器やサプリメント等の食品の販売について     ・「厚生医療等の安全性の確保等に関する法律」、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行令」及び「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則」の取扱いについて( 通知 )
11月 14 日	・日本医師会・日本医学会合同シンポジウム「子宮頸がんワクチンについて考える」の開催について
11月 17 日	・地域医療構想策定ガイドライン及び地域医療構想区域の「協議の場」について
11月 18 日	・消防法施行令の一部を改正する政令等の公布について( 厚生労働省事務連絡 )     ・医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について     ・平成 26年度医療施設整備・機能強化セミナーの周知について( 通知 )     ・「平成 25年介護サービス施設・事業所調査結果の概況」送付について     ・廃棄物処理におけるエボラ出血熱対策について( 通知 )     ・エボラ出血熱に関する啓発ツールについて     ・地域医療介護総合確保基金を活用した在宅医療の充実のための事業と地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業との関係について( 情報提供 )

送付日	文 書 名
11月 20日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について     ・「いきいき働く医療機関づくりサポートセミナー」(厚生労働省委託事業)の開催について(お知らせ)
11月 21日	・「障がい理解のためのハンドブック」について(送付)     ・平成 26年度「世界エイズデー」ポスターの送付について     ・エボラ出血熱に関するポスターについて     ・(記者発表)エボラ出血熱に関する対応訓練を実施します     ・(記者発表)感染性胃腸炎の集団発生について
11月 25日	・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について
11月 27日	・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究に対する協力について     ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について     ・医療施設における 2014年度冬季の電力需給対策について
11月 28日	・医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について
12月 1 日	・予防接種法施行規則の一部を改正する省令の施行について     ・「定期の予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」の一部改正について     ・エボラ出血熱の国内発生を想定した行政機関における基本的な対応について     ・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について     ・「定期の予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」の一部改正について     ・「ノロウイルスに関する Q &amp; A」の改訂等について     ・平成 26年度環境省事業「電子マニフェスト研修会・電子マニフェスト操作講習会」の開催について     ・法務省共済組合員証の無効について(通知)     ・毎月勤労統計調査全国調査及び地方調査の第一種事業所に対する調査協力依頼について     ・医療機関等からの医薬品、医療機器又は再生医療等製品についての副作用、感染症及び不具合報告の実施要領の改訂について     ・健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行について     ・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に関する通知等について
12月 2 日	・肝炎治療特別促進事業におけるパニヘップカプセルの取扱いについて     ・難病の患者に対する医療等に関する法律に係る政省令、告示及び関係通知等の送付について     ・「難病の患者に対する医療費助成制度の周知ポスター」の送付について     ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について     ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律について     ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律の一部の施行について     ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づく届出の基準について(一部改正)     ・(記者発表)インフルエンザの集団発生について

-----

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	a	a	b	b	a	b	e	e	d



## あとがき

たささまざまな話題がありました。こう振り返ってみると明るい話題も確かにありましたが、暗いニュースの方が印象に残ってしまうのは私だけでしょうか。

我々広報委員会に関しましては、昨年11月に「宮崎の医療を考える会」と題しまして、県内の若手記者の方々とTPPが医療に及ぼす影響について、国民皆保険を軸として意見を交わし合いました。記者さんの反応を見る限りでは、TPPの医療の側面について今以上に関心を持たれたようで、会として十分に意義があったのではないかと思います。先の衆院選に話を戻しますと、自民・公明の圧勝という結果に終わりTPP参加への流れが加速することが予想されます。本当に国民皆保険は守られるのでしょうか？日本の医療は世界に誇れるような現在の高い水準を保っていけるのでしょうか？その答えはまだわかりませんが、わからないなりに興味を持って、調べ、考えることが大事だと広報委員会を通して学びました。私個人としまして来年度は国家試験を控えた身になりますが、目先のことだけにとらわれず、広い視野でアンテナを張っていききたいと思います。

(原尾)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

昨年末の衆議院選挙で76%の議席を獲得した自民党。でも得票率をみると、なんだ48%なんですね。投票率をかけると、自民党が得た票は有権者の25%だけです。政党支持の状況をもっと反映する比例区をみると、自民党の得票は33.1%に過ぎず(それでも38%の議席を獲得していますが)国民の自民党支持の感覚は、実際この程度ではないでしょうか。それでも「圧勝のマスコミ報道」に、すべて白紙委任されたかのごとく振る舞う安倍首相。超富裕層にはますます笑いの止まらないお正月だったでしょう。(上野)

＊ ＊ ＊

12月の頭に、共用試験OSCEを受験しました。OSCEは、医療面接や身体診察や外科手技といった実技の試験です。ケーシーを着て先生方に見ていただきながら試験を受けていると、医師になるという目標がより現実的なものとなったように感じました。

医師になると、想像がつかないほど多くの知識や技術を学んでいくのですが、それだけでなく、人と向き合うために必要な何かを身に付けることも大切なのだと、改めて感じるようになりました。

(上條)

＊ ＊ ＊

黒田の家臣は、日向のモン・サン＝ミシェル(Mont Saint-Michel)?

久しぶりに3兄弟(二人の兄)でそろって日向で「いとこ会」をしました。そこで「馬ヶ背観光」の帰りに「黒田の家臣」を訪ねました。ここは寺田屋事件で捕らえられた黒田藩士が薩摩へ護送される途中に亡くなり流れ着いた小島で、お墓が建てられています。海岸からこの島へは潮の引いている時だけ歩いて渡れます(これをトンボ口現象といいます)。まるでフランスのモン・サン＝ミシェル日向版です。「海の駅ほそしま」の海鮮定食も美味かったですよ。一度訪ねてみてはいかがでしょうか？

(上園)

＊ ＊ ＊

明けましておめでとうございます。年頭のあとがきということで昨年起こった主な出来事を列挙してみますと、田中将大投手のニューヨークヤンキースへの大型移籍から始まり、ソチ五輪、STAP細胞、消費増税、「アナ雪」の大ヒット、ブラジルW杯、8月の猛烈な台風、錦織圭選手のテニス全米オープン準優勝、御嶽山噴火、そして衆議院解散総選挙・宮崎県知事選といっ

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。私事ですが、この度妊婦になりました。上の子が3歳、下の子はお腹の中ということで今まで以上に広報委員会に参加することが難しくなってきました。お許しを得て当面の間、自宅からメールにて参加させていただくことになりました。このようなご配慮、誠にありがたいことと思っております。委員の皆様、読者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが何卒よろしくお願い申し上げます。

(大野)

＊ ＊ ＊

昨年12月の宮崎では青大の日、学会の翌日に神田淡路町のやぶそばに行きました。名前は良く知っているが、実態を見たこともなく、社会見学としてです。開店は1時30分から、5・6名の先客が並んでいたが、1時間くらいの待ち時間であるので待ったが、寒、極まれり。時間が凍りつき進まない。暇つぶしの本は無用、ただただ寒く、腕を組み、足踏みで暖を取るのみ。10分前に誘導された時は生き返りました。熱燗、牡蠣そば、セイロを食べました。さて、お味の程は...体験してください。今年も宜しくお願いします。

(篠原)

＊ ＊ ＊

今年も随筆常連の先生、都市役員や宮大の先生、年男年女の先生方などから多くの新春随想をいただきました。皆様より一足先に原稿を楽しませていただきました(広報委員会の特権です)。我が家には年男年女はいません...いえ、いました！我が家の愛犬が今年12歳になる年女、ヒツジ年生まれの子犬(Westie)です。仕事を終えて、愛犬を膝に抱いて過ごすひと時が私の一番の癒しタイムです。今年が皆様方にとって、穏やかな良い年になることを願っています。

(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

### 年頭のご挨拶

新年号です。恒例の各医師会関係者の年頭所感とともに、県知事、宮崎大学長、県選出の国会議員、県議会議員の皆様から年頭のご挨拶をいただきました。とりわけ県知事と衆議院議員の皆さんは、昨年末の選挙で改めて続投を委ねられた方々です。地域包括ケアシステムの構築や消費税、そして損税の扱いなど、医療行政に対するお考えに注目です。

3 ページ

### 新春随想

今年もたくさんの皆様から新春随想を送っていただきました。今月号と来月号に分けて掲載させていただきます。ありがとうございました。

それにしても諸先生方の多彩なご趣味には恐れ入るばかりです。大間の本鮪は、漁師中の漁師によるプロの漁だとばかり思っていました。率直に驚きです。

24 ページ

### 診療メモ 新しく見つかった宮崎に多い感染症 重症熱性血小板減少症候群

以前から存在していたはずなのに、2013年 1 月までだれも気づかなかった SFTS。これまでに報告された国内 105 例中 18 例が宮崎県の症例だそうです(愛媛に次いで第 2 位)。ヒトヒト感染の可能性もあるそうで、注意が必要です。最後に「診断のポイント」を付けていただきました。宮崎大学の岡山昭彦先生、ありがとうございます。

84 ページ

日 州 医 事 第 785号 (平成 27年 1 月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimedor.jp/> E-mail: office@miyazakimedor.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副 委 員 長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)